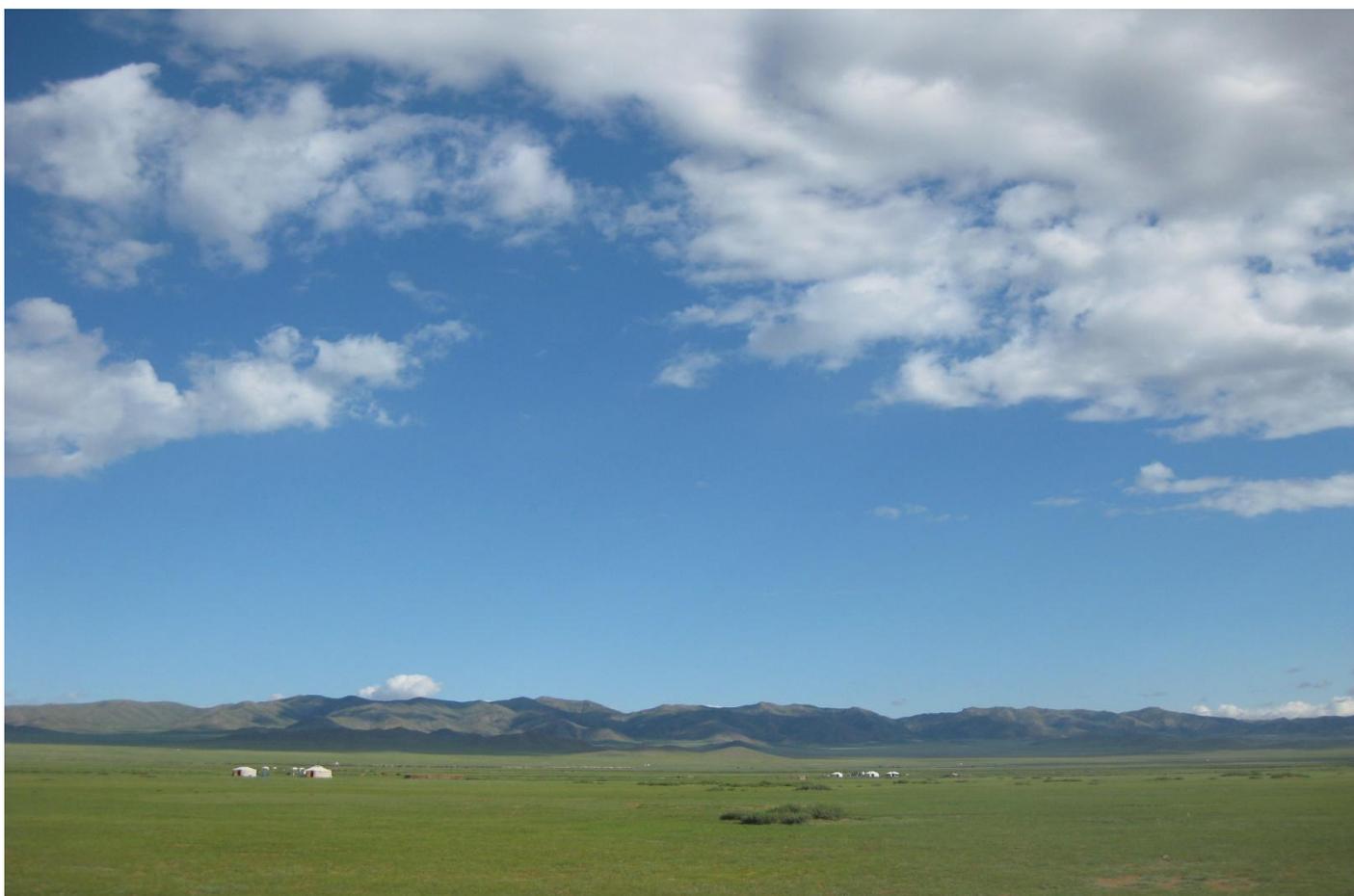




モンゴル NGO ハンドブック



独立行政法人 国際協力機構（JICA）モンゴル事務所

NGO-JICA ジャパンデスク

2026 年 3 月

はじめに

平素より JICA の活動にご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

モンゴルでは 2003 年から現在まで 77 件の草の根技術協力案件を実施してきており、草の根レベルの交流が盛んであり、国際協力活動を行う日本の団体の支援及びモンゴルの NGO 等と JICA の連携促進を行うことを目的に、2021 年 10 月、JICA モンゴル事務所は NGO-JICA ジャパンデスクを開設しました。

モンゴルで国際協力活動を行いたいと考える日本の皆様にとって、モンゴルで活動している現地 NGO 団体についての情報を入手するのは容易ではないと思われます。そこで、当事務所 NGO デスクでは日本の団体の皆様への情報提供を目的に、モンゴルで活動する現地 NGO 団体についての情報を収集し、分野ごとに活動概要を写真入りでまとめた「モンゴル NGO ハンドブック」を作成しました。

今回の日本語版改訂版には 113 団体、ウランバートル市内の団体のみならず、アルハンガイ県、ウブスハンガイ県、オルホン県、ダルハンオール県、ドンドゴビ県、ヘンティー県といった地方で活動する団体の情報も掲載しています。不十分な点もあるかとは思いますが、皆様がモンゴルで国際協力活動を行う際にご利用いただき、日本とモンゴルの国際協力活動推進に、少しでもお役に立てることを期待しております。

尚、本書掲載内容は 2025 年 12 月時点での情報であること、JICA モンゴル事務所 NGO デスク独自に取りまとめた情報であり、モンゴルの現地 NGO 団体すべてを網羅したものではないこと、JICA モンゴル事務所が推薦する団体ではないことにご留意ください。

2026 年 3 月

JICA モンゴル事務所

NGO-JICA ジャパンデスク

目次

はじめに

| | | |
|-----|---------------------|--------|
| 第1章 | モンゴル国概要 | P. 4 |
| 第2章 | JICA 国際協力活動スキーム | P. 6 |
| 第3章 | モンゴルで国際協力活動を行う際の手続き | P. 18 |
| 第4章 | モンゴル現地 NGO 団体紹介 | P. 20 |
| 第5章 | 関連機関連絡先 | P. 160 |

略語表

| 略語 | 英語 | 日本語 |
|--------|--|-------------------|
| AIFO | Associazione Italiana Amici di Raoul Follereau | アイフォ/イタリアの NGO |
| APWLD | Asia Pacific Forum on Women, Law and Development | アジア太平洋女性法律開発フォーラム |
| AusAID | Australian Agency for International Development (※現在は DFAT に統合) | オーストラリア国際開発庁 |
| EU | European Union | 欧州連合 |
| GIZ | Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit | ドイツ国際協力公社 |
| HIV | Human immunodeficiency virus | 人免疫不全ウイルス |
| IDLO | International Development Law Organization | 国際開発法機構 |
| ILO | International Labor Organization | 国際労働機関 |
| IOM | International Organization for Migration | 国際移住機関 |
| IPPF | International Planned Parenthood Federation | 国際家族計画連盟 |
| IUNS | International Union of Nutritional Sciences | 国際栄養科学連合 |
| JANIC | Japan NGO Center for International Cooperation | 国際協力 NGO センター |
| JICA | Japan International Cooperation Agency | 国際協力機構 |
| KOICA | Korean International Cooperation Agency | 韓国国際協力団 |
| MOU | Memorandum of Understanding | 覚書 |
| NGO | Non-Government Organization | 非政府組織 |
| NPO | Non-Profit Organization | 非営利団体 |
| NSO | National Statistics Office of Mongolia | モンゴル国家統計局 |
| UNFPA | United Nations Population Fund | 国連人口基金 |
| UNICEF | United Nations Children's Fund | 国連児童基金 |
| UNODC | United Nations Office on Drugs and Crime | 国連薬物犯罪事務所 |
| USAID | United States Agency for International Development | アメリカ合衆国国際開発庁 |
| WHO | World Health Organization | 世界保健機関 |
| WWF | World Wildlife Fund | 世界自然保護基金 |

第1章 モンゴル国概要



1. 一般事情

| | |
|----|--|
| 面積 | 156万4,100平方キロメートル（日本の約4倍） |
| 人口 | 354万4,835人（2024年、モンゴル国家統計局（以下NSO）） |
| 首都 | ウランバートル（人口176万8,151人）（2024年、NSO） |
| 民族 | モンゴル人（全体の95%）及びカザフ人等 |
| 言語 | モンゴル語（国家公用語）、カザフ語 |
| 宗教 | チベット仏教等（社会主義時代は衰退していたが、民主化（1990年前半）以降に復活。1992年2月の新憲法は宗教の自由を保障。） |
| 政体 | 共和制（大統領制と議院内閣制の併用） |
| 元首 | 大統領（2025年12月現在は2021年6月25日に就任したフレルスフ大統領、任期6年） |
| 議会 | 国家大会議（一院制、定員126名、任期4年） |
| 政府 | 首相/内閣（2025年12月現在は2025年6月13日に就任したザンダンシャタル首相） |
| 外交 | モンゴルの外交方針の基本は隣国である中国とロシアとのバランスの取れた外交関係を展開し、両隣国に過度に依存することなく「第三の隣国」との関係を発展させることであり、日本との関係は特に重視されている。 |

2. 略史

| 年月 | 略史 |
|----------|-------------------------------|
| 1911年 | 辛亥革命、中国（清朝）より分離、自政府を樹立 |
| 1919年 | 自治を撤廃し中国軍閥の支配下にはいる |
| 1921年7月 | 活仏を元首とする君主制人民政府成立、独立を宣言（人民革命） |
| 1924年11月 | 活仏の死去に伴い人民共和国を宣言 |
| 1961年 | 国連加盟 |
| 1972年2月 | 日本とモンゴル外交関係樹立 |
| 1990年3月 | 複数政党制を導入、社会主義を事実上放棄 |
| 1992年2月 | モンゴル国憲法施行（国名を「モンゴル国」に変更） |

出典：外務省ホームページ、国・地域・モンゴル

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/mongolia/data.html>

出典：モンゴルビジネス環境ガイド 2025年版

[Businessclimate2025_3.pdf](#)

3. その他

| | |
|------|--|
| 通貨 | トゥグルグ（MNT） |
| レート | 現地通貨 MNT 対円 1¥=22.89MNT 現地通貨 MNT 対ドル 1\$=3545.51MNT (2025年12月16日現在モンゴル銀行公式レート) |
| 平均月収 | 233万2400トゥグルグ（約9万5千円）（2024年、NSO） |
| 平均寿命 | 男性67.9歳、女性77.1歳、全体71.77歳（2024年） |
| 人口構造 | 0～14歳（30.9%）、15～64歳（63.8%）、65歳以上（5.3%） (2024年) |

第2章 JICA 国際協力活動支援スキーム

1. 草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、国際協力の意思のある日本の NGO/CSO、その他民間の団体、地方公共団体、独立行政法人または学校が、開発途上国の住民を対象として、その地域の経済及び社会の開発または復興に協力することを目的として自己の利益に関わりなく行う国際協力活動です。

団体が有する技術、知見、経験を生かして提案する活動を、独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」という）が提案団体に業務委託して JICA と団体との協力関係のもとに実施する共同事業です（助成金とは異なります）。

本事業は JICA が政府開発援助（ODA）の一環として行うものであり、その活動または成果報告等を通じ、広く日本の市民の国際協力への理解・参加を促す機会となることを期待しています。

また、本事業の提案団体が本事業を通じて培った経験を活用し、日本の地域社会が直面する課題解決や、地域の活性化にも役立つ取り組みを行うことも期待しています。

1-1. 草の根技術協力事業の3つの事業型

草の根技術協力事業には、以下の3つの事業型があります。

「草の根協力支援型」

草の根協力支援型は、開発途上国への支援実績が少ない NGO 等の団体を対象にしたものです。提案団体が事業実施を通じて開発途上国への国際協力の経験を積み、将来的に国際協力の担い手として活躍することが期待されます。提案事業の実施期間は3年以内で、提案可能な金額の上限は1,000万円です。

「草の根パートナー型」

草の根パートナー型は、開発途上国における国際協力に関し豊富な実績を有している NGO 等の団体を対象にしたものです。提案団体がこれまでの経験や強みを活かし、開発途上国の課題解決により寄与する事業を展開することが期待されます。提案事業の実施期間は3年以内で、提案可能な金額の上限は1億円です。

【草の根パートナー型：上限3,000万円枠】

開発途上国で一定程度の国際協力活動の実績があるものの、今後の団体の活動展開に向け、更なる経験の蓄積を目指す団体が通常の草の根パートナー型事業よりも小規模な事業を実施することを想定し、草の根パートナー型の中に上限を3,000万円とする枠を設置します。従来の経験を活かした事業の実施と併せ、今後より規模の大きな事業に取り組むために、団体の基盤・能力強化に取り組む機会となることも期待されています。提案事業の実施期間は3年以内で、提案可能な金額の上限は3,000万円です。上限3,000万円枠は、通常の草の根パートナー型とは別に審査を行います。

「地域活性型」

地域活性型は、地方公共団体を対象としたものです。事業実施により、地方公共団体及び関連団体の知見・経験・技術等を活用した海外展開が推進され、開発途上国の開発課題の解決とともに日本の地域や経済の活性化にも寄与することが期待されています（本事業は ODA 事業の一環であることに鑑み、日本国内を中心に活動を行う事業や、日本国内への裨益を主な目的とする事業は対象外となります。開発途上国における活動が主であり、当該部分が限定的な場合や、日本国内への貢献が主となる事業は対象外となります）。地域活性型に限り、提案団体である地方公共団体が指定した団体（指定団体）が事業を担うことも可とします。提案事業の実施期間は 3 年以内で、提案可能な金額の上限は 6,000 万円です。

1-2. 草の根技術協力の 3 要素と対象分野

●草の根技術協力事業の 3 要素

草の根技術協力事業は、以下の 3 つの要素を満たした活動であることが必要です。

(1) 日本の団体が主体的に行う「技術協力」であること

草の根技術協力事業で実施が認められる活動は、以下の 3 点です。

- 1) 開発途上地域に対する技術協力のための人員の派遣
- 2) 開発途上地域に対する技術協力のための機材の供与（支援型は対象外）
- 3) 開発途上地域のカウンターパート等に対する技術研修の実施

(2) 相手国側実施機関（カウンターパート）との協働であること

(3) 開発途上国の地域住民の生活改善・生計向上に裨益すること

●事業対象分野

本事業では、持続可能な開発目標（SDGs）への貢献及び「JICA グローバル・アジェンダ」との関係性があり、特に以下に合致する事業を重視します。

・社会経済的に脆弱な国・地域（アフリカ、後発開発途上国（LDCs））において「農業・農村開発」、「保健医療」、「栄養」、「教育」、「社会保障・障害」、「ジェンダー平等と女性のエンパワメント」に関して提案団体が有する技術、経験、知見を活かし、開発途上国の脆弱な人々・コミュニティの生活改善、生計向上につながる事業、または同国・地域において住民に対する公共サービスの向上を目指す事業。

・対象国の政府の方針・ニーズに合致している事業。

なお、日本政府は ODA 対象国ごとに援助重点分野を設定しています。草の根技術協力事業は ODA 事業であることに鑑み、提案事業はこれに合致する必要があります。提案内容を検討の際には、外務省ウェブサイトにある「国別開発協力方針（旧国別援助方針）・事業展開計画」を参照ください（一部未作成の国もあります）。

●JICA グローバル・アジェンダについて

JICA は、「人間の安全保障」「質の高い成長」の実現というミッションの下に、SDGs の Prosperity（豊かさ）、People（人々）、Peace（平和）、Planet（地球）という 4 つの切り口から 20 の事業戦略「JICA グローバル・アジェンダ」を設定しました。この「JICA グローバル・アジェンダ」に基づき、開発途上国の政府・人々はもちろん、国内外の様々なパートナーと協働してグローバルな課題解決に取り組み、人々が明るい未来を信じ多様な可能性を追及できる、自由で平和かつ豊かな世界の実現を目指しています。

●外国人材受入・活躍支援枠について

開発途上国の住民の生活改善、生計向上の一環として、当該国からの労働者の適正な送出しやこれら労働者の人権保護、当該国・日本国内での活躍の促進に向けた①政策・制度の整備・運用、②人材育成、③組織的・人的ネットワーク構築・強化を重視する提案については、「外国人材受入・活躍支援枠」として、通常案件とは異なる配点で審査します。詳細は募集要項をご確認ください。

●草の根技術協力事業の対象とはならない分野

以下に記載の事業は対象外となります。草の根技術協力事業は、提案団体及びカウンターパートの経済的利益に関わりなく行われる活動である必要があり、特に現地住民の利益と相反するような自己の経済的利益の追求は認められません。

(1) 「技術協力」とは認められない事業

施設建設や資機材等の調達・輸送等を中心とし、かつ、それらが有効活用されるための技術移転活動が含まれておらず、現地における自主的・自立的な運営管理・持続的活用が見込まれない事業

(2) 開発途上国住民の生活改善・生計向上に結びつきにくい事業

- 1) 共同調査・研究・データ収集・技術開発・実証・試験的（パイロット）事業
- 2) 技術移転先が大学関係者や研究施設の職員、省庁の高官等に限られる場合や、技術移転内容が高度に専門分化した技術・医療である場合等、地域住民に便益をもたらすとは認めにくい事業
- 3) 日本国内を中心に活動を行う事業や、日本国内への裨益を主な目的とする事業
- 4) 開発途上国から来日している人・家族に対する教育活動等、受益者が日本国内に限定される事業（開発途上国から人を受け入れて研修を行う場合は、研修を受けた人が当該国に戻って提案事業の活動に従事することが条件となります）
- 5) 文化交流・普及を目的とする事業（日本文化、芸術、スポーツ振興等）

(3) 特定の団体・企業・個人の経済的利益を目的としているとみなされ得る事業

提案団体や共同事業体の構成員を含む、特定の団体や企業の自社製品・サービスの調達や提供等を通じ、経済的利益を得ることを目的としているとみなされ得る事業。また、事

業対象国での活動が特定の団体・企業・個人のみの利益を目的としているとみなされ得る事業。

(4) 提案事業の主要な業務を第三者に再委託する事業、または提案団体の役割が資金提供的な内容にとどまる事業

提案団体の主な役割が資金提供であり、主要な活動を他の団体へ再委託する事業や、提案団体の現地での技術協力活動への実質的な関与が薄く、提案団体が関わる意義が見えない事業。

ただし、翻訳・通訳、映像教材の撮影・編集、基盤整備等、活動に付随する業務を専門の業者に再委託することは可とします。

(5) 個人に裨益する事業

学位や資格の取得を目指す人材の本邦への受入れ等、特定の個人に裨益すると考えられる事業。

(6) 宗教活動・政治活動に関する事業や、軍部・軍人へ裨益する事業

1-3. 相手国政府等からの了承取付・NGO 登録について

事業の実施に際しては各国の事情に応じて、相手国政府等からの了承の取付及び実施予定国での NGO 登録を行う必要があります。了承の取付方法として、口上書交換、M/M (Minutes of Meeting=会議議事録、ミニッツ)、R/D (Record of Discussion=合意議事録)、JICA 在外事務所からの通知の発出、等があり、この方法により日本側と相手国関係者間で事業の実施について合意します。詳細については JICA 国内機関または NGO-JICA ジャパンデスクまでお問合せください。

モンゴルの場合は、日本側実施団体、モンゴル側援助窓口（大蔵省）、モンゴル側実施機関の三者で M/M を締結することで事業を開始できます。所管省庁の承認は必須ではありませんが、事業の持続性を考慮し、M/M の署名者に含めることが強く推奨されています。

NGO 登録はカウンターパート機関が公的機関である場合、日本側実施団体による登録は不要です。ただしカウンターパートが現地 NGO の場合、現地 NGO がモンゴル国家登録局に NGO 登録済みである必要があります。日本側実施団体がモンゴルに現地事務所・駐在員を配置せずに、シャトル的・短期的に活動する場合は、日本側実施団体の NGO 登録は必要ありません。モンゴルに現地事務所を開設し駐在員を配置して活動する場合については、「第 3 章 モンゴルで国際協力を行う際の手続き」をお読みください。

2. 世界の人びとのための JICA 基金活用事業

世界の人びとのための JICA 基金活用事業は、市民の皆様、法人・団体の皆様の「国際協力活動を応援したい」という想いのこもった寄附金「世界の人びとのための JICA 基金」により運営しています。本事業は、日本国内の団体が実施する開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する活動や外国人の受入・秩序ある共生社会にむけた取

り組みを支援するものです。併せて、活動経験が少ない団体への能力向上や人材育成の支援も目的としており、「伴走支援制度」や各種研修等も提供しています。

これらの支援・研修等や本事業による実践機会の提供を通じて、国際協力を目指す団体が治験・経験を蓄積し、本格的な国際協力活動にステップアップしていくこと、また、これにより市民の皆様、法人・団体の皆様からの寄附が何倍もの価値となって世界の人びとに届くことを期待しています。

・対象事業

- 1) 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業
- 2) 外国人の受入・秩序ある共生社会にむけた取り組みへの支援に関する事業

・事業期間：覚書締結から最長2年間

・事業費（JICA負担額）：200万円（税込、上限額）

3. NGO-JICA ジャパンデスク

開発途上国の現場で国際協力活動を行う日本の NGO/CSO、その他民間の団体、地方公共団体または大学の支援及び NGO 等との連携促進のため、世界 25 カ国に窓口を設置し、以下の業務を行っています。

- (1) 日本の NGO 等との連携による JICA 事業の円滑な実施に必要な業務
 - ・草の根技術協力事業の案件発掘や実施中案件のモニタリング等
 - ・草の根技術協力事業等の事業効果の向上につながる日本の NGO 等向けの研修プログラムの実施
- (2) 日本の NGO 等の現地活動を支援する業務
 - ・現地活動に必要な情報（基礎情報、NGO 等の活動に必要な制度・手続き、援助状況、現地 NGO 等情報等）の収集・整理及び発信
 - ・現地活動に係る相談対応及び現地 NGO 等とのマッチング等
- (3) 日本の NGO 等と JICA との連携強化に必要な業務
 - ・対話やイベント等の実施を通じた情報交流の促進

詳細は下記の HP からご覧ください。また、お問い合わせはお近くの JICA 国内機関へお願いいたします。

[草の根技術協力事業 | 事業について - JICA](#)

[世界の人びとのための JICA 基金 | 事業について - JICA](#)

[JICA 国内機関](#)

4. モンゴル国における草の根技術協力事業実績（2025年12月時点）

| 草の根協力支援型（20） | | | |
|--------------|------------------|---|----------------------------------|
| No | 実施期間 | 案件名 | 実施団体 |
| 1 | 2024年度採択 | 地域資源を活かしたバイオマス燃料普及プロジェクト | 学校法人足利大学 工学部井出研究室 |
| 2 | 2024年度採択 | ウランバートル市内および近郊の遊牧民を含む住民を対象とした3歳児眼科検診の継続実施体制構築事業 | 株式会社中京メディカル |
| 3 | 2022年5月～2025年1月 | 二つのモデル公立学校を対象にした学校歯科検診の仕組みづくりプロジェクト | 特定非営利活動法人健康都市活動支援機構 |
| 4 | 2023年1月～2025年1月 | モンゴル国における利用者目線のバス運営ノウハウとAI・IoT技術提供による人材育成プロジェクト | 一般社団法人交通環境まちづくりセンター |
| 5 | 2021年5月～2023年2月 | モンゴルにおける牧草飼料生産にかかる農作業請負組織化促進事業 | 十勝農業機械協議会 |
| 6 | 2018年7月～2020年12月 | モンゴル国における妊婦健康管理に関する指導能力及び助産技術強化プロジェクト | 医療法人葵鐘会 |
| 7 | 2017年10月～2019年5月 | モンゴル国乳幼児のむし歯予防 | 徳島モンゴル医療交流協会 |
| 8 | 2016年9月～2019年8月 | モンゴル障害児療育・教育支援及び療育関係者の育成事業 | 特定非営利活動法人ニンジン |
| 9 | 2015年8月～2018年8月 | モンゴル国ダルハンオール県における生活習慣病に対する保健・医療改善事業 | 社会福祉法人水戸済生会総合病院 |
| 10 | 2013年11月～2015年9月 | モンゴル国寒冷地における建設工事の安全施工管理技術の向上プロジェクト | 一般財団法人北海道建設技術センター、一般社団法人北海道建設業協会 |
| 11 | 2014年1月～2016年3月 | 先天性股関節脱臼ハイリスク児の育児指導 | 公立大学法人札幌市立大学 |
| 12 | 2011年6月～2014年5月 | ウランバートル市における野菜栽培によるゲル地区住民の生活改善プロジェクト | 埼玉大学 |

| | | | |
|----|-------------------|--|-----------------------|
| 13 | 2011年6月～2013年9月 | モンゴル国バヤンホンゴル県における農業自給体制の実現をめざす農業指導者の育成事業 | 特定非営利活動法人農業塾風のがっこう |
| 14 | 2009年10月～2011年3月 | 日本伝統治療（柔道整復術）普及事業 | 社団法人東京柔道接骨師会 |
| 15 | 2009年6月～2012年3月 | モンゴルの羊毛を活用した手編み物生産に関する技術支援プロジェクト | 仙台いぐね研究会 |
| 16 | 2008年9月～2011年8月 | モンゴル国・バガノール区住民による植林事業及びエコロジー学習の自立運営体制の構築 | 東アジア環境協働行動よこはま |
| 17 | 2004年12月～2006年11月 | バガヌール区生活環境整備（生活道路の舗装） | 一般社団法人国際建設技術協会 |
| 19 | 2004年5月～2005年3月 | バガヌール地区振興の為の野菜栽培と栄養改善事業 | 特定非営利活動法人日本モンゴル農業交流協会 |
| 20 | 2003年10月～2004年9月 | モンゴル国一村一品運動地域活性化推進事業 | 財団法人大分県国際交流センター |

| 草の根パートナー型（19） | | | |
|---------------|-------------------|--|---------------------|
| No | 実施期間 | 案件名 | 実施団体 |
| 1 | 2024年度採択 | モンゴル国公立学校のむし歯予防のためのフッ化物洗口推進プロジェクト | 特定非営利活動法人健康都市活動支援機構 |
| 2 | 2025年1月～2028年1月 | 市場志向型の養蜂振興プロジェクト | 公益社団法人国際農林業協働協会 |
| 3 | 2025年1月～2027年12月 | モンゴルの災害リスク軽減に資する市民活動と防災教育の持続活性化プロジェクト | 国立大学法人東海国立大学機構 |
| 4 | 2023年11月～2026年11月 | モンゴル自立生活センター強化プロジェクト | 特定非営利活動法人メインストリーム協会 |
| 5 | 2020年10月～2025年10月 | 新ブランド作物（玉ねぎ）による農家の収入向上—フードバリューチェーンの構築— | 一般社団法人滝川国際交流協会 |
| 6 | 2019年3月～2022年12月 | 地方での生計維持を目指した養蜂振興プロジェクト | 公益社団法人国際農林業協働協会 |

| | | | |
|----|--------------------------------------|---|---------------------------------|
| 7 | 2018年9月～2022年8月 | モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業 | 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン |
| 8 | 2018年8月～2023年5月 | モンゴルにおける地方中学校教員の質の向上—地域性に即した ICT を活用した教材開発を通じて | 国立大学法人東京工業大学 |
| 9 | 2017年10月～2024年3月 | モンゴル・ホブド県における地球環境変動に伴う大規模自然災害への防災啓発プロジェクト | 国立大学法人東海 国立大学機構（国立大学法人名古屋大学） |
| 10 | 2017年7月～2019年5月 | モンゴル介護人材育成プロジェクト | 特定非営利活動法人ワークフェア |
| 11 | 2015年9月～2019年8月 | 思春期からの健康なライフスタイル構築のための持続可能な仕組みづくりプロジェクト—性感染症と不適切な妊娠を予防し、豊かな自己実現をめざして— | 学校法人自治医科大学 |
| 12 | 2015年4月～2018年4月 | 養蜂振興による所得向上プロジェクト | 公益社団法人国際農林業協働協会 |
| 13 | 2015年5月～2018年4月 | モンゴルにおける要保護児童支援制度の改善および強化支援事業 | 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン |
| 14 | 2012年3月～2017年3月 | モンゴルにおける地方小学校教員の質の向上—地域性に即した ICT を活用した教材開発を通じて | 東京工業大学 |
| 15 | 2011年9月～2016年8月 | 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト | 公益社団法人日本柔道整復師会 |
| 16 | 2008年10月～2011年9月 | 子どもの権利実現のための暴力のない公平な教育環境推進事業 | 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン |
| 17 | 2007年12月～2010年12月 2011年3月～2013年3月 | 雇用機会を創出するための住民参加型生活道路整備の技術移転事業 フォローアップ:ゲル地区住民による生活道路整備事業の自立事業化支援事業 | 社団法人国際建設技術協会 |
| 18 | 2008年1月～2010年12月 | ボルガン県ボルガン市第3地区にお | 公益財団法人国際 |

| | | | |
|----|------------------|--|------------|
| | 2011年1月～2012年12月 | ける「母と子のための」地域ぐるみ健康町づくりプロジェクト フォローアップ:ボルガン県ボルガン市第3地区における「母と子のための」地域ぐるみ健康町づくりプロジェクト | 看護交流協会 |
| 19 | 2006年2月～2009年1月 | モンゴル国獣医サービス提供システム再構築プロジェクト | 有限会社アイエムジー |

| 地域活性型 (38) | | | |
|------------|-------------------|---|-------------------------|
| No | 実施期間 | 案件名 | 実施団体 |
| 1 | 2024年度採択 | 積雪寒冷地における道路の維持管理手法の技術移転と道路技術者育成プログラムの構築に関するプロジェクト | 北見国際技術協力推進会議 |
| 2 | 2024年度採択 | モンゴル国ドルノゴビ県における下水資源活用能力向上プロジェクト | 静岡県 |
| 3 | 2024年6月～2027年3月 | ウランバートル市上下水道公社における下水道管の維持管理・更新に関する人材育成事業 | 東京都下水道サービス株式会社 |
| 4 | 2024年5月～2027年4月 | 新潟・モンゴルの産業変革を担う産業DX人材育成プラットフォームの構築 | 特定非営利活動法人長岡産業活性化協会 NAZE |
| 5 | 2022年8月～2025年8月 | 路床の凍上性に着目したモンゴル国ウランバートル市内における生活道路の質的向上に向けたプロジェクト | 北見国際技術協力推進会議 |
| 6 | 2021年12月～2024年12月 | 東ゴビ砂漠における深穴方式による乾燥寒冷地緑化推進技術協力事業 | 特定非営利活動法人新潟県対外科学技術交流協会 |
| 7 | 2021年10月～2024年2月 | モンゴル国ドルノゴビ県の官民連携による未処理污水改善プロジェクト | 静岡県 |
| 8 | 2018年6月～2022年2月 | 塵肺症および石綿(アスベスト)曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上プロジェクト | 特定非営利活動法人総合遠隔医療支援機構 |
| 9 | 2016年12月～2019年11月 | 北海道滝川市発—地方農民の収入向上を目指したアグリビジネス振興プ | 一般社団法人滝川国際交流協会 |

| | | | |
|----|-----------------------|--|-------------------------|
| | | ロジエクト(高付加価値作物の生産と新しい農産加工品開発) | |
| 10 | 2016年12月 ～2019年12月 | モンゴル国生活習慣病予防と患者のセルフケア能力向上のための看護職人材育成事業 | 北見国際技術協力推進協議会 |
| 11 | 2016年1月～2018年12月 | ウランバートル市送配水機能改善協力事業 | 公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター |
| 12 | 2016年3月～2019年3月 | 農産物等の流通改善および土壌改良による農業者の収益向上事業 | 一般社団法人北海道中小企業家同友会とかち支部 |
| 13 | 2015年11月～2018年3月 | ドルノゴビ県の下水道運営能力向上プロジェクト | 静岡県 |
| 14 | 2014年10月～2017年3月 | 寒冷地における道路工事の品質確保プロジェクト | 旭川市国際交流委員会 |
| 15 | 2014年～(終了) | 寒冷地における地域医療と保健衛生 | 北見国際技術協力推進会議(日赤北海道看護大学) |
| 16 | 2014年12月～2017年3月 | モンゴル国ウランバートル市地区排水技術協力事業 | (特活)新潟県対外科学技術交流協会 |
| 17 | 2013年8月～2016年3月 | ウランバートル消防技術支援事業 | ウランバートル消防技術支援事業実行委員会 |
| 18 | 2014年1月～2016年12月 | 再生可能エネルギー(地中熱)省エネ施設園芸による野菜生産技術支援事業 | 空知エコ普及環づくり協議会 |
| 19 | 2014年2月～2017年1月 | 畜産糞尿利用による循環型農業の確立および環境保全事業 | (株)エコ・エネルギーシステム |
| 20 | 2014年2月～2016年6月 | 農産物の安定供給のための貯蔵技術改善・普及プロジェクト | (一社)北海道中小企業家同友会とかち支部 |
| 21 | 2013年9月～2016年9月 | サインシャンド工業団地緑化と自生種の苗木生産による地域振興協力事業 | 新潟県モンゴル緑化推進技術協力実行委員会 |
| 22 | 2013年6月～2016年3月 | ウランバートル市植林技術支援事業 | 蒼いウランバート |

| | | | |
|----|------------------|--|-----------------------|
| | | | ル技術支援実行委員会 |
| 23 | 2013年4月～2016年3月 | ウランバートル市ゲル地区住民に対する地域保健活動のための看護職人材育成事業 | 北見国際技術協力推進会議 |
| 24 | 2011年6月～2014年3月 | 寒冷地における都市開発技術改善事業 | 旭川市国際交流委員会 |
| 25 | 2010年7月～2013年3月 | 新潟県・ウランバートル市道路排水計画技術協力事業 | 新潟県モンゴル技術協力推進実行委員会 |
| 26 | 2010年5月～2013年2月 | モンゴル中央県・中央病院における妊産婦の健康管理向上プロジェクト～妊娠高血圧症候群の「予防」「発見」「治療」の技術移転～ | 鳥取県 |
| 27 | 2008年5月～2008年11月 | 牛乳及び乳製品製造技術の普及 | 南日本酪農協同株式会社 |
| 28 | 2007年4月～2008年3月 | 感染症のサーベイランスのための検査システムと情報の収集解析システムに関する研修 | 神奈川県衛生研究所 |
| 29 | 2007年8月～2008年12月 | モンゴル国乾燥地緑化リーダー育成事業 | NPO モンゴル緑化日本協会 |
| 30 | 2006年～（終了） | モンゴルの知的資源である新規乳酸菌の開発技術の普及 | 南日本酪農協同株式会社 |
| 31 | 2006年7月～2006年10月 | モンゴル国・バヤンホンゴル県における地域活性化パイロット事業 | NPO 法人・大分一村一品国際交流推進協会 |
| 32 | 2005年～（終了） | 堆肥化施設管理・運営経理指導 | 鳥取県モンゴル中央県親善協会 |
| 33 | 2004年～（終了） | 公害対策・環境保全に関する技術研修 | 福岡県保健環境研究所 |
| 34 | 2004年～（終了） | モンゴル中央県野菜生産指導及び堆肥生産技術・流通指導専門家派遣 | 鳥取県モンゴル中央県親善協会 |
| 35 | 2004年～（終了） | 産業の変遷と地域振興 | 北見国際技術協力推進会議 |
| 36 | 2004年～（終了） | 寒冷地における地域医療と保健衛生 | 北見国際技術協力推進会議 |

| | | | |
|----|-----------------|----------------------|----------------|
| 37 | 2004年3月～2005年1月 | 内科・産婦人科診断技術 | 鳥取県 |
| 38 | 2003年～（終了） | 堆肥生産技術および野菜生産技術専門家派遣 | 鳥取県モンゴル中央県親善協会 |

出典：[国別事業一覧【モンゴル】 | 市民参加 | 事業・プロジェクト - JICA](#)

第3章 モンゴルで国際協力を行う際の手続き

1. モンゴルで外国 NGO が支部・事務所を設立する際に必要な手続き

モンゴルで外国 NGO が国際協力を行う際の手続きを管轄するのは、外国人管理局 (Immigration Agency of Mongolia) です。モンゴル国において海外の NGO の支部・事務所新規設立・登録、許可期間の延長、支部・事務所を閉鎖する場合は、外国人管理局にて手続きを行います。

支部・事務所を新規開設し活動する際に提出する書類

1. 支部・事務所代表者による申請書/公文書/
2. 支部・事務所開設について本部機関代表理事会決議/公文書/
3. 本部規則/ページごとに当該機関の押印、承認済みのものであること/
4. 本部機関の代表理事長名、会員名、住所、電話番号、ホームページアドレス、住民登録番号の記載がある紹介文/公文書/
5. 本部機関の証明書/当該国の公証役場で承認されたもの、若しくは当該国認可機関の証明書/
6. 資金源についての書類/本部機関利用銀行の証明書/
7. 支部・事務所の規則、活動計画、実施期間、予算/公文書/
8. 支部・事務所代表に、本部機関から付与した委任状、本人のパスポートあるいは住民 ID カードの写し/公文書/
9. 犯罪履歴の有無について本国の警察署証明書/公文書/
10. その他必要書類/要請があれば添付書類をひとつの PDF にする/
11. 活動を行うことについての願書/公文書/

留意点：

- ・ 上記書類が外国語で作成された場合は翻訳、アポステイーユ証明書、公証人若しくは公証人代理に寄って証明されたものを添付すること。
- ・ 支部・事務所名はキリル文字で表記され、法人国家登録証、政府決議で承認された「法人名承認規則」に従い、法人名についての要請と制限を満たしていること。
- ・ 提出書類リストに指定された書類を局の同問題担当部署が審査し、外国人管理国家検査官の結論、関連機関の意見に基づき、協議会に提出し決定する。許可の可否を 30 日以内に決定する。
- ・ 支部、事務所の許可を 1 年間で付与する。
- ・ 手数料は 900,000MNT。

支部・事務所許可の期間延長する際の必要書類

1. 支部・事務所の住所登録についてバグ、ホローの長からの証明書

2. 活動許可証
3. 特別許可を有する活動を行っている場合、関連する許可の写し
4. 活動報告書
5. 協力機関の証明書
6. 実施中案件プログラムの情報、契約、協定書、覚書それと同等の書類
7. 実施活動計画
8. その他必要書類/要請があれば添付書類をひとつの PDF にする/

留意点

・モンゴルで活動を行っている支部・事務所の許可期間を下記の条件、要請を考慮し 5 年まで延長する。

-政府間協力契約を締結した：モンゴル国で 10 年以上継続的に活動した

-実施中案件プログラムの資金

-実施中案件プログラムの範囲

-雇用創出状況

・モンゴルで活動を行っている支部・事務所の許可期間を下記の条件、要請を考慮し 3 年まで延長する。

-実施中案件プログラムの資金

-実施中案件プログラムの範囲

-雇用創出状況

・手数料 360,000MNT、証明書新規発行料 60,000MNT

上記情報は 2025 年 12 月時点のものであり、情報は不定期に変更・更新されることがあるため、最新情報は外国人管理局のホームページからご確認ください。

モンゴル国外国人管理局 HP

(モンゴル語、英語) <https://isf.mn/mn/service/req-non-gov-org>

2. モンゴルの現地 NGO の設立・登録に必要な手続き

モンゴルの現地 NGO が草の根技術協力事業のカウンターパート機関となる場合、現地 NGO がモンゴル国家登録局に NGO 登録済みである必要があります。必要な手続きについては、カウンターパート機関にモンゴル国家登録局ホームページから確認いただくようにしてください。

モンゴル国家登録局 HP

(モンゴル語) <https://burtgel.gov.mn/service/index.php/les-newlist/les-new>

第4章 モンゴル現地 NGO 団体紹介

モンゴル国家登録局には、2024年時点で33,107のNGO団体が登録されています（情報源：国家統計局ウェブサイト）。1998年の登録団体数が1,075団体であったことから見ると、NGO団体の数は20年ほどで30倍以上に増えていることがわかります。

しかし、登録されているNGO団体すべてに活動実態があるわけではなく、外国語学習センター、商業施設の組合、趣味愛好家グループなどもNGOとして登録されています。

そのため、JICAモンゴル事務所では継続的な活動実態があり、JICA事業や本邦団体・個人の国際協力活動と連携・協力できる可能性のある活動を行っている団体に情報提供を呼びかけるとともに、NGOデスクでヒアリングや活動視察により情報収集を行い、以下の113団体の情報をハンドブックに掲載することにしました。

※本書掲載の写真は、各NGO団体の同意を得て掲載しています。未成年者及び要配慮個人が含まれる場合は、個人が特定されないよう配慮しています。

| | 活動分野 | NGO 団体名 | ページ |
|----|--------------------|-----------------------------|-----|
| 1 | 障害児・者支援 (22 団体) | Universal Progress 自立生活センター | 24 |
| 2 | | モンゴル手話通訳者協会 | 26 |
| 3 | | モンゴル自閉症協会 | 28 |
| 4 | | モンゴルダウン症協会 | 30 |
| 5 | | モンゴル聴覚障害者国家協会 | 32 |
| 6 | | モンゴル障害者自由労働組合 | 33 |
| 7 | | モンゴル車椅子利用者国家協会 | 34 |
| 8 | | モンゴル視覚障害者協会 | 35 |
| 9 | | エネレリーン・トゥーチェー | 36 |
| 10 | | We can MN 協会 | 37 |
| 11 | | エールテイ・ユルトウンツ | 38 |
| 12 | | サインナイズセンター | 40 |
| 13 | | DET フォーラム | 41 |
| 14 | | モンゴル障害者協会 | 42 |
| 15 | | バトエグシグレン | 44 |
| 16 | | ハンオール自立生活センター | 45 |
| 17 | | モンゴル視覚障害青少年協会 | 46 |
| 18 | | サルヒチ・ショボー・センター | 48 |
| 19 | | ソロンゴセンター | 49 |
| 20 | | 障害児親の会 | 50 |

| | | | |
|----|---------------------|--------------------------------------|----|
| 21 | | From thought to heart | 52 |
| 22 | | フムーン自立生活センター | 53 |
| 23 | 子ども、女性支援 (35 団体) | ラントーン・ドヒオ/マジックランド/ | 54 |
| 24 | | National Center Against Violence NGO | 55 |
| 25 | | Beautiful Hearts | 56 |
| 26 | | Open window of future | 57 |
| 27 | | Save the Children | 58 |
| 28 | | ナル・サル・オユー | 60 |
| 29 | | ボルタグシニィ・ボドル | 61 |
| 30 | | Women Leader Foundation | 62 |
| 31 | | Youth Development Center | 63 |
| 32 | | 女性、子ども開発センター | 64 |
| 33 | | モンゴル女性法律家協会 | 65 |
| 34 | | リベラルウーマン知識基金 | 66 |
| 35 | | モンゴル女性労働支援協会 | 67 |
| 36 | | わたしの家協会 NGO「わたしの家」児童養護施設 | 68 |
| 37 | | フグジリーン・ヘルヘー | 69 |
| 38 | | モンゴル SOS 子ども村 | 70 |
| 39 | | 児童発達支援センター | 72 |
| 40 | | モンゴル女性基金 | 73 |
| 41 | | Social Partnership Network | 74 |
| 42 | | モンゴル女性生活センター | 75 |
| 43 | | Lotus children center | 76 |
| 44 | | よい未来のために NGO | 77 |
| 45 | | モンゴル子どもの権利ナショナルセンター | 78 |
| 46 | | Mongolian Gender Equity Center | 79 |
| 47 | | World Vision Mongolia | 80 |
| 48 | | Princess Center | 81 |
| 49 | | Good Neighbors Mongolia | 82 |
| 50 | | People in Need Mongolia | 83 |
| 51 | | エフ・ノタグ開発センター | 84 |
| 52 | | カリタスモンゴル | 85 |
| 53 | | イトゲル・トゥグス・ヌムル基金 /マジックランド・ヘンティー/ | 86 |
| 54 | | 輝く世界/マジックランド・ドンドゴビ/ | 87 |

| | | | |
|----|--------------------|--|-----|
| 55 | | Erdenet Mothers Empowerment Association | 88 |
| 56 | | Desert Rose NGO | 89 |
| 57 | | ダルハンオール県女性協会 | 90 |
| 58 | 教育 (11 団体) | Mongolian Association of Lesson Study | 92 |
| 59 | | Mongolian Education Alliance | 94 |
| 60 | | ハイル・エルテム・ビリグ | 95 |
| 61 | | 良い教育のために | 96 |
| 62 | | 国民教育センター | 97 |
| 63 | | すべての人の教育のために | 98 |
| 64 | | Reader NGO | 99 |
| 65 | | Education Reform NGO | 100 |
| 66 | | Teach for Mongolia | 101 |
| 67 | | モンゴル文化遺産・文化・児童発達センター | 102 |
| 68 | | Amid naidvar センター | 104 |
| 69 | コミュニティ開発 (9 団体) | トルゴイト地域開発センター | 106 |
| 70 | | Shineleg Child Development Center | 108 |
| 71 | | ウールクラフト支援センター | 109 |
| 72 | | Mongolian Quilting Center/Shine Zamnal NGO/ | 110 |
| 73 | | Sersen talin salkhi | 111 |
| 74 | | ノゴーンノール公園 | 112 |
| 75 | | ボディ・ゾル | 114 |
| 76 | | オイスカ・モンゴル | 116 |
| 77 | | ウブルハンガイ県 NGO 協会 | 118 |
| 78 | 自然環境 (9 団体) | モンゴル自然環境国民委員会 | 119 |
| 79 | | Mongolian association for conservation of nature and the environment | 120 |
| 80 | | WASH Action of Mongolia | 121 |
| 81 | | Institute for Future | 122 |
| 82 | | 自然環境情報研修センター | 123 |
| 83 | | 自然環境健康センター | 124 |
| 84 | | Tuvshin saikhan munkh | 126 |
| 85 | | ホミン草原のタヒ NGO | 127 |
| 86 | | 天然魚繁殖者協会 /Chuluut Tul NGO/ | 128 |
| 87 | 麻薬、依存症 (2 団体) | 麻薬・薬物から国民を守る会 | 129 |
| 88 | | サンライズ・ハーフウェイ・ハウス福祉サービスセ | 130 |

| | | | |
|-----|------------------|------------------------------|-----|
| | | ンター | |
| 89 | 農業 (6 団体) | モンゴル養蜂家協会 | 131 |
| 90 | | モンゴル農業進歩協会 | 132 |
| 91 | | モンゴル果実協会 | 133 |
| 92 | | モンゴル温室農家協会 | 134 |
| 93 | | Mongolia V. E. T Net NGO | 135 |
| 94 | | Green Asia Network | 136 |
| 95 | 人権保護 (2 団体) | 人権開発センター | 138 |
| 96 | | トゥゲーメル権利開発 NGO | 139 |
| 97 | ボランティア (1 団体) | Volunteer Development Center | 140 |
| 98 | 保健医療 (16 団体) | モンゴル神経学会 | 141 |
| 99 | | 心理学ナショナルセンター | 142 |
| 100 | | オビダス心理センター | 143 |
| 101 | | イウェール・ツォグツ開発センター | 144 |
| 102 | | モンゴル家族の幸せ協会 | 145 |
| 103 | | モンゴル放射線学会 | 146 |
| 104 | | モンゴル栄養士協会 | 147 |
| 105 | | モンゴル麻酔科医協会 | 148 |
| 106 | | オルビス・モンゴル事務所 | 149 |
| 107 | | モンゴルアートセラピー専門協会 | 150 |
| 108 | | モンゴル看護師協会 | 151 |
| 109 | | エレグセグ・オルシホイ | 152 |
| 110 | | プロフェッショナル協力協会 | 153 |
| 111 | | モンゴル助産師協会 | 154 |
| 112 | | レインボーチルドレン | 156 |
| 113 | ジャルガラン・エドレン高齢者施設 | 158 | |

1. Universal Progress 自立生活センター

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Universal Progress 自立生活センター /Түгээмэл Хөгжил төв/ |
| 設立年 | 2010 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第 2 ホロー、58—0 |
| 電話番号 | 976-76015800, 976-88953883 |
| E-mail | Info.upmilc@gmail.com |
| URL/Facebook | Түгээмэл Хөгжил /"Universal Progress" MILC/ |
| 代表者名 | N. ムンフジャルガル |
| 活動内容 | <p>Universal Progress 自立生活センターは、2010 年に障害当事者たちによって設立されました。障害者の社会参加を促進し、自立生活支援サービスを提供し、メンバーと社会向けに人権保護のための活動を行っている NGO です。</p> <p>設立時から公共交通、建物のバリアフリー問題を取り上げ、社会の理解と知識を高め、行政政策に盛り込むために継続的に活動しています。</p> <p>特に障害者の社会参加促進、能力強化、就労支援、市民の理解と見方を変える目的で、具体的な計画のもと活動を実施しています。常勤スタッフ 15 名の内 10 名が障害当事者、5 名が健常者、30 名近くのアパートがいます。約 160 名のメンバーを有し、モンゴル自立生活センターナショナル委員会の加盟団体です。次の 3 つの分野で活動を行っています。</p> <p>1. 自立生活プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介助者派遣サービス ・ ピアカウンセリング ・ 自立生活プログラム <p>2. 社会参加支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アドボカシー活動 ・ 就労支援 ・ 調査、モニタリング ・ メンバー開発 ・ バリアフリー助言 <p>研修はメンバー向け、機関・団体向け、介助者向けの 3 つで実施しています。</p> <p>3. 教育プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インクルーシブ教育支援 ・ セミナー開催 ・ アドバイス |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アジア及び世界の自立生活センターネットワーク加盟団体 ・ アジア 8 か国「ココロザシ」ネットワークのメンバー |
| JICA との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術協力プロジェクト「障害者就労支援制度構築プロジェクト」 ・ 草の根技術協力事業「モンゴル自立生活センター強化プロジェクト」 |



2. モンゴル手話通訳者協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル手話通訳者協会 /Дохионы хэлний хэлмэрч орчуулагчдын холбоо НҮТББ/ |
| 設立年 | 2011 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 10 ホロー、イフトイロー、44-6 |
| 電話番号 | 976-70001220, 976-99624411 |
| E-mail | Masli.mongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | www.masli.mn, https://www.facebook.com/MASLI.MN |
| 代表者名 | L. ソヨルマー |
| 活動内容 | <p>モンゴル手話通訳者協会は聴覚障害者が社会に平等に参加し、自立生活し、学び、就労し、コミュニケーションするのに手話通訳サービスを提供する目的で 2011 年に設立されました。同協会は 2014 年 12 月に当時の人口開発社会保障省の許可書を取得し、2013 年に世界手話通訳者協会の常任団体として加盟しました。</p> <p>モンゴル手話通訳者協会は教育省、労働社会保障省、警察庁などの政府及び非政府組織の約 40 の機関と手話通訳サービスを行う提携を結んでいます。また、モンゴル手話通訳者協会は聴覚障害者の市民団体、その他障害者の NGO と協力しています。</p> <p>モンゴル手話通訳者協会メンバーの通訳者たちは、専門・会員通訳者、実習生通訳者というレベル別で通訳者を訓練し、理事会に聴覚障害者会員がいます。通訳者らは「手話通訳者の道理規則」を固守し、活動しています。</p> <p>モンゴル手話通訳者協会は、2013 年から聴覚障害者教育 NGO と協力して通訳者を育成しています。現在、モンゴル手話通訳者協会では 11 人の手話通訳者が常勤職員、契約職員として勤めています。</p> <p>2020 年にモンゴル手話通訳者協会は、聴覚障害者に遠隔コミュニケーションサービスを普及させ、手話ビデオフェイスブックアドレスでオンライン通訳サービスを開始し、2021 年から労働社会保障省と共同でオンライン通訳サービス www.duudlaga.mn を開始しました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 世界手話通訳者協会の常任メンバーであり、モンゴルを代表する手話通訳者団体です。同協会の日本及びアジアの加盟団体と協力し、聴覚手話通訳者協会と協力覚書を結んでいます。 |
| JICA との協力状況 | 2021 年に JICA と共同で、聴覚障害児が義務教育学校で手話通訳サービスを通じて共に学ぶプロジェクトを実施しました。私たちはこれまでに、聴覚障害児教育で「2つの言語方法」プロジェクトを 2~5 年間、聴覚障害教育 NGO と共に実施しました。このプロジェクトの成果として、聴覚障害がある 2 名の生徒が第 29 番小学校で「2つの言語方法」で学んだあと、6 年生から義務教育学校の第 16 番学校に編入しました。このようにモンゴル手話通訳者協会は手話通訳サービスを提供し、すべての授業を手話通訳で行っています。聴覚障害児の早期診断プログラム、就学事前教育、初等教育を手話と書き言葉で習得するのに、中等教育から義務教育学校でコーディネーターサービス通訳を介して学ぶ機会を試しています。このプロジェクトの実施により、聴覚障害児が平等に共に学ぶシステムを支援する教師・通訳者の数、雇用のニーズを明らかにし、システムに盛り込むことを目的にしています。 |

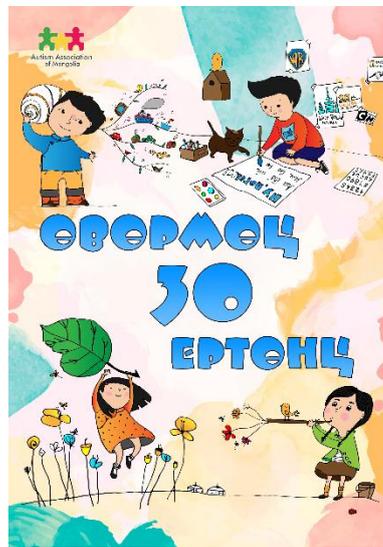
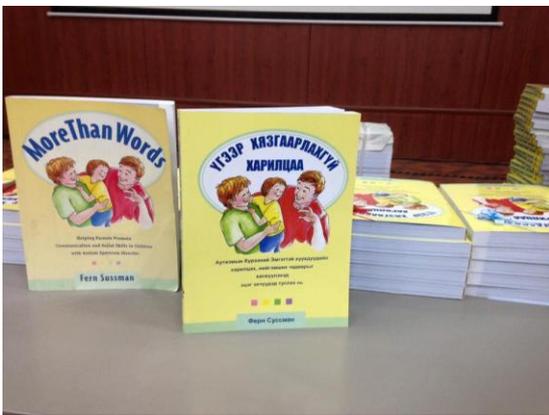


3. モンゴル自閉症協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル自閉症協会 /Монголын Аутизмын Холбоо/ |
| 設立年 | 2014 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第 3 ホロー、ドンドゴル・ストリート 30A-32 号室 |
| 電話番号 | 976-91859191 |
| E-mail | autismassociationmongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | Autism Association of Mongolia |
| 代表者名 | Shi. バイガルマー |
| 活動内容 | <p>モンゴル自閉症協会は自閉症の子の保護者の提案で設立され、ボランティアによって活動を行っている NGO です。保護者のために本の出版、情報発信、カウンセリング、セミナーを実施しています。また、国内外の政府及び非政府組織と協力し、社会に自閉症についての正しくポジティブな理解を広めるために活動しています。</p> <p>自閉症の子どもたちの教育を改善するために、ウランバートル市と地方の特別学校の生徒向けにリラックスルーム、教室を設け、教師たちに研修を行い、本、ハンドブック、資料を提供してきました。</p> <p>また、自閉症の子どもたちが平等に教育を受ける機会を増やすことを重視し、教師向けハンドブック「自閉症の子どもたちに平等な教育を」を作成・出版し、モンゴルのすべての教師たちに広め、試してもらっています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカのフォーブライイトプログラムの専門講師を招待し、インクルーシブ教育についての研修を開催しました。 ・アメリカのイリノイ大学の行動専門家教師を招待し、保護者にセミナー、カウンセリングを実施しました。 ・カナダ基金の支援で、地方の特別学校の生徒たち向けのプロジェクトを実施しました。 ・オーストラリア政府の支援で、ウランバートル市の特別学校で、自閉症の生徒たちが学びやすい環境を作るプロジェクトを実施しました。 ・Zonta 国際機関の支援で母親たちにセミナーを開催し、自閉症の子どもたちが学ぶ資料を出版しました。 ・日本の Sport for Tomorrow 団体の支援で、モンゴルのパラリンピック卓球チームの卓球台、ユニホーム、用具を提供し、試合を開催しました。 ・東田直樹氏の絵本「自閉症の僕が跳びはねる理由」を翻訳出版しました。 |
| JICA との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・技術協力プロジェクト「障害児のための教育改善プロジェクト」と協力し、同案件の専門家から研修、アドバイスを受けました。 ・技術協力プロジェクト「障害児のための教育改善プロジェクト」と書籍「自閉症児と保護者が質問する一般的問題」を共同出版しました。 ・技術協力プロジェクト「障害児のための教育改善プロジェクト」と「自閉症」ビデオ授業を作成する際に協力しました。 ・技術協力プロジェクト「障害児のための教育改善プロジェクト」の子どもたちの成長の遅れをなくす早期段階の参加「ポルテージ」プロジェクトをモンゴルで根付かせ普及させるのに、パートナー的に活動しました。 ・JICA モンゴル事務所の支援ですべての郡、地区の専門家らに「自閉症についてのハンドブック」を送付しました。 ・JICA モンゴル事務所の協力で、遠隔地の 5 県の家族に調査、カウンセリングを行いました。 ・JICA モンゴル事務所の支援で、「自閉症について」ビデオ授業シリーズを作成しました。 |



Autism Association
of Mongolia



4. モンゴルダウン症協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴルダウン症協会 /Монголын Дауны Холбоо/ |
| 設立年 | 2007 年 |
| 住所 | ・子ども開発センター；ウランバートル市ハンオール区第 15 ホロー、ホルド地区ラピドハルシ、マハトマガンディ通り、28-1 ・職業訓練センター（オフィス）；ウランバートル市スフバートル区第1ホロー、平和大通り 17、ゾリグ基金敷地内 |
| 電話番号 | 976-70009688, 976-99116663, 976-99844884 |
| E-mail | 321dsamongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | DSAMmn |
| 代表者名 | B. ガンゾリグ、B. ナランジャルガル |
| 活動内容 | <p>モンゴルダウン症協会は保護者の提案で 2007 年に設立された非営利、非政府組織で、首都及び地方で約 600 名のメンバーが活動しています。協会の目標のひとつは、知的障害の一種であるダウン症の子どもとその家族の権利を保護し、発達を支援し、社会参加の機会を提供するために、すべての人々に共通理解を届けることです。</p> <p>私たちの目的はダウン症の人々の発達、権利保護、ダウン症を社会でポジティブに理解してもらうことを支援することで、長期ビジョンはダウン症の国民が社会活動に平等に参加し、モンゴル国の納税者として自立できるようにすることです。</p> <p>設立以来、積極的に活動を行い、アジア太平洋ダウン症協会正式メンバーであるだけでなく、国際的に著名な団体の代表理事投票権所有団体に選ばれています。私たちは世界ダウン症協会のメンバーで、国連のニューヨーク本部、ジュネーブの本部に世界ダウン症の日に招待され、スピーチをし、国際的に積極的に活動しています。ダウン症とは何か、その特徴、早期発見、発達段階、教育、メンタルについてモンゴルで不足している知識を保護者と社会に与え、ダウン症児に接する方法を提供し、ポジティブな社会の傾向、活動、正しい理解を与える目的で、近 10 年間国内外で様々な動画を作っています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 世界ダウン症協会、アジア太平洋ダウン症協会、ポーランド大使館、アジア基金、JICA |
| JICA との協力状況 | <p>モンゴルダウン症協会は設立以来、日本のダウン症協会、ボランティア団体職員、学術研究者、医者と親密に協力してきた歴史があります。私たちの協会の幹部、教師、医者、保護者が何度も日本を訪問し視察したほか、日本から特別専門ボランティア2名を招待し、モンゴルで2年間活動し、特別教育分野に多大な貢献をしました。</p> <p>モンゴル・日本の友好関係、技術協力がこの 50 年近く発展し、日本がモンゴルに行く支援の枠組みが年々拡大し、モンゴルのすべての分野が含まれました。このうちのひとつが、モンゴル人専門家が短期・長期の研修、技術セミナーに参加していることです。これらの研修を JICA が実施し、1968 年からモンゴル政府機関の公務員の研修参加が始まりました。様々な分野の 2900 名近くが、日本政府の 100%奨学金で留学しています。</p> <p>協会のガンゾリグ会長、バトツェツェグ元理事長らは JICA の研修に参加し、日本、カンボジア、タイの優秀な経験をモンゴルに普及させ、研修の過程で発見した知識、経験を母国で実施することを目的に活動しています。これらの協力、パートナーシップの一環で、モンゴルダウン症協会から保護者向けのハンドブック、専門家らのアドバイスを載せた小冊子を出版し、JICA モンゴル事務所及び日本研修生帰国同窓会がモンゴル国の隅々まで配布する活動を支援したことに、深く感謝を申し上げます。この本が保護者だけでなく、教師、医師、ソーシャルワーカー、ボランティアの方々の欠かせない本になったと信じています。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウンの困難な時期に保護者、教師、医師、ソーシャルワーカー、ボランティア、マスコミの各分野の方々向けにビデオ授業シリーズを用意し、オンラインで協会のすべてのメンバー及び社会に広める活動を成功裏に行いました。</p> |

2021年には国際障害者デーに合わせて、ダウン症について正しい知識と情報を社会に広め、JICAと協力している案件を社会に紹介するために、ウェブメディアにインタビュー記事掲載を共同で行いました。



5. モンゴル聴覚障害者国家協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル聴覚障害者国家協会 /Монгол Улсын Сонсголгүй Иргэдийн Үндэсний Холбоо ТББ/ |
| 設立年 | 1978 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第11ホロー、警察通り、リハビリテーション・職業訓練センター第2棟 |
| 電話番号 | 976-94050530 |
| E-mail | deaf.mongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/mgldeaf |
| 代表者名 | A. エンフバートル |
| 活動内容 | <p>モンゴル聴覚障害者国家協会は 1978 年 5 月 25 日に当時のモンゴル人民共和国の大臣らの委員会決議により、モンゴルの視覚障害、言語障害、聴覚障害のある人々の生活を持続的に向上させ、ニーズを満たす目的で 1 万人のメンバーで設立されました。</p> <p>1994 年に社会経済変化にともないモンゴル聴覚障害者国家協会 NGO となり、現在まで自立的に活動を行ってきました。1979 年に World Federation of the Deaf 常任メンバーになり、1992 年に World Federation of the Deaf Regional Secretariat Asia に加盟しました。</p> <p>目的； モンゴルで生活している聴覚障害者の権利を保護し、全面的に支援し、手話、保健、教育の支援サービス、活動を包括的・効果的に計画し実施することです。</p> <p>長期ビジョン； モンゴルの聴覚障害者の法的権利を保護する目標を実施するのに、アジア及び世界の団体、NGO と協力します。モンゴルの法律および国際契約に従いモンゴルの聴覚障害者の権利と自由を持続的に保護し、社会のすべてにおいて平等な国民であることを確保します。</p> <p>モンゴル聴覚障害者国家協会は、国民の権利を保護し、聴覚障害者の発達、健康、教育、文化、スポーツ活動を包括的に行うほか、行政及び NGO との協力を強化することを目的に活動してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「障害者就労支援制度構築プロジェクト」 |



6. モンゴル障害者自由労働組合

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル障害者自由労働組合 /Монголын хөгжлийн бэрхшээлтэй иргэдийн чөлөөт үйлдвэрчний эвлэлүүдийн холбоо / |
| 設立年 | 1999 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第 2 ホロー、第 26 番棟 |
| 電話番号 | 976-99152896, 976-89152896, 976-70052530 |
| E-mail | Enkhee_0910@yahoo.com |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | L. エンフバヤル |
| 活動内容 | <p>モンゴル障害者自由労働組合は、障害者の労働権利、それに関連する権益保護のために、自立的に活動を行っている NGO です。</p> <p>同組合は 1999 年 12 月 3 日に設立され、ウランバートル市の 9 つの区、21 の県で労働組合顧問国家支局によって、全国で活動を継続的に行っています。</p> <p>モンゴル障害者自由労働組合の国家支局長の 68%は女性で、32%は男性の幹部であり、2020 年末の時点で労働組合公式登録の 18,618 名のメンバーで活動を行っているほか、労働組合所属の障害者マイクロビジネス開発支援センター、遠隔研修情報センターを通じて活動し、メンバーと支援者らの能力を強化し、専門技能を与え、情報普及を高めるために活動しています。</p> <p>私たちは障害者の労働権利確保と保護のために、多岐に渡る活動を行ってきました。国連で批准された障害者権利条約をモンゴルで批准する際に貢献し、アジア太平洋地域諸国の政府ハイレベル会談で出されたインチョン宣言を施行し、精神の健康法、福祉・社会保障法を新規改訂し、障害者人権法などの作成承認ワーキングチームで活動してきました。これらすべては、同組合の職員の能力、誰かのためにという考えのもとに活動していることの表れです。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | ロシアのバイガル市、中国内モンゴル自治区のいくつかの省と協力しています。 |
| JICA との協力状況 | 2009 年に労働組合所属のスタート研修センターの能力強化案件で協力しました。 |



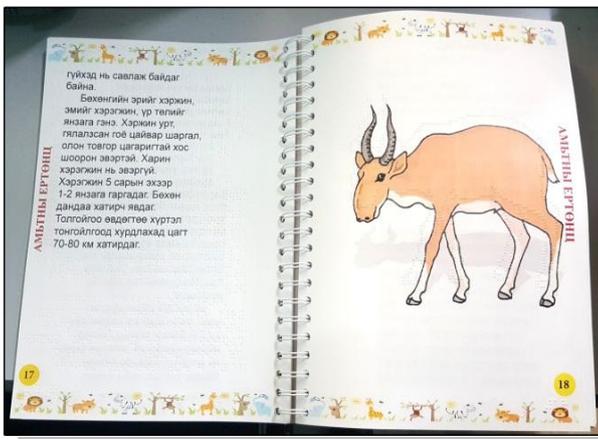
7. モンゴル車椅子利用者国家協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル車椅子利用者国家協会 /Монголын Тэргэнцэртэй Иргэдийн Үндэсний Холбоо/ |
| 設立年 | 2005 年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区第 2 ホロー、チンギス通り、ノミニユナイテッド 8-3 |
| 電話番号 | 976-75952929, 976-89982929 |
| E-mail | Wheelchairusersmongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | www.facebook.com/MNAWU/ |
| 代表者名 | B. チョローンドルゴル、P. サランゴー |
| 活動内容 | <p>モンゴル車椅子利用者国家協会は、会員の積極的な社会参加のための情報提供、精神的・知的支援による生活の質の向上、車椅子利用者の権利保護のために活動を行っている NGO です。同協会は現在、ダルハンオール県、アルハンガイ県、ウブスハンガイ県、バヤンホンゴル県、ヘンティー県、セレンゲ県に支部があります。私たちの目的は、行政サービス、社会の傾向を優しく包括的にすることで、行動制限がある車椅子利用者の権利を保護することです。</p> <p>目標；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家・地方政策を障害者の権利条約に適合させる ・ 障害者が困難なく行き来し、社会的基本サービスを同様に受ける際に直面しているインフラ普及を改善するのに提言する ・ 障害を持った女子、女性の権利を保護し、保健サービスを改善するために多方面でイベントを開催する ・ 会員の能力強化、活性化、情報提供、就労支援 <p>プログラム；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員参加促進、社会支援コーディネートプログラム ・ インフラ普及改善プログラム ・ 障害を持った女性の能力強化プログラム ・ 社会と政策への提言プログラム |
| 日本・各国との協力状況 | フィンランドのフロム国際団体と「障害を持った女性支援団体の能力強化のためにリプロダクティブ保健サービス改善に提言する」プロジェクトを共同実施 |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」 |



8. モンゴル視覚障害者協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル視覚障害者協会 /Монголын Хараагүйчүүдийн Үндэсний холбоо /МХҮХ/ |
| 設立年 | 1978年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区チンギス通り、視覚障害者職業訓練開発センター |
| 電話番号 | 976-70044179 , 976-86574444, 976-88077700 |
| E-mail | info@mnfb.mn |
| URL/Facebook | Монголын Хараагүйчүүдийн Үндэсний Холбоо |
| 代表者名 | D. Ганбат、Sh. Оюунбат |
| 活動内容 | <p>モンゴル視覚障害者協会は視覚障害者の教育と就労を支援し、文化芸術、スポーツ、健康の分野で多岐にわたる活動を行い、会員の権利保護、社会参加支援を目的とする非営利・非政府組織です。</p> <p>ウランバートル市、地方の支部を通じて全国規模で10,800名の全盲・弱視の会員を対象に、活動を行っています。</p> <p>当協会所属の点字出版センター、専門コース、就労センター、BEST FM-98.5 ラジオスタジオ、BEST MASSAGE チェーン店、「太陽の子どもたち」幼稚園、CAFÉ MORE があります。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 日本の筑波大学、視覚障害者協会、デンマークの視覚障害者協会、パデム国際団体、韓国のシオラム国際団体 |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」 |



9. エネレリン・トゥーチャー

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | エネレリン・トゥーチャー /Энэрэлийн Түүчээ ТББ/ |
| 設立年 | 2012年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区、チンギス通り、スンベルタワー16 |
| 電話番号 | 976-89069935, 976-89008668, 976-89011691 |
| E-mail | info@etuuchee.mn, project@etuuchee.mn |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/tuuchee.tbb |
| 代表者名 | B. ディワー（プロジェクトマネージャー） |
| 活動内容 | <p>2012年に設立され、障害児の発達支援活動を行っています。現在、私たちは障害児と保護者、教師向けに次の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40～45人の子どもたちを受け入れ、4つのクラスから成る「希望の宮殿」特別幼稚園 ・特別支援が必要な子どもたちに接する教員、職員、保護者に情報提供、能力強化する「研修・研究センター」 ・重度障害児を家庭訪問する「訪問サービス」を毎年15～20人の子どもに提供 ・知的障害の若者のハンドメイドプログラム ・知的障害の若者の就労支援プログラム |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツザクセン州若者奨学金基金の支援で障害児教育を支援し、幼稚園教諭、アシスタント教諭、障害児の両親・保護者に関係機関の専門家による能力強化プロジェクト ・三菱コーポレーションの資金援助で、長年の調査に基づいたWHOのICF-CYに依拠して作成した使いやすい言葉の電子及び紙ベースの乳幼児の発達水準測定、発達の遅れを早期発見するアセスメントプログラム実験プログラム |
| JICAとの協力状況 | なし |



10. We can MN 協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | We can MN 協会 /Бид чадна эм эн нэгдэл ТББ/ |
| 設立年 | 2013 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第 7 ホロー、12-220 |
| 電話番号 | 976-99741916 |
| E-mail | bidchadnadpo@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/BidchadnaMN |
| 代表者名 | オトゴントヤ |
| 活動内容 | <p>障害者が平等に働き生活することができる環境をつくり、雇用を促進し、社会的責任ある雇用主を支援・広報し、社会にポジティブな姿勢を広める目的で、2011 年に国際プロジェクトの一環で bidchadna.mn ウェブサイト開発事業を提唱し、活動を開始しました。2013 年にこのウェブサイトの活動に基づき「We can MN 協会」NGO を設立し、障害者への情報提供、能力強化、文化芸術を通じて社会に紹介する活動をしています。</p> <p>障害者についての見方を変える目的で、車椅子利用者のファッションショー、車椅子利用者のミスコンテスト、国際現代舞踊プロジェクト、学生たちのボランティア活動「We can ボランティアプログラム」、障害を持った若者向けのメンタープログラム、障害を持った女性の権利保護、車椅子利用の子どもたちの出来事についての絵本シリーズなど、文化芸術、就労を向上させる国内外の多くのプロジェクトを提唱し実施しました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>JICA 技術協力プロジェクト「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」で実施された障害と平等研修に、団体設立者 O.オトゴントヤ、Kh.バトチメグが参加しトレーナーになり、当団体が開催しているボランティアプログラム参加者の学生たちと民間セクター、行政機関の約 500 名に研修を行いました。Kh.バトチメグはトレーナーNGO の理事会理事長であり、活動を兼任しています。B.オトゴントヤは上記プロジェクトの NGO 代表共同委員会で、2016～2020 年に委員として活動していました。同委員会が開催したタイの障害者権利保護 NGO ネットワークの研修に参加し、アジア太平洋諸国の障害者センターの視察に参加しました。</p> |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」 |



11. エールテイ・ユルトウンツ

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | エールテイ・ユルトウンツ /Ээлтэй ертөнц ТББ/ |
| 設立年 | 2009 年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区第 4 ホロー、Viva city 地区 N1 ブロック |
| 電話番号 | 976-9411568 |
| E-mail | Tuya2278@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/MercifulWorld |
| 代表者名 | T. トヤジャルガル |
| 活動内容 | <p>エールテイ・ユルトウンツは、日常的に介助が必要な子どもたちの発達を支援し、保護者の社会参加の機会を増やし、生活の質を向上させるために、2009 年から現在まで活動を行っています。子ども発達センターを開設し、脳麻痺筋肉収縮診断の 12 名の子ども、重度の知的障害の 12 名の子どもに 24 時間サービスを提供しています。知的発達の特徴の違いが、子どもたちの自立した社会参加のチャンスを制限していますが、支援によって可能になります。私たちは、5 年後に「ハンニぬいぐるみ工房」でアシスタントとして働けるレベルにまで育成するプログラムを作成しました。日常的に介助が必要な子どもたちと保護者の参加・協力で、子どもたちの発達プログラムの効果が出るため、両親が参加する時間を作り、研修を行いました。保護者は専門チームの助言の下、子どもと接することで、子どもたちがノートとペンを使って学ぶ、動作が改善される、保護者が子どもの特徴を正しく理解する等ができるようになります。私たちは理学療法、作業療法、言語療法、食事という順序で 9、10 月に 6 回の会合、活動をナイラムダル子どもキャンプ地、ナモーン基金、第 63 番学校などと共同開催しました。</p> <p>エールテイ・ユルトウンツ所属エネレル子ども発達センターは、2021～2022 年新学期の学習カリキュラムに音楽療法を追加し、2 つのクラスの子どもたちに良い効果が表れました。目だけ動かせる状態の子どもも音楽を聞き、教師の指示で楽器に触れると、筋肉を動かそうとし、手を自分で動かそうとするようになりました。知的障害の子どもたちはギタープログラムに集中し、メロディーに合わせて動くなど理学療法の一部として効果的です。</p> <p>センターの活動支援目的で、保護者の職場となる「ハンニぬいぐるみ工房」を開設し、販売資金で子どもたちを受け入れています。ハンニぬいぐるみ工房は、日常的に介助が必要な子どもの世話をしている母親たちの就労を目的に、2011 年に開設しました。これまでに約 100 名の女性が参加し、国からの手当のほかに、子どものために使える収入源になりました。多くの保護者達がひとつになったことで、7 年後に子ども発達センターが設立しました。子ども発達センターの資金を政府が支援する制度がないため、この工房で生産される製品の利益で、子どもたちを受け入れています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 三菱コーポレーションから 2018 年、2019 年に支援を受けました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



Ханни
маш хялбархан
Бидний оролцоо

"Ээлтэй Ертенц" ТББ since 2009
Байнгын асаргаа сувилгаа шаардлагатай
хүүхдэд ЭЭЛТЭЙ орчин бүрдүүлгээ

Ханни
ЗӨВЛӨН
ТОГЛОМ

Фэйсбүүк хуудас: Ээлтэй Ертенц ТББ New Merciful World NGO,
Хөмсөг зөвлөлөгч тоглоом
Хүүхдэд хөгжүүлэх Энэрэл төв
Хаяг: Хан-Уул дүүрэг 4-р хороо, Вива сити хороолол N1 Блок
Утас: +976-94115668.

Хүний талваа шалхаж зурж бүхэн ариун байж
Хүүхдийн талваа тэмүүлэх зам мөр тгшгь байж
"Ээлтэй Ертенцийнхон"

12. サインナイズセンター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | サインナイズセンター /“Өгөөмөр Сэтгэл Нийгэмлэг” ТББ-ын дэргэдэх “Сайн Найз” төв/ |
| 設立年 | 2014 年 |
| 住所 | バヤンズルフ区第 17 ホロー、エルデネトルゴイ 35—924 |
| 電話番号 | 976-89555755, 976-96889713 |
| E-mail | uguumursetgeltbb@gmail.com, gkeymn@gmail.com |
| URL/Facebook | Сайн Найз Facebook |
| 代表者名 | J. アルタントウルフル |
| 活動内容 | サインナイズセンターは、障害がある青少年の権利を尊重し、彼らの発達と社会参加を支援し、両親、保護者、専門家、社会の見方を変え、能力強化する活動と研修プログラムを実施している NGO です。私たちは青少年の社会における平等な参加を重視し、障害によって差別されずに同世代の友人や仲間たちの間で学び、発達し、就労の方向性を与えて就労の機会を提供し、創造的で一人前の人間になることを支援しています。障害がある青少年が友人や仲間と共に活動に参加するのは、障害についてポジティブな見方を作り、相互理解を促し、協力することに影響を与えています。 |
| 日本・各国との協力状況 | 毎週土曜日に障害児と保護者向けに「ニンジンの日」を特定非営利法人ニンジンと共同開催しています。 Young Life Mongolia 国際機関と共同で、重度の障害児にサマーキャンプを開催しています。 World Vision Mongolia の支援で暖房の設置ができたのは、持続的に活動を行うのに大きな支援になりました。 |
| JICA との協力状況 | 草の根技術協力事業「モンゴル障害児療育・教育支援および療育関係者育成事業」 |



13. DET フォーラム

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | DET フォーラム /DET форум- Бэрхшээл ба тэгш байдлын сургалт форум/ |
| 設立年 | 2017 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 8 ホロー、バヤンズルフ・タウン 109-58 |
| 電話番号 | 976-85110109, 976-94230846 |
| E-mail | detforummongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | B. エンフニヤム |
| 活動内容 | <p>私たちは国連障害者権利条約の見解に基づき、すべての人に包括的な社会をつくることを目的にしています。</p> <p>DET 研修の総勢 46 名のトレーナーは、全員障害者であるという特徴があります。研修に使用する研修資料及びビデオ動画にはすべて著作権があるため、DET のトレーナー以外の方が利用することは不可能です。DET 研修のスタンダード期間は 3 か月で、2 部構成で実施されます。</p> <p>第 1 部であるはじめの 1 時間 30 分で障害とは何か、障害はどこにあるか、という問題について参加者がグループで話し合い、3 つの練習を行います。第 2 部である 1 時間 30 分で私たちは何ができるか、という問題についてグループで活動計画を作り、これらの問題の解決方法を見つける総合的研修です。</p> <p>DET 研修のチーム構成は 2 名の常勤講師、研修に参加している参加者の数によってチームのファシリテーター、2 名のアシスタントがつきます。</p> <p>研修形態：グループワーク 研修の種類：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害と平等研修 (DET) 2. DET+障害者をどのように支援するか 3. DET+障害者権利法 4. DET+障害者権利コンベンション 5. DET+スタンダード 6. DET+紹介セミナー |
| 日本・各国との協力状況 | JICA 技術協力プロジェクト「障害者就労支援制度構築プロジェクト」で、DET フォーラムのトレーナーたちの能力強化 |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」で、日本と経験共有する 14 日間の研修を行いました。同プロジェクトと共同で、10,000 名に DET 研修を行いました。「障害児のための教育改善プロジェクト」と共同で、DET 研修を開催しました。 |



14. モンゴル障害者協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル障害者協会 /Монголын хөгжлийн бэрхшээлтэй иргэдийн нэгдсэн холбоо ТББ/ |
| 設立年 | 2009年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第7ホロー、リハビリテーションセンター203 |
| 電話番号 | 976-9994444, 976-9504444 |
| E-mail | Nkh.uadm@gmail.com |
| URL/Facebook | Монголын ХБИ-ийн Нэгдсэн холбоо Page хуудас |
| 代表者名 | D. パータルジャブ |
| 活動内容 | <p>モンゴル障害者協会は、障害者の権利保護のために活動している約40のNGOをまとめ、活動の統一政策管理をし、障害者権利法、障害者権利条約の施行と実施監査の目的で、政府、非政府組織、国際機関と協力して活動しています。</p> <p>活動方針：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者についての国際条約、障害者権利法及び憲法、その他法律で示された権益を守る多方面の活動を行う。 ・ モンゴルの障害者の権益を守るために活動を行っているNGOの活動に統一政策を提供し、指導し、協力する。 ・ 障害者に対する社会の心理を変え、啓発活動を実施し、広報、研修活動を行う。 ・ 障害者に社会におけるすべての面で平等な参加を提供するために、教育、文化、芸術、スポーツ、保健分野の多方面の活動を行う。 ・ 障害者の生活水準を改善し向上させるために、政府及びNGOと共同で就労支援の総括的活動を行う協力方針を固守し、活動する。 |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際労働機関、モンゴル労働者連合協会、雇用主協会と共同で「障害者就労準備総括的対策実施」プロジェクト（2011年） ・ AIFO 国際機関の支援で、障害者就労センターコンベンションの報告発表を他のNGOと共同で作成し、報告会議に出席（2015年） ・ AIFO 国際団体の支援で、管理アカデミー障害者NGOの幹部能力強化研修プログラム（2013年） ・ カリタス・チェコ・レパリック「若者就労支援」プログラム（2020年） ・ アメリカ大使館がアメリカの障害者団体とオンライン会談を開催し、障害者権利法提唱作業を開始し、労働社会保障省とNGOの代表らがアメリカを公式訪問（2015年） ・ オーストラリア政府の奨学金プログラム調整委員会で活動し、障害者をプログラムに参加させる希望を提出し、決定され、2019年から現在まで継続 ・ 静岡県の障害者団体の支援で、フリスビースポーツ普及活動を始め、フリスビー協会を設立し、静岡県と協力（2017年） ・ 韓国済州市の障害者団体、スポーツ協会と共同で、障害者の経験共有、観光事業開始（2018年～） ・ 国連開発計画と共同で「障害を持つ若者の発達を妨げるものをなくそう」プログラム（2014年） |
| JICAとの協力状況 | 当協会加盟NGOがDET トレーナー育成プログラムに参加しました。 |



15. バトエグシグレン

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 団体名 | バトエグシグレン /Батэгшиглэн ТББ/ |
| 設立年 | 2007年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第1ホロー、57-67 |
| 電話番号 | 976-94161919, 976-88189106 |
| E-mail | Yundenbaterdene68@gmail.com |
| URL/Facebook | Yunden Baterdene |
| 代表者名 | Yu. バトエルデネ |
| 活動内容 | 1. バリアフリー化 2. 革を使った絵画 |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICAとの協力状況 | なし |



16. ハンオール自立生活センター

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | ハンオール自立生活センター /Хан-Уул бие даан амьдрах төв/ |
| 設立年 | 2014 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第 18 ホローA0C5 号 |
| 電話番号 | 976-99853849 |
| E-mail | khanuul.ilc@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/Хан-Уул бие даан амьдрах төв |
| 代表者名 | Ts. エンフトヤ |
| 活動内容 | <p>障害の重さや種類にかかわらず、自立生活の見解に基づいて実施されるインクルーシブな環境を提供し、社会福祉サービスをより充実させ、障害者の能力強化を目的に活動を行っている NGO です。</p> <p>私たちは、次の分野で活動を行うことを目標にしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助者 ・カウンセリングサービス ・セミナー、情報提供 ・アドボカシー ・就労支援 |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |



17. モンゴル視覚障害青少年協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル視覚障害青少年協会 /Монголын харааны бэрхшээлтэй хүүхэд залуучуудын холбоо/ |
| 設立年 | 2016年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第18ホロー、83a棟2-1 |
| 電話番号 | 976-77038003, 976-94743838 |
| E-mail | Go.bolormaa@gmail.com, mhbhzh01@gmail.com |
| URL/Facebook | Монголын харааны бэрхшээлтэй хүүхэд залуучуудын холбоо |
| 代表者名 | G. ボロルマー |
| 活動内容 | <p>当協会は2016年に設立されました。私たちは視覚障害がある青少年の権利保護、健康、教育、就労、自立生活のライフスキルを提供するために活動を行っている非営利、非政府組織です。</p> <p>上記の活動の一環で研修や調査の実施、法的・心理的助言を与える、行政及びNGOと協力する地方及び国際プロジェクトを実施しています。</p> <p>2019年から労働福祉サービス局から研修、カウンセリング認定証を与えられました。2020年に家族青少年開発庁から子ども保護対策サービス提供認定証を与えられました。</p> <p>また、当協会所属の「夢の家」開発センター、「心理学教育センター」が成功裏に活動を行っています。「夢の家」開発センターを通じて視覚障害がある青少年に文化、芸術、スポーツ、コンピューター、外国語の知識を与えています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | EU、World Visionと共同で「共に乗り越えよう」プロジェクト (2021年4月～2022年4月) |
| JICAとの協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・技術協力プロジェクト「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」 ・技術協力プロジェクト「障害者就労制度構築プロジェクト」 ・技術協力プロジェクト「障害児のための教育改善プロジェクト」 |



18. サルヒチ・ショボー・センター

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | サルヒチ・ショボー・センター /Салхич шувуу ТББ/ |
| 設立年 | 2003 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 4 ホロー、50 ミヤングト 22—40 |
| 電話番号 | 976-99746900, 976-96336668 |
| E-mail | salkhichshuvuus@gmail.com, khandaa22@yahoo.com |
| URL/Facebook | Салхич шувуу ТББ |
| 代表者名 | D. バダムハンド |
| 活動内容 | <p>サルヒチ・ショボー・センターは、障害者及び社会に情報を提供する目的で、教員・ジャーナリスト専門の D. バダムハンドの提案で 2003 年に設立されました。また、障害者に対する見解をポジティブに変えるために、マスコミと共同でラジオ、テレビ放送をして、社会に向けた啓発活動をボランティアと行ってきました。2003～2007 年に就労している障害者を支援し、雇用主に感謝し、広報と法的環境を改善する目的で、「New Wave FM107.5」ラジオと共同で「Circle of Life」番組を作り、毎週再放送も放送しました。</p> <p>2004～2008 年にモンゴル障害者団体連盟の広報担当として、国会に障害者を支援する団体を設立し、モンゴル障害者団体連盟とその他協会、著名な法律家と共同でモンゴル国憲法改正作業を担当し、政党と団体メンバーに情報提供し、議会の記者と共に広報活動を担当しました。</p> <p>2010 年に、在モンゴルアメリカ大使館の広報担当と「発展のために共に」スローガンで障害者、記者の視察旅行をアメリカではじめて開催することを決定し、2010 年 10 月 22 日から 11 月 6 日に「優秀者の短期研修」に参加することができました。D. バダムハンド記者は 2006 年からモンゴル雇用主連盟管轄の障害者副委員会のリーダーを務め、雇用者らに障害者についての正しい理解を与え、障害者への見解を改善する目的で記事、番組を作成してきました。サルヒチ・ショボー・センター」管轄の「オユーニィ・エルチ」思春期若者クラブを 2010 年に設立し、職場を提供し、生活の正しい習慣を身に付けさせる活動を開始しました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 1997 年以降、モンゴル障害者団体連盟を通じて中国、韓国、ロシア、日本、ドイツ、アメリカ政府国務省の支援で視察、経験共有するチャンスを得ただけに感謝しています。今後もマスコミ機関と協力し、経験共有の機会が与えられると期待しています。 |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」の研修に参加しました。 |



19. ソロンゴセンター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | ソロンゴセンター /Хөгжлийн бэрхшээлтэй хүүхэд залуусын Солонго төв/ |
| 設立年 | 2003 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 18 ホロー、第 84 番学校南側 |
| 電話番号 | 976-95780986, 976-88032047 |
| E-mail | icmrbcmn2022@gmail.com |
| URL/Facebook | ICM Rainbow center Mongolia |
| 代表者名 | Ср.Wusuhua |
| 活動内容 | <p>ソロンゴセンターは、2003 年にシスター・ネリー・ザラガによって設立された NGO です。設立以来、障害のある子どもたちの権利保護、家族への支援、社会への適応、また社会的認識の改善を目的として活動を続けています。</p> <p>当センターでは、学校や幼稚園に通うことが難しい子どもや若者、具体的には知的障害、自閉症、ダウン症、四肢まひ、てんかんなどの診断を受けた子どもたちに対し、教育・社会適応の支援を行っています。また、15 歳以上の若者には就労に向けた準備教育も提供しています。</p> <p>学習は「介護クラス」「高学年クラス」「中学年クラス」のグループに分かれて行い、子ども一人ひとりのニーズに基づいた個別支援計画を作成し、グループ指導と個別指導を組み合わせて実施しています。</p> <p>ソロンゴセンターの 2022～2023 年度の運営体制は、センター長 1 名、ソーシャルワーカー 1 名、教師 7 名、アシスタント教師 1 名、会計士 1 名、調理師 1 名、運転手 1 名の計 13 名で構成されています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | ジョブコーチ研修に教員が参加しました。 |



20. 障害児親の会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 障害児親の会 /Хөгжлийн бэрхшээлтэй хүүхэдтэй эцэг эхчүүдийн холбоо/ |
| 設立年 | 2000年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第20ホロー、障害児リハビリ開発センター内 |
| 電話番号 | 976-70123336, 976-95907012 |
| E-mail | info.apdcmongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | Facebook page: APDC Mongolia Website: www.apdc.mn |
| 代表者名 | S. セレンゲ |
| 活動内容 | <p>目標；障害がある子ども、若者一人一人を尊重し、権利を十分に行使し、社会生活において自立して積極的な国民になる環境を提供することが目標です。障害児親の会は障害児の保護者の提案で設立され、16の県に支部があり、約4300名の会員がいます。政府からのサービスを質の良いものにするために、保護者が知識と情報を持って参加し、権限を持つために活動しています。</p> <p>私たちは次のプログラムを実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 子ども発達センター；幼児に発達支援を行い、余暇時間の発達イベントを開催しています。政府による障害児向けのサービスがない、あるいは不足しているため、障害児の保護者たちが2002年に子ども発達センターを設立しました。子ども発達センターはバヤンウルギー県、バヤンホンゴル県、ダルハンオール県、ドルノド県、オルホン県、ホブド県、フブスグル県にあり、子ども発達特別教室がドルノゴビ県、ヘンティー県にあります。7つの県の子ども発達センターで、約200名の子ども向けサービスを提供しています。 グリーン・ハンドメイド；知的障害の若者たちの就労準備、就労支援、ジョブコーチの法的環境を作るために活動しています。日本からさをり織りの織機を5台購入し、知的障害の若者たちも就労できることを社会と雇用主にアピールしています。売り上げはまだですが、私たちは若者に製品を作り展示販売会に参加することで生活に喜びを与えるために、全国規模で政策提言を行い、活動しています。グリーン・ハンドメイドは、ウランバートル市、オルホン県ですでに3～5年になり、15名近くの若者に非正規・正規の職場を提供しています。ドルノド県、ホブド県でも実施しています。 保護者アドバイザープログラム；法律で与えられた機会がすべての障害児に届くように保護者を能力強化し、権限を持たせています。現在5名のパラリーガル、50名の保護者アドバイザーを通じ、全国規模で保護者に法的助言を与え、直面している問題を法的に解決するのを支援しています。2021年にオンラインで保護者アドバイザープログラムを1年間にわたり実施しました。21の県、8つの区の100名を対象に、人権、差別・偏見、児童の発達、早期診断、行政サービス改善における保護者の参加などのテーマで、オンラインセミナー、情報提供を毎週土曜日に実施しました。障害児の権利を確立する法的アドバイスを保護者に与えることを、保護者アドバイザープログラムの基本目的にし、17回のケース協議を開催し、権利違反の際にどのように法的調査を行うか助言し、仲介する方法について研修を行いました。現在50名の保護者アドバイザーを育成し、障害児の保護者達が将来それぞれの地域で権利を尊重し、行政サービスの質を高めるために法的知識を持って社会参加できることを支援し、自発的に活動できるようにしています。2021年に保護者向け法律ハンドブックを作成し出版しました。 啓発プログラム；全国及び地方で政策提言啓発活動をしています。法律、規則を作成する作業に保護者を代表して参加し、地方でモニタリングを行うことで、障害者が行政から質の良いサービスを受ける機会をつくるのに影響を与えています。障害者権利法改正案に、インクルーシブ新法律の意見を提案し、ワーキングチームが活動しています。これは保護者が法律作成活動に障害児の権利を確立するために参加していることの表れです。また、社会の傾向を変え、ポジティブにするために、「ドアを開けよう」キャンペーンを開催しました。 |
| 日本・各国との協力状況 | <p>国連人権委員会に子どもと障害児の報告書を送り、協力しています。</p> <p>また、日本の3つのNGOと協力しています。ぱれっとNGO 東京、Empowerment Okinawa NPO、NPO さおりひろばネットワーク Inclusion International 国際機関</p> |

| | |
|-------------|--|
| | のメンバーです。 |
| JICA との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ JICA 協力隊員（障害児・者支援）が 2 名配属され、共に活動しました。 ・ 草の根技術協力「モンゴル障害児療育・教育支援および療育関係者育成事業」 |



21. From thought to heart

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | From thought to heart /Бодлоос зүрхэнд ТББ/ |
| 設立年 | 2022 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第1ホロー、ノモンタウン |
| 電話番号 | 976-94113549 |
| E-mail | KokoroTsegji22@gmail.com |
| URL/Facebook | Цээгий Цэрэндолгор |
| 代表者名 | G. ツェレンドルゴル |
| 活動内容 | <p>障害がある子どもと若者の権利を保護し、発達の機会を提供し、家庭訪問及びセンターでサービスを提供するために活動しています。子ども一人一人の特徴に合わせた支援を行うために、2～12歳の障害児に理学療法、個別発達支援を提供しています。また、16～20歳の知的障害の若者たちの就労支援、ライフスキル研修を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達コース；子どもたちをよく観察し、興味やニーズを調査し、知識、言語、コミュニケーション、動作の発達レベルに基づき、発達プログラムを作成しています。現在、個別発達支援コースに1日に6名が通い、月132時間のコースを提供しています。 ・リハビリプログラム；理学療法士が全身の総合的な動作能力をアセスメントし、子どもたちの特徴に合ったリハビリを行っています。 <p>訪問サービス；訪問サービスは教育、リハビリ、福祉サービスを受けられていない障害児の特徴やニーズに合わせた発達コース、リハビリサービスを家庭訪問し提供しています。1日に5名、月に110時間のリハビリサービスを提供しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフスキルコース；知的障害の若者たちに就労能力アセスメントを実施し、就労準備を行い、ライフスキルコースを開催しています。知的障害の若者2人に読み書きとコミュニケーションのコースを提供しています。 ・保護者プログラム；保護者のニーズに合わせて情報提供、研修を開催しています。 ・支援プログラム；義務教育学校の支援チームと協力して情報提供し、教員たちに必要な研修を開催しています。 |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICAとの協力状況 | 技術協力プロジェクト「障害者就労支援制度構築プロジェクト」の研修参加。 |



22. フムーン自立生活センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | フムーン自立生活センター /Хүмүүн бие даан амьдрах төв/ |
| 設立年 | 2018 年 |
| 住所 | オルホン県バヤンウンドゥル郡 |
| 電話番号 | 976-99523330 |
| E-mail | ganchimeg.ps@gmail.com |
| URL/Facebook | “Хүмүүн бие даан амьдрах төв” фэйсбүүк хуудас |
| 代表者名 | P. Ганчиг |
| 活動内容 | <p>フムーン自立生活センターは障害者の権利と自立生活を支援する目的で、2019年に設立された NGO です。人権教育を提供する、社会参加を増やす、自立生活の環境を整えることについてのセミナー、アドバイス、介助者派遣サービス、啓発活動を持続的に実施しています。2022～2025年にオルホン県の県庁と共同で「介助者派遣サービスパイロット事業」を成功裏に実施し、年に30名近くの障害者とその家族が利用しています。</p> <p>理事会メンバー5名、常勤スタッフ6名、パートタイマー8～10名で活動しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 障害者の自立生活権利支援についての日本及びアジア諸国の調査に参加しました。 |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「障害者就労支援制度構築プロジェクト」の研修参加。 |



23. ラントーン・ドヒオ/マジックランド/

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | ラントーン・ドヒオ/マジックランド/ /Лантуун дохио ТББ/ |
| 設立年 | 2013年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第23ホロー、バートルハイルハン通り、2B—1545 |
| 電話番号 | 976-7707-6996, 976-94222888, 976-88084470 |
| E-mail | info.mng@lantuundohio.org |
| URL/Facebook | www.facebook.com/lantuundohio, www.facebook.com/idshidiinoron |
| 代表者名 | U. ガンバヤル、O. オンドラー |
| 活動内容 | <p>ラントーン・ドヒオは、2013年から人身売買、子ども・女性に対する暴力防止等の活動を行い、関連法律を社会に紹介し、段階的なセミナープログラムを作成・開発し、世界中で実施されている暴力反対社会参加活動をモンゴルで実施することを目的とする、非営利で国連協議権利所有ステータスがあるNGOです。</p> <p>私たちは2017年から2020年に「マジックランド1」及び「マジックランド2」子ども保護・発達センターを、ウランバートル市最多の人口を有し、事件発生率が高いソングノハイルハン区とバヤンズルフ区の郊外ゲル地区に、100%社会の寄付と支援で建設しました。</p> <p>この2つのセンターは、暴力の被害者である子どもたちに「子ども保護包括的サービス」を提供するだけでなく、郊外のゲル地区に暮らす子どもたちに平等なチャンスを与えるために就学事前教育を行い、図書館、遊び場、緑地公園、全25種類のコースを無料で提供しているという特徴があります。</p> <p>上記に述べたすべての活動は、アメリカのラントーン・ドヒオNGOメンバー、及びアメリカ、オーストラリア、ベルギー、イギリス、韓国、日本などの国々で活動している支援者「魔法のお兄さん、お姉さん」らの恒常的・持続的支援、また約300名のボランティアメンバーの寛大な心と努力によって支えられています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICAとの協力状況 | なし |



24. National Center Against Violence NGO

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | National Center Against Violence NGO /Хүчрхийллийн эсрэг үндэсний төв/ |
| 設立年 | 1995年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第6ホロー、イフトイロー、ロゴスセンター 302-303 |
| 電話番号 | 976-70119949, 976-96490505 |
| E-mail | mongolcav@gmail.com |
| URL/Facebook | Хүчирхийллийн Эсрэг Үндэсний Төв ТББ / National Center Against Violence NGO |
| 代表者名 | N. アルビントリア |
| 活動内容 | <p>ジェンダーに基づく暴力、中でも家庭内暴力及び性暴力被害者に法的アドバイス、信頼できる電話サービス、一時保護施設サービスを早急に届けています。設立以来30年間、継続して活動し、家庭内暴力及び性暴力被害者約22,000名の女子と女性を支援してきました。私たちは家庭内暴力防止センターと法的義務を負った専門家の能力を強化し、社会の理解と知識を高め、政策提言を行っています。</p> <p>2004年に家庭内暴力防止の初めての法律がモンゴルで承認されるための活動に、率先的に参加しました。また、この法律の施行を改善する目的でモニタリングを行い、2016年に家庭内暴力防止法の改正を国会で承認させることができました。モンゴルで初めて家庭内暴力を犯罪と定め、刑法に盛り込みました。その他、法律に家庭内暴力の被害者保護に関連する調整を盛り込み、家庭内暴力を防止する合法的環境を整えることができました。家庭内暴力防止法の施行に毎年部分的モニタリングを行い、結果と助言を行政機関に提出しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本政府の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」案件で、National Center Against Violence NGO バヤンホンゴル県支部に「家庭内暴力被害者保護施設」を2016年10月8日に開設しました。現在まで継続的に活動を行っています。 ・世界の保護施設ネットワーク、アジアの保護施設ネットワーク、FORUM ASIA、APWLDの加盟機関です。 |
| JICAとの協力状況 | なし |



25. Beautiful Hearts

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Beautiful Hearts /Хөөрхөн зүрх/ |
| 設立年 | 2012 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 1 ホロー、IC Tower 502 |
| 電話番号 | 976-70159688, 976-95959688 |
| E-mail | huurhunzurh@gmail.com, oyundari@btifulhearts.org |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/btifulhearts |
| 代表者名 | B. オユンダリ |
| 活動内容 | <p>私たちは子どもに対する性暴力をなくすために、2012 年から活動している非政府、非宗教的、非政党、非営利団体です。健康で安全な社会のために政策提言し、人権とジェンダー平等、ジェンダーに基づく暴力についての国民と社会の理解・知識を高め、啓発し、リスクを事前回避し、ポジティブな広報活動を行い、社会の傾向を変える目的のもとにひとつになった若者たちの団体です。次の 4 つの基本プログラムがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発；ジェンダーに基づく暴力を予防し、被害者を保護し、人権に基づいた法的制度を整えるために政策提言する。 ・サービス；性的暴力に遭った子どもたちに心のケアとリハビリの社会的及びメンタルサービスを行う。 ・予防；子ども、思春期世代の女子・男子のジェンダーに基づく暴力による問題を予防するために宣伝・広報を行う。 ・能力強化；被害者の権利保護分野で活動している専門家の専門能力、知識、経験を高め、能力強化する。 <p>毎年定期的に行っているキャンペーン活動、イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ONE BILLION RISING」女子、女性に対する暴力反対国際キャンペーン活動 ・「性暴力防止」キャンペーン活動（5 月） ・「PEER CONSULTATION」被害者と接する専門家らの毎月の会合、イベント ・「国際女の子の権利の日」に合わせ、予防キャンペーン活動 ・「16 日間のキャンペーン」ジェンダーに基づく暴力の予防キャンペーン活動 ・専門家らの能力強化専門セミナー（毎年 3 日間） ・思春期の女子・男子にジェンダーに基づいた暴力防止セミナー <p>理事会の 7 名（57%女性、43%男性）、会員 28 名。事務所に 8 名（100%女性、ソーシャルワーカー、カウンセラー、ジャーナリスト）が常駐しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Save the Children ・ 子どもの権利連合メンバー（アジア太平洋）（2018 年～） ・ ONE BILLION RISING 国際運動メンバー、モンゴル国コーディネーター（2013 年～） ・ FRIDA レディフェミニスト国際機関の受益者（2017～2022 年） ・ APWLD 国際機関のメンバー ・ With and For Girls 2017 年受賞 |
| JICA との協力状況 | なし |



26. Open window of future

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Open window of future /Ирээдүйн нээлттэй цонх/ |
| 設立年 | 2018 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第 13 ホロー、ダコビジネスセンター802 号室 |
| 電話番号 | 976-99878556 |
| E-mail | openwindowfff@gmail.com, batkhishig@f-openwindow.mn |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | A. バトヒシグ |
| 活動内容 | <p>Open window of future は、設立者たちが青少年と家族の発達、保護、参加の分野で約 20 年間活動してきた国内外の経験に基づき、2018 年 8 月に NGO として設立しました。</p> <p>Open window of future は確証に基づいた知識、調査に依拠し、青少年と家族の発達、保護、参加を支援し、権利を保護し、能力強化に貢献することを目的としています。私たちは平等な参加、安全、人権、違いを尊重する原則を固守しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達、参加 ・児童保護 ・思春期世代の若者の発達、参加 ・家族教育、発達 ・貧困層の青少年の発達、保護 <p>Open window of future は障害者、困窮者、差別・偏見に遭った人々、家族向けに活動を行っています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>2018 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Save the Children の事業で、多職種専門家チームのソーシャルワーカー向けにハンドブックを作成し、顧問サービス ・ 国連児童基金、教育省の依頼で、義務教育学校における子ども保護政策の原本作成に顧問サービス ・ World Vision の事業で、バヤンゴル区の 5 つの学校、3 つの幼稚園のすべての教職員向けに子ども保護研修 <p>2019 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アジア開発銀行の資金で、Universal Progress 自立生活センター、公共建築 NGO と共同で行った公共交通サービス改善ニーズアセスメント ・ Save the Children、家族青少年開発庁主催の「ポジティブ・ディシプリン」研修のファシリテーター研修参加、ファシリテーターとしてバヤンズルフ区第 26 ホローの若い両親向けに 8 回のセミナー ・ アジア開発基金、労働社会保障省、グリーン・イニシアティブ NGO の家族青少年分野の職員能力強化案件に参加し、調査アセスメント、人事戦略、ハンドブック作成 <p>2020 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国連児童基金、労働社会保障省の社会サービス人材能力強化プロジェクトで行われた子ども保護における直接実践スタンダードプロジェクト、専門的管理試験プロジェクト作成に顧問サービス <p>2021 年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国連児童基金、家族青少年開発庁の事業で、108 ヘルプライン・アドバイザーカード作成に顧問サービス ・ World Vision のダルハンオール県事業で、「悪習慣の予防」トレーナー育成研修 ・ 国連児童基金、労働社会保障省の資金で、子ども保護サービスを行う法人を認証する新規則案作成に顧問サービス ・ 国連児童基金、労働社会保障省の資金で、子ども保護法の改正、新規編集、ソーシャルワーカーの道徳法の初期案作成に顧問サービス |
| JICA との協力状況 | 草の根技術協力事業「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」研修参加。 |

27. Save the Children

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Save the Children /Япон улсад төвтэй Хүүхдийг Ивээх Сан ОУБ/ |
| 設立年 | 2009 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 1 ホロー、アリゾナセンター |
| 電話番号 | 976-11329365, 976-11329371 |
| E-mail | mongolia.secretary@savethechildren.org |
| URL/Facebook | Save the children in Mongolia |
| 代表者名 | L. バヤンアルタイ |
| 活動内容 | <p>私たちは教育、子ども保護、子どもの権利ガバナンス、子どもの貧困解消、人道プログラム、保健などの分野で、次の案件を実施してきました。</p> <p>1. 案件名: 「モンゴルのすべての子どもに平等な教育を」 期間: 2021 年 4 月~2024 年 4 月 目標、目的: ウランバートル市のバヤンズルフ区、チンゲルテイ区、ソングノハイラン区、ウブルハンガイ県、ホブド県の対象校の小中学生が教育を平等に受けられるよう支援する。</p> <p>2. 案件名: 「地方の思春期の子どもたちに個人能力、起業家教育を与える」 期間: 2019~2023 年 目標、目的: 思春期の青少年に個人の能力、起業家教育を与えるために、学習成果を改善し、将来就労する際の準備を目的とする。失業率が高いモンゴルの西部、東部、中央部及びハンガイ地域の代表になるホブド県、サブハン県、ウブルハンガイ県、ゴビスンベル県、スフバートル県の 25 の郡の 14~24 歳の貧困層で学校に通っていない、失業に陥るリスクのある 6000 名の思春期世代の若者と、非直接的な 20,000 名の郡の住民が対象。</p> <p>3. 案件名: 「民主主義のための新時代」 期間: 2020 年 3 月~2022 年 2 月 目標、目的: 同案件は民主主義の価値、国民参加、選挙過程についての青少年の教育向上のために、民主主義ガバナンスを現在と未来の有権者の知識と行動を通じて強化すること。案件では民主主義統治、国民参加について教える国民教育、社会知識の授業学習カリキュラムの内容、教授法を調査し、民主主義についての理解について思春期世代、若者に調査を実施する。</p> <p>4. 案件名: 「女の子を暴力・搾取から保護する」 期間: 2021~2024 年 目標、目的: ウランバートル市の社会的、経済的水準が低い 5 つの区の 12~18 歳の女の子を、新型コロナウイルス感染拡大により悪化した暴力、搾取に遭うリスクから保健、子ども保護、教育サービスを通じて保護する。地方の子ども保護専門家が新型コロナウイルス感染拡大により悪化した暴力、性暴力、人身売買の犯罪被害者の 12~18 歳の女の子がサービスを受けられるようにする。</p> <p>5. 案件名: 「デナン」 期間: 2021 年 目標、目的: 地方の保健センター事業を支援し、能力向上、保健支援サービスを改善する。アルハンガイ県のエルデネマンダル郡、タリアト郡の総合病院でサービスを受けている郡及び周辺郡の住民が対象。</p> <p>6. 案件名: 「モンゴルにおける透明性、社会参加を増やすために社会の責任を強化する MASAM II 案件」 期間: 2021~2023 年 目標、目的: 主な分野で案件の資金をより効果的に利用するためにモンゴルの 21 の県、ウランバートル市で行政サービスを届ける、投資を改善するために社会の責任を高める能力を強化し、技術援助を提供する。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 日本の外務省、日本社会開発基金などと協力しています。 |
| JICA との協力状況 | 草の根技術協力事業「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」 |



28. ナル・サル・オユー

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | ナル・サル・オユー /Hap Cap Oюy/ |
| 設立年 | 2013年 |
| 住所 | アルハンガイ県エルデネボルガン郡 |
| 電話番号 | 976-96969644, 976-85156023 |
| E-mail | nrentsendorj2@gmail.com, damba_avraa@yahoo.com |
| URL/Facebook | Avarzad Avraa, Рэнцэндорж Нарантуяа |
| 代表者名 | D. アウルザド、R. ナラントヤ |
| 活動内容 | <p>ナル・サル・オユーは、住民と障害者の教育を向上させるために貢献し、プログラムを実施し、子どもをリスクから予防する研修、セミナー、会合、面接を開催することを活動基本方針として活動しています。メンバーは5名で、アルハンガイ県で研修や会合を開催し、必要な住民に社会的・心理的支援を行っています。</p> <p>2018年からアルハンガイ県で子ども保護、予防、リハビリ分野で多職種専門家チームメンバーを能力強化し、協力しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>スイス開発庁の融資により、国際移住機関の支援で「移住者を私たちは助ける」プロジェクトを6か月間実施し、移住してきた住民に社会的・心理的支援を行ってきました。</p> |
| JICAとの協力状況 | <p>アルハンガイ県でJICAが実施した「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」案件で、職員が「多職種専門家チーム能力強化」「ポジティブ・ディシプリン」研修のトレーナーとして育成されました。アルハンガイ県の家族青少年開発局と共同で、子ども保護の多職種専門家チームの能力強化研修を共同開催しています。</p> |



29. ボルダグシニィ・ボドル

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | ボルダグシニィ・ボドル /Бор тагшны бодол/ |
| 設立年 | 2019 年 |
| 住所 | アルハンガイ県エルデネボルガン郡、第 1 バグ、ザヤ・ゲゲーン通り 103、タミル映画館 2 階 2 号室 |
| 電話番号 | 976-94339590, 976-99339590 |
| E-mail | bor.tagsh@yahoo.com |
| URL/Facebook | Бор Тагшны Бодол |
| 代表者名 | A. ドゥルグーン、Chi. オランツェツェグ |
| 活動内容 | <p>当 NGO は、社会の第一単位で人間の発達の基礎となる家族及び家族のメンバー、特に子どもと女性の発達、保護、教育、健康面における持続可能な開発を支援するセミナーや啓発活動を行うことで、家族と社会の開発政策に貢献する目的で 2019 年 12 月に設立され、アルハンガイ県エルデネボルガン郡で活動を行っています。</p> <p>設立以来、子どもの権利、権利の保護、健康を守る習慣について学ぶ、家族の発達支援、ライフスキル向上のための知識と理解を高めるセミナー開催や社会活動を行ってきました。パンデミックの時期にも感染予防対策をしながら、938 人の子ども、両親、家族にサービスを提供しました。</p> <p>家庭教育を向上させ、家族の発達支援目的のすごろくゲームを開発し、モンゴル国の著作権に登録しました。このすごろくゲームは、家庭教育の知識を向上させ、啓発するのに重要な役割を果たしているという特徴があります。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | Save the Children と子ども保護活動を行い、「ポジティブ・ディシプリン」の啓発、普及、実施で 2019 年から協力しています。 |
| JICA との協力状況 | 草の根技術協力事業「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」研修参加。 |



30. Women Leader Foundation

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Women Leader Foundation /Эмэгтэй удирдагч сан/ |
| 設立年 | 2001年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区平和大通り、UBH Center7—718 |
| 電話番号 | 976-99099143 |
| E-mail | womanleaderfound@gmail.com, bolormaa.mashlai@gmail.com |
| URL/Facebook | Эмэгтэй удирдагч сан (Women Leader Foundation NGOs) |
| 代表者名 | M. ポロルマー |
| 活動内容 | <p>Women Leader Foundation は民主主義、正義、透明性、ガバナンスを改善するのに女性の参加を促進する、ジェンダー平等の確保、女性の人権保護に貢献するために、次の分野を重視して活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーの見解、政策、プログラム作成、実施に啓発、モニタリング、アセスメントを行い、助言をする。 ・気候変動防止に女性の参加を促進し、女性の能力強化、活動を若い世代に理解させ継承させる。 ・ジェンダーに基づく暴力対策、特に職場におけるセクハラ、女子や女性を性的搾取から予防する、行政や企業団体に顧問サービスを提供し、セミナーを開催する。 ・政策提言 ・セミナー開催 ・ジェンダーアセスメント、アドバイス ・モニタリング調査 |
| 日本・各国との協力状況 | Asia Foundation、世界銀行、国連開発計画、Mama Cash、Global Women's fund、Canada fund、Women's Asia Fund の支援でミニプロジェクトを継続的に実施しています。Information center for Women's Education in Japan から季刊誌を受け取り協力しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



31. Youth Development Center

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Youth Development Center /Өсвөр үеийнхний хөгжлийн төв/ |
| 設立年 | 2005 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 6 ホロー、バガトイロー、ノゴーンオルラン・タウン 73-1 |
| 電話番号 | 976-11324333, 976-99028922 |
| E-mail | enkhtuya@adc.org.mn |
| URL/Facebook | Өсвөр Үеийнхний Хөгжлийн Төв/ADC |
| 代表者名 | D. エンフトヤ |
| 活動内容 | <p>思春期世代（12～22 歳）の発達、保護、社会参加分野で国内外の NGO、国際機関、行政機関と積極的に協力して、新しいアイデアやプロジェクトを地方のチーム、ボランティアの参加で開催し効果的に実施することが私たちの目的です。</p> <p>活動分野：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクにさらされている思春期世代の権利、義務、参加、ライフスキルの知識と能力を高める多種のコース企画、実施、子どもたちが社会で自立し正しい人間になることを手伝う。 ・青少年の将来の専門選択を手伝い、アドバイスや情報を提供する。 ・子どもや家族と協力する関心のある、地方の生徒たちやボランティアを支援し能力強化して彼らの参加を促進する。 ・子どもへの暴力防止、人身売買、性的搾取予防の協力強化に貢献する。 |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ECPAT/ End Child Prostitution Child Pornography and Trafficking of Children for Sexual Purposes/ ・性的搾取や人身売買から子どもを保護する国際ネットワーク機関メンバー、モンゴルにおけるコーディネーター機関として 2005 年以降活動。 ・2014～2020 年、IOM と共同でモンゴル国内に移住した家族、青少年の権利保護、知識・情報の普及、地方行政機関と協力しプロジェクト実施。 ・2012～2020 年、カナダのドゥフレンセ・ゴトゲリー基金の融資で思春期世代の貧困層の女子を性的搾取、人身売買から保護する「Dream Key」プロジェクト実施。 |
| JICA との協力状況 | なし |



32. 女性、子ども開発センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 女性、子ども開発センター /Эмэгтэйчүүд хүүхэд хөгжил төв/ |
| 設立年 | 2003 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 2 ホロー、イフトイロー15-1-422B |
| 電話番号 | 976-94443347 |
| E-mail | wcdc.mn@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/wcdc.mn |
| 代表者名 | ブレンジャルガル |
| 活動内容 | シングルマザー、低所得者層の女性とその子どもたち及び孤児の教育、健康を支援し、ライフスキルを与え、研修を開催しています。 |
| 日本・各国との協力状況 | グローバルファウンデーションの支援で HIV、結核プロジェクトを 2012 年に実施しました。 |
| JICA との協力状況 | なし |

33. モンゴル女性法律家協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル女性法律家協会 /Монголын хуульч эмэгтэйчүүдийн холбоо/ |
| 設立年 | 1992年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第6ホロー、若者通り2/1 |
| 電話番号 | 976-99115479, 976-99272868, 976-11322212 |
| E-mail | Mwla1992@gmail.com, badraadolgor@gmail.com |
| URL/Facebook | Монголын Хуульч Эмэгтэйчүүдийн Холбоо |
| 代表者名 | B.ドルゴル |
| 活動内容 | <p>モンゴル女性法律家協会は法律家専門の女性たちが集まり、すべての県と区に会員と支部を有し、社会向けサービスを行うNGOです。理事会会員19名、監査顧問3名の幹部から構成されています。</p> <p>モンゴルにおける法改革と法制度を進化させ、ジェンダー平等、国民の法的知識を高めるのに貢献する目的で法的サービス、法教育、政策提言、調査、法案作成の分野で活動してきました。家庭内暴力防止法、人身売買防止法、ジェンダー権利平等法案を作成し、国民、家族、労働などの法律を改正し、人権、ジェンダー、反汚職の分野で政策、プログラムを作成し、法律、政策の実施に調査とジェンダーの詳細調査を行い、自然保護に対する住民の参加を増やすなどの分野で活動を行っています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>協会が設立された1992年に、初めて日本の法律家女性をモンゴルに招待し、協力関係を築き、これが国際協力のスタートになったことを私たちは誇りに思っています。この協力の一環で、モンゴルの法律家女性らが1994年に日本で視察を行いました。また、1名の職員が日本の修士課程で学びました。</p> <p>モンゴル女性法律家協会は国際女性裁判官協会の会員で、定例会議に継続的に参加しています。韓国、台湾の女性法律家協会と姉妹関係のほか、国際会議、協議会に常に参加しています。国際機関と常に協力を発展させてきた例を述べると、世界女性基金、国連開発計画、国連人口基金、EU、ILO、世界銀行、アジア開発銀行、ドイツのGIZ、アメリカのUSAID、オーストラリアのAusAID、IOM、スウェーデン開発庁、チェコ開発庁、国際法機関IDL0、ソロス基金、カナダ基金、アジア基金、チェコのPeople in Need、MercyKorps、ノルウェーの援助機関、ドイツ、オランダの大使館などの機関と協力し、毎年1~2件のプロジェクトを実施してきました。</p> |
| JICAとの協力状況 | なし |

34. リベラルウーマン知識基金

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | リベラルウーマン知識基金 /Либерал эмэгтэйчүүдийн оюуны сан/ |
| 設立年 | 1992 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、GB センター302 |
| 電話番号 | 976-77007999, 976-99992552, 976-95099699 |
| E-mail | info@leos.mn |
| URL/Facebook | Либерал эмэгтэйчүүдийн оюуны сан |
| 代表者名 | Ts. ブジドマー |
| 活動内容 | <p>リベラルウーマン知識基金は 1992 年に設立され、21 の県に支部を持つ全国規模の NGO です。モンゴルにおける男女平等、社会のすべての分野で女性が能力、経験を活かして参加できる社会の正当な制度を整えるのに、会員を通じて貢献することを団体の目的にしてきました。</p> <p>女性のリーダーシップ、政治参加、有権者教育の分野で活動し、人権、自由、社会の平等、管理職における女性の参加を増やすために研修、調査、啓発活動を行っています。管理職の女性数を増やし、市民社会団体の能力強化分野で、継続的に活動しています。モンゴルにおける市民社会参加に大きな影響を与える女性たちの NGO を設立するのに、リベラルウーマン知識基金は大きく貢献してきており、リベラルウーマン知識基金から全 36 の団体が支部として誕生し、活動しています。</p> <p>設立以来、政治の男女平等、女性の経済能力向上、政策決定機関への市民参加を増やす、行政機関の活動、予算、資金、購入過程のオープン性に市民による監査を増やし、市民社会団体の能力強化で多くの案件プログラムを実施してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1994 年に日本と東アジアの女性たちの初フォーラムに、当団体の 5 名の代表団がモンゴルを代表し参加しました。 ・ 2002 年にさいたま市で行われたアジア女性フォーラムにモンゴルの女性 NGO を代表し、当団体から 2 名の代表が参加しました。 ・ 2013～2015 年に国連女性、ジェンダー平等基金の支援で「国家の発展に女性のリーダーシップ」プログラムを実施し、650 名の立候補女性を育成し、有権者教育支援、啓発活動で約 8,000 名と活動しました。 ・ 2016～2019 年にカナダ政府、アジア基金の支援で「賄賂のない社会のために国民の監査」プログラムを実施し、地方予算資金の調整、行政の購入事業の 80 近くの問題を選びモニタリングを行い、助言を提出しました。 ・ 2020 年にアメリカの開発実施庁、広報担当の支援で「若者、女性の政治、選挙参加強化」案件を実施し、21 の県で 5,000 名近くの若者、女性を対象に活動しました。 ・ 2020～2022 年に国連開発計画の支援で、モンゴル国政府顧問が実施している「モンゴルにおける専門的、国民中心の政治形成」案件で「政府のジェンダー平等」案件を実施しました。この案件で「女性のリーダーシップ総括的プログラム」を作成・実施し、将来行政分野で実施するために、行政顧問の 2021 年 5 月 11 日閣議で承認されました。 <p>行政におけるジェンダーの平等を確立し、管理職で働いている女性公務員のキャリア開発を支援する目的のこのプログラムは、リーダーシップ研修、メンタープログラム、コーチング研修といった 3 つの構成で、参加者を 3 か月間参加させ、知識と経験を積み、成功している行政社会のモデルと新時代のリベラリストから学ぶチャンスをつくり、コーチングの方法を習得させます。この総合的プログラムに 2020 年に 5 名、2021 年 9、10、11 月に 3 グループ総勢 71 名の女性公務員が参加しました。</p> |
| JICA との協力状況 | なし |

35. モンゴル女性労働支援協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル女性労働支援協会 /Монголын эмэгтэйчүүдийн хөдөлмөрийг дэмжих холбоо/ |
| 設立年 | 2014年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第1ホロー、平和大通り35、UBH center701 |
| 電話番号 | 976-70137083, 976-88683128 |
| E-mail | Mwesf1@gmail.com |
| URL/Facebook | www.facebook.com/Монголын-Эмэгтэйчүүдийн-Хөдөлмөрийг-Дэмжих-Холбоо |
| 代表者名 | Shi. アリウナー |
| 活動内容 | <p>モンゴル女性労働支援協会は2014年に設立され、女性が就労し収入を得るのに如何なる暴力や圧力も受けずに、政治、社会、文化、社会の権利を完全に有することができるという見解の上で、自発的に集まった、非営利、非政党の非政府組織です。</p> <p>私たちは女性の能力強化、女性の労働、経済への参加を増やし、政策決定者に啓発するために研修、調査、政策提言活動を行い、ウブスハンガイ県、フブスグル県に支部を置き、活動しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICAとの協力状況 | なし |



MONGOLIAN WOMEN'S EMPLOYMENT SUPPORT FEDERATION
NON PROFIT, NON POLITICAL PARTY, NON GOVERNMENT ORGANIZATION

BRIEF INTRODUCTION

Our beliefs:
Girls and women can be free from violence and enjoy social, cultural, political and economic rights as long as they can work and earn their own income.

Our mission:
Promote Mongolian women's employment and uphold economic benefits

The principle:
Implement the principle of corporate governance. Open and transparent. Participation is ensured and decided by majority vote. Based on voluntary membership.

GENERAL INFO ABOUT OUR ACTION

in 2014:
Five women were created on the initiative to work for the realization of women's labor rights.
A report on the subject of "Discrimination" was prepared in the Human Rights Status Report to the UN Human Rights Committee, supported by the Open Society Forum.
Nine delegates participated in the Global Summit of Women in Paris, France.

In 2015:
We organized the National Summit on Employment and Women's Rights, outlining the current need for women to have a child by raising children. Women have also been offered suggestions on labor law and the Family Law, which are being amended by state policy to address this need. Workshop on Sexual Abuse of the Workplace (IAF) has begun.

In 2016:
With the support of MONES, we continued the training and awareness-raising programs for citizens, students. Advisory work is done on the Open Government Partnership plan with the support of the Asian Development Bank. We lead policy awareness project about "The impact of the 5 package law reforms" with the support of the Open Society Forum.
11 delegates participated in the Global Summit of Women in Tokyo, Japan.



We organized the Employment and Women's Rights Forum was held at the Government House in March 2015 and was attended by more than 800 women.



Each season we organized "Early Bird" meeting and discussion women's issues with members.



Every year we participate and co-organized international Human Rights day to promote women's labor rights.



We created some Recommendations on how to prevent sexual harassment at work for the public.



We have been attending the Global-Women's Summit since 2014. It is a travel program aimed at learning from the best women in the world and developing your business.



Утас: +976 70137083, +976 99895070 и-мэйл: mwesf1@gmail.com
лэжж, page name: Монголын эмэгтэйчүүдийн хөдөлмөрийг дэмжих холбоо

36. わたしの家協会 NGO「わたしの家」児童養護施設

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | わたしの家協会 NGO「わたしの家」児童養護施設 /Манай гэр нийгэмлэг ТББ “Миний гэр” хүүхдийн асрамжийн газар/ |
| 設立年 | 1998 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 26 ホロー、イフモンゴル 901-1 |
| 電話番号 | 976-91913482, 976-90903482 |
| E-mail | Enhtsetseg972@yahoo.com |
| URL/Facebook | Enkhtsetseg Aaya Taij |
| 代表者名 | N. ガーマー |
| 活動内容 | 子どもの養護活動を行っています。 |
| 日本・各国との協力状況 | 1998 年から東京大学の教授が「わたしの家協会 NGO」の G. エンプツェツェグ代表らと低所得者層の子ども、家出した子ども、障害児、シングルマザーを対象に 5 年間調査を行い、14 世帯 18 名の子ども、10 世帯の母子家庭に援助・支援をしてきました。 2003 年から 1~3 歳の 8 名の子どもたちを受け入れ、ウランバートル市子ども保護国家センター提言書特別許可に従い、24 時間体制で 4 名の職員と児童保護施設を開所しました。現在、1~21 歳の 42 名がここで生活しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



Б.Батдорж -г Цэргийн албанаас халагдахад нь НОСК-с 1 өрөө байрны батламжийг гардуулж өгөв.
Мөн М.Батжаргал нь МХН Цогц чадамж академид Албан хэрэг хөтлөлт, Нарийн бичиг мэргэжлээр амжилттай төгссөн. 2021 оны 10 сард Япон улсын Сайтама хот дахь EINKOKU сургуульд суралцахаар болсон.



Амьдрах ухаанд бэлтгэгдэн Ногоон тарьж, гурил бүтээгдэхүүнээр талх нарийн боов хийж сурсан.



Улаанбаатар хот, Баянзүрх дүүрэг, 1-р хороо
26-р байр 16 тоот
БЗ дүүргийн 26-р хороо, Их Монгол хороолол,
901байр -1тоот
Утас: 91913482
И-мэйл: enhtsetseg972@yahoo.com



МАНАЙ ГЭР
Асрамжийн газар

БИДНИЙ ЗОРИЛГО

Манай хамт олон хүүхдийг гэрийн нөхцөлд таатай, тайван, аюулгүй, өвчингүй, дарамт шахалтгүй орчинд асарч, боловсрол эзэмшүүлж, чөлөөт цагийг нь зөв таатай өнгөрүүлж, авьяас чадварыг нь хөгжүүлж, амьдрах ухаанд бэлтгэнэ.



37. フグジリン・ヘルヘー

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | フグジリン・ヘルヘー /Хөгжлийн хэлхээ/ |
| 設立年 | 2006 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 19 ホロー、ツァイズ 49 番通り 8 号 |
| 電話番号 | 976-91193364, 976-91091206 |
| E-mail | Hogjiinhelhee_center@yahoo.com |
| URL/Facebook | Development Alliance |
| 代表者名 | A. ドルゴル |
| 活動内容 | 2006～2009 年にアルコール依存症の 10 世帯、2009～2011 年に養育者の保護下 にない子どもたちとその家族、2011～2021 年にリスク下にある子どもたちとその 家族と活動してきました。次のサービスを提供しています。 ・ 社会福祉サービス ・ 子ども発達サービス ・ 社会参加サービス ・ カウンセリングサービス ・ メンタルケアサービス ・ 子どもデイケアサービス |
| 日本・各国との協力状況 | 2009 年 ILO、2012 年カナダ基金、2013 年カナダのドゥフレネ・ゴリエトリー基 金、2020 年韓国の KOIKA、2021 年 World Vision |
| JICA との協力状況 | なし |



СУРГУУЛИЙН НАСНЫ ХҮҮХДҮҮДЭД ЗОРИУЛСАН БЯЦХАН ЗӨГИЙН ӨДРИЙН ҮЙЛЧИЛГЭЭ

"БЯЦХАН ЗӨГИЙН" халамжийн өдрийн үйлчилгээ нь 2009 оноос БЗД-ийн 19-р хорооны нутаг дэвсгэрт байрлан АТД эрсдэлт бүлгийн хүүхдүүдийг орон нутаг, харьяа гүүрэг харгалзахгүйгээр хамруулан ажиллаж байна. Жил бүр 30 гэр бүлийн 70 гаруй хүүхдүүг хамруулж үйлчилгээ үзүүлэн ажиллаж байна.



2013 оны 1-р сарын 23-наас эхлэн БЗД-ийн 19-р хорооны нутаг дэвсгэрт орон нутаг, гүүргийн харьяал харгалзахгүйгээр АТД өрх толгойлсон эцэг эхчүүдийн хөдөлмөр эрхлэлтийг дэмжих, эрсдэлт бүлгийн сургуулийн өмнөх насны 1-5 настай хүүхдүүдэд хүүхэд хамгааллын үйлчилгээнд хамруулж байна.



Хаяг: Улаанбаатар хот, БЗД, 19-р хороо, Цайз 49 гудамж, 08 тоот
Холбоо барих: 9119 3364
U-мэйл: hogjiinhelhee_center@yahoo.com
Сошиал хаяг: JOY хүүхдийн өдөр өнжүүлэх халамжийн төв



Манай байгууллага нь 2006 оноос амьдралын түвшин доогуур, гэр бүлийн хүчирхийлэлд өртсөн, хүнд хөдөлмөр эрхэлдэг, харса хяналтгүй хүүхдүүд, өрх толгойлсон эцэг болон эхчүүдэд нийгмийн ажлын үйлчилгээ үзүүлж ирсэн.

2009 оноос эрсдэлт бүлгийн ЕБС-н болон сургууль завсардсан хүүхдүүдэд зориулсан халамжийн өдрийн үйлчилгээг орон нутаг болон гүүрэг харгалзахгүйгээр хамруулан нийгмийн ажлын болон чөлөөт цагийг зөв боловсон өнгөрөөх хөтөлбөрүүдийг санаачлан ажиллаж байна.

2013 оноос сургуулийн өмнөх насны 1-5 насны хүүхдүүдийг нийгмийн ажлын үйлчилгээ болон хүүхэд хамгааллын үйлчилгээн дээр сүүрлийн халамжийн өдрийн үйлчилгээнд хамруулан өрх толгойлсон эцэг эхчүүдийг хөдөлмөр эрхлэх боломжоор ханган ажилласаар байна.

2018 оноос хойш хүүхэд хамгааллын хариу үйлчилгээ үзүүлэх магадлан итгэмжлэгдсэн байгууллагаар ажиллаж байна.

38. モンゴル SOS 子ども村

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル SOS 子ども村 /Монголын СОС хүүхдийн хотход/ |
| 設立年 | 2002 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 16 ホロー、16 地区ウラーンホアラン通り 1 |
| 電話番号 | 976-11451702 |
| E-mail | Sos.Mongolia@sosmon.mn |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | J. ツェレンダワー |
| 活動内容 | <p>SOS 子ども村インターナショナルは、73 年間子ども向け福祉サービスの 1 つである家族に基づいたサービスを、世界の何百万の子どもたちに提供してきました。同団体のモンゴル支部「モンゴル SOS 子ども村」は、2002 年から活動を行っていて、現在までに約 2,500 名の子どもを対象に、安全な家庭環境で生活し、教育を受け、社会で自立して生活できる個人になれるように活動するとともに、子どもたちが家族から離れるリスクを防止するために、家族支援を行っています。</p> <p>近 20 年間にモンゴル SOS 子ども村は、子ども、若者、家族の変わりゆくニーズに合わせて活動を広めてきました。現在私たちは 2 つの SOS 子どもの村、2 つの若者対象サービス、1 つの家族支援プログラムを通じて、援助、支援が必要な青少年と家族を対象にサービスを提供しています。</p> <p>SOS 子ども村で生活している子どもたちは、普通の家族と同様に「SOS お母さん」と一緒に生活し、幼稚園や小学校に通うと共に、NGO が主催している補講授業（数学、モンゴル語など）、チェス、歌、ダンスのクラブにも通っています。子どもたちは 1 つの家族として一緒に生活しています。</p> <p>若者対象サービスでは、若者たちが NGO 主催のセミナーや活動に参加し、将来自立して生活するライフスキルを学び、社会におけるマナー、コミュニケーション能力を学んでいます。</p> <p>家族支援プログラムでは、子どもが両親、兄弟と一緒に参加し、同プログラムで開催している教育、保健、セミナー、カウンセリング、援助、支援などの活動の対象になります。また両親が裁縫や木工の研修に参加することで、子どもや家族に服を作ってあげる、自分の家の修理など多くのことを自立してできるようになります。これは将来、その家族の経済状況にもプラスの影響を与え、子どもが家族と一緒に生活するチャンスをつくっています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | SOS 子ども村インターナショナル |
| JICA との協力状況 | なし |



39. 児童発達支援センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 児童発達支援センター /Бага насны хүүхдийн хөгжлийг дэмжих төв/ |
| 設立年 | 2009年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第17ホロー、アマルバヤスガラン通り7、ゴルワン・エルデネ教育大学101号室 |
| 電話番号 | 976-99275022 |
| E-mail | amandakh5022@yahoo.com, nmandah5022@gmail.com |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | A. ナルマンダフ |
| 活動内容 | <p>就学前教育改革政策の一環で、教育省就学前教育担当部、国連児童基金、Save the Children と共同で、就学前教育を受けていない子どもの両親、保護者を対象にセミナー、ハンドブック作成、啓発活動を継続的に行っています。教育省戦略的政策計画局の意向で、就学前教育機関の教育環境スタンダードを作成し、モンゴル規格測量庁が承認し、各幼稚園はこれに従い運営しています。</p> <p>モンゴル教員研修センター（ITPD）の許可で、2011年から幼稚園の幹部、幼稚園教諭、教諭アシスタントらの能力向上研修、アドバイス支援、メンタル活動を行っています。2010年から幼稚園教諭アシスタント育成研修を、2021年3月まで実施しました。2021年6月からゴルワン・エルデネ教育大学の幼稚園教諭アシスタント育成研修を担当しています。</p> <p>国連児童基金「児童の総合的発達」プロジェクトの一環で、トレーナー向けハンドブック、両親向けアドバイスブック、シリーズ教育モジュールを作成し、バヤンホンゴル県、ウヌムゴビ県、ゴビアルタイ県、ザブハン県内の8つの郡、バヤンズルフ区第17ホローの両親、保護者と活動するトレーナーの育成、県のアドバイスチームの育成能力向上研修活動の管理をしました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICAとの協力状況 | なし |



40. モンゴル女性基金

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル女性基金 /Монголын эмэгтэйчүүдийн сан/ |
| 設立年 | 2000年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第6ホロー、バガトイロー48-305 |
| 電話番号 | 976-77119991 |
| E-mail | info@mones.org.mn |
| URL/Facebook | MongolianWomensFund |
| 代表者名 | B. アグニ |
| 活動内容 | <p>モンゴル女性基金は、女性たちの NGO や地方のグループに財政及び技術支援を通じた女子と女性の能力強化、社会改革を行うことを目的としている NGO です。この20年間、モンゴル女性基金は200万USD相当の全752の給付金を次の層に供与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェミニスト活動家、人権保護活動家、女子、女性自身が運営する団体、女性リーダーによる地方住民に依拠した団体 ・社会で差別を受けた、サービスが届かない女子と女性、その中でも特に貧しい若い母親たち ・ジェンダーに基づく暴力、中でも性的暴行に遭った女子 ・全国及び地方レベルにおける女性リーダー ・女性実業家、小規模ビジネス実業家 ・自然環境の不正な状況、気候変動、鉱山事業の悪影響を受けた地方の女性、地方住民 <p>具体的には、貧困層や地方の遠隔地に住む女子、女性が収入を得られる活動に財政的直接援助、ジェンダーに基づく暴力被害者保護施設の活動経費を融資し、鉱山事業の悪影響を受けた地方住民の権利保護戦略的弁護を行い、女性リーダーの市民社会団体及び地方住民団体の能力強化、職場におけるハラスメント、中でもセクハラを予防する政策提言を行い、全国及び地域レベルで法律作成者、政策作成者と活動する等の活動に支援してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | The Global Fund for Women、MamaCashは、モンゴル女性基金設立時から手を差し伸べた初の機関で、2001年に57,000USDの支援を供与しました。政府の融資団体、女性基金、国連及びEUなどの国際機関の信託基金、国内企業から資金調達し財源を拡大しています。 |
| JICAとの協力状況 | なし |



41. Social Partnership Network

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Social Partnership Network /Нийгмийн түншлэлийн сүлжээ ТББ/ |
| 設立年 | 2004 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 4 ホロー、バガトイロー18/1-10 |
| 電話番号 | 976-11329888, 976-99192169, 976-99030762 |
| E-mail | nts2019rsc@gmail.com, tsevelmaaenkh TUYA@gmail.com |
| URL/Facebook | Social Partnership network/Нийгмийн Түншлэлийн Сүлжээ/ |
| 代表者名 | Ts. エンフトヤ |
| 活動内容 | <p>Social Partnership Network は、市民、団体、職員、地方団体のパートナーシップ、協力を発展させ、地方の社会、経済の持続的発展を支援する目的の NGO です。Social Partnership Network は、デンマーク・モンゴル協会が社会の貧困層の人々に社会福祉サービスを提供し、ソーシャルワーカー育成過程で誕生し、地方のソーシャルワーカーの協力、パートナーシップの成果として 2004 年に設立されました。約 2000 名のメンバー、地方の県、首都の地区に全 12 の支部があります。</p> <p>保護下のない子どもたちに学習の機会を与えて専門を身につけさせ、低収入世帯・住民をエンパワーメントし、貧困をなくすのに貢献し、地方の市民社会団体をエンパワーメントするプロジェクトを実施し、約 400 の貯蓄信用機関を設立しました。これに基づき約 200 の小規模ビジネス実業家の能力強化、特許権や許可所有企業、組合を設立しました。地方で Social Partnership Network 支部を強化し、人々に知られるようになりました。私たちはオランダ国際開発機関及び CISU から財政援助を得てきました。また、デンマーク・モンゴル協会と成功裏に協力してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | デンマークの NGO と長年協力しています。2000 年に保護下のない 10 名ほどの子どもが専門研修を受ける際に、日本の支援団体と協力しました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



42. モンゴル女性生活センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル女性生活センター /Монголын эмэгтэйчүүдийн амьдрал төв/ |
| 設立年 | 2005年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第8ホロー、バगतイロー1A、アマル通り 22a-302 |
| 電話番号 | 976-99818199 |
| E-mail | jambaladya500@gmail.com |
| URL/Facebook | Жамбал Адъяа |
| 代表者名 | J. アディヤ |
| 活動内容 | <p>私たちは母子家庭、低所得世帯、子どもが多い家庭、高齢者、障害者の女性たちを支援し、スポーツ、文化芸術活動への参加、セミナーや会合の開催、プログラム参加、同様の目的を持った団体や人々と協力し社会参加を高めるために、2005年に設立されました。</p> <p>シングルマザーにセミナーを開催し、資金グループを設立し、研修、会合などに参加してもらい経験共有をしています。牧民の女性たちに乳製品や手工芸品を作って販売すること、都市や地方の女性たちにスポーツ、登山、ダンス、絵画、写真などのコンテストや大会に参加してもらっています。</p> <p>調査対象になったシングルマザー、子どもたちにかばん、本、ノート、ボールペン、服などを配布して支援しました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | モンゴル女性基金、モンゴル女性 NGO ナショナルネットワーク、アドラ基金、人権開発センター、人権フォーラム、モンゴル女性協会、フブスグル県やバヤンホンゴル県の NGO などと協力しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



43. Lotus children center

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Lotus children center /Бадамлянхуа хүүхдийн төв/ |
| 設立年 | 1995年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第20ホロー、ガチョールト、バガアム2-32 |
| 電話番号 | 976-99789750, 976-99132100 |
| E-mail | info@lotuschild.org |
| URL/Facebook | Lotus children center mongolia |
| 代表者名 | B. ポロルマー |
| 活動概要 | 1996年以降、児童養護分野で活動を行っているNGOです。現在、2~18歳の69人の子どもたちが生活しています。寄付や支援で運営しています。 |
| 日本・各国との協力状況 | オランダ、オーストラリア、イギリスから継続的に支援している個人の方々がいます。 |
| JICAとの協力状況 | なし |



44. よい未来のために

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | よい未来のために /Сайн ирээдүйн төлөө/ |
| 設立年 | 2008 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 5 ホロー、モネル 26 通り 576 |
| 電話番号 | 976-91641006, 976-99778695, 976-96644284 |
| E-mail | Oyunaa1957@gmail.com, Ssuk358@gmail.com |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | J. オユンビレグ |
| 活動内容 | <p>子ども発達センターに 2~7 歳の 25 人の母子家庭の子どもたち、貧困層の子どもたちが通っています。</p> <p>シングルマザー支援サービスは、若いシングルマザーに無料で住まいを提供し、就職先を紹介し、自立して生活するチャンスに導いています。</p> <p>面倒を見る人がいない子どもたち、両親がアルコール依存症の子どもたち、生活水準が低い家庭の子どもたちにデイケアサービスを提供しています。子どもたちはデイケアに来て温かい料理を食べ、宿題をし、お風呂に入り、快適な環境にいる、という社会サービスを受けることができます。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |



45. モンゴル子どもの権利ナショナルセンター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル子どもの権利ナショナルセンター /Монголын хүүхдийн эрхийн үндэсний төв/ |
| 設立年 | 1997年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区チンギス通りモンゴル子ども宮殿内 |
| 電話番号 | 976-11328926, 976-99010297 |
| E-mail | tzeveen@yahoo.com, mnccr01@gmail.com |
| URL/Facebook | Монголын Хүүхдийн Эрхийн Үндэсний Төв/MNCCR |
| 代表者名 | P. ツェヴェーン |
| 活動内容 | <p>私たちは子どもの権利、暴力の予防、保護、更生の分野において政策提言し、政策立案者による政策の策定と実施に影響を与え、実施を監視し、権利が侵害された子どもたちを保護するためのサービスを提供しています。</p> <p>子どもの権利保護法、法的環境を整えるために、行政機関と協力し、子どもの権利法及び子ども保護法、子どもの発達保護国家プログラムを作成し、批准するのに行政及びNGOと協力しています。</p> <p>子どもの権利を守り、保護下でない子どもたちが家族に戻れるようにするサービスをつくることで子どもの社会適合を図るために、1997～2010年の間に1,014の家族を援助し、サービスを提供し、3つの世帯に住居を与える支援活動を行ってきました。</p> <p>児童養護施設が順守するスタンダードの作成作業が承認されたことで、児童養護施設で生活している800人近くの子どものスタンダードに従いサービスを提供する環境を整える活動に参加しました。</p> <p>競馬騎手の子どもたちの冬季競馬大会を停止させる決定に提言したことで、首都の民事控訴裁判所が子どもの冬季競馬大会は違法であると判決を下し、1万4000人の騎手の子どもたちの権利を保護しました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本のVIVA-28、21century (2001年) ・日本のエコロジー基金 (2002～2004年) ・日本国外務省草の根・人間の安全保障無償資金協力で1,070の机と椅子が供与され、ウランバートルと地方の義務教育学校、幼稚園、寄宿舎、学習センターなど15の機関に配布しました (2005年) |
| JICAとの協力状況 | なし |



46. Mongolian Gender Equity Center

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Mongolian Gender Equity Center /Хүйсийн тэгш эрх төв НҮТББ/ |
| 設立年 | 2002 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 5 ホロー、ビクトリーセンター404 |
| 電話番号 | 976-11311512 |
| E-mail | gendereqcen@magicnet.mn, mongoliangenderequalitycenter@gmail.com |
| URL/Facebook | Mongolian Gender Equality Center/ Хүйсийн тэгш эрхийн төв |
| 代表者名 | G. ガンバヤスガフ |
| 活動内容 | <p>Mongolian Gender Equity Center は、ジェンダーに基づく暴力防止のために、多面的な活動を行う、地域に根ざした NGO です。当センターは被害者保護、予防、アドボカシーの 3 つのプログラムを実施しています。2002 年 1 月 4 日の設立時から性暴力被害者支援活動を、2003 年からは家庭内暴力の被害者支援、2007 年からは安全な帰国支援、初期の支援・援助、社会復帰、リハビリテーション、そして 2006 年からは人身売買防止のための 24 時間ヘルプライン 1903 を提供しています。</p> <p>これまで延べ 2,000 名が支援を受けており、そのうち 742 名（2019 年 3 月 31 日時点）は人身売買の被害者、189 名は強姦・性暴力の被害を受けた子どもでした。被害者の 73%は女性、11%は子ども、70%は性的搾取の被害者、25.8%は労働搾取の被害者であり、2 人に 1 人は中国へ、4 人に 1 人は国内で人身売買された人たちでした。</p> <p>9 カ国から 286 名の被害者が帰国し、8 名の外国人被害者の帰国支援も行いました。当センターはウランバートルに 6 床、ザミン・ウッドに 3 床のシェルターを所有しており、1 日から 3 ヶ月間、受け入れが可能です。2007 年以降、ウランバートルの仮設シェルターには 361 名、ザミン・ウッドには 164 名の被害者が保護され、1 人あたり平均 30 日間の滞在でした。警察には 232 件、424 名の被害者の通報があり、47 件、129 名の被害者が裁判により解決しました。</p> <p>当センターはヘルプラインへの 9,642 件の電話に対応し、情報と助言を提供し、約 2,000 名の暴力および人身売買の被害者に保護サービスを提供し、100 名以上の被害者が関与する約 40 件の事件を解決に導きました。2002 年以降、センターは法執行機関、NGO、専門家グループから約 25 万名の参加者を対象に、約 200 の研修コースを開催してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |

47. World Vision Mongolia

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | World Vision Mongolia /Дэлхийн зөн Монгол ОУБ/ |
| 設立年 | 1995 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 15 ホロー、平和大通り、ソマン・プラザ 4 階 15160、私書箱 705 |
| 電話番号 | 976-70155323 |
| E-mail | mongolia@wvi.org |
| URL/Facebook | www.worldvision.mn, https://www.facebook.com/WorldVisionInternationalMongolia |
| 代表者名 | B. ボロルツェツェグ |
| 活動内容 | <p>子どもたちの幸せのために活動している World Vision Mongolia は、2021 年にモンゴル国内の 19 県とウランバートル市の 6 区において、17 の地域開発プログラムと 12 の特別プロジェクトを実施しました。これらのプロジェクトやプログラムは、270 名以上のスタッフ、地域住民、ボランティア、政府および非政府機関のパートナーとの協力によって実施され、その結果、259,000 人の子どもと 200,000 人以上の成人が直接的な裨益を受けました。</p> <p>貧困家庭の生計向上プログラム；このプログラムは貧困家庭の生計向上を目的とし、世帯収入、就労、小規模ビジネスを支援し、災害リスクを乗り越えるための能力強化を目指しています。2021 年には 53,027 名の女子と 50,871 名の男子、そして 208 の貯蓄グループを通じて 5,563 名がプログラムの恩恵を受けました。</p> <p>子どもの参加、保護支援プログラム；子ども、家族、地域を能力強化し、児童保護のメカニズムを改善することで、子どもたちを暴力から守ります。市民の能力を向上させ、地域開発活動への参加を促すことを目的としています。また、子どもたちのために国レベルでの政府、NGO、民間セクター、および市民のパートナーシップを改善することを目指しています。</p> <p>グラント・プロジェクト；助成金による 8 つのプロジェクトが実施されました。うち 2 つは子ども保護サービスの強化、6 つは家庭の生活状況の改善に焦点を当てています。協力している市民社会団体は 127 団体で、プロジェクトが実施されている郡や区は 28 に上ります。2021 年には 13,790 名の成人、8,633 名の女子、10,551 名の男子が助成金プロジェクトに参加し、恩恵を受けました。2021 年には、1,553 名のモンゴル人支援者が 1,949 名の子どもたちの生活に喜びをもたらしました。</p> <p>FRUGA プロジェクト；このプロジェクトでは、洪水対策施設の設計・建設において、首都行政およびその管轄下にある部署や区と緊密に連携しています。洪水対策インフラの建設計画に含まれる世帯とグループを通じて協議を行うことでプロセスが円滑になり、彼らの反対を軽減することができます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策：新型コロナウイルス対策として、合計 130 万 USD が衛生キット 2,549 個、医療従事者用保護具 511 個、医療機関用キット 1,040 個、医療機器 174 個、テレビ・ラジオでのアドバイス 398,288 名、現金支援 827,558USD、子どもの教育支援 14,672 名に充てられました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | World Vision Japan 支援事業 |
| JICA との協力状況 | なし |



48. Princess center

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Princess center /Охид, залуу эмэгтэйчүүдийн эрхийг хамгаалах “ГҮНЖ” төв/ |
| 設立年 | 2003 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第9ホロー、イフトイロー-70、フデルムンフ・オフィス 503 号 |
| 電話番号 | 976-70105105, 976-96110110 |
| E-mail | Info.princesscenter@gmail.com |
| URL/Facebook | www.facebook.com/princesscenter |
| 代表者名 | E. エルデネツェツェグ |
| 活動内容 | <p>私たちは「女子に優しい社会の発展に貢献する」という長期目標を掲げ、ソーシャルワークサービスを提供することで、権利を侵害された女子や女性のエンパワメントを図り、彼女たちの権利を侵害する問題への社会の認識を高め、女子や女性に優しい社会をつくるために、政策提言を行っています。</p> <p>当センターは、未成年で出産した女子の権利問題に取り組む唯一の団体で、これまでに約 900 名の若い母親と 120 名以上の性的暴力被害に遭った女子に、専門的で継続的な支援を提供し、彼女たちの権利の保護に取り組んできました。</p> <p>人権に関する知識を持つフェミニストの「女子の権利クラブ」、10代の母親たちの「若い母親クラブ」、ジェンダーに基づく暴力防止目的の「ストロング・ボーイズクラブ」の活動を行い、参加者たちの積極的な参加を通して、女子、女性の権利を侵害する社会問題に対する理解と知識を高める、多岐にわたる活動を継続的に行っています。</p> <p>さらに、若い母親の社会活動、自発性、参加を促し、リーダーとして育成することを目的とした「若い母親リーダーシップ・プログラム」を2012年から毎年継続的に実施しています。性的暴力、家庭内暴力、望まない妊娠といった女子や女性の権利を侵害する問題について、芸術を通じて社会に知らせ、理解を与え、社会に恐怖心を植え付けることなくこれらの問題に関心を集め、参加を高めるための全国的なキャンペーン活動を行っています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 台湾の Garden of Hope 基金と 2010 年以降、アジアの女子の権利ネットワーク構築のために協力しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



49. Good Neighbors Mongolia

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Good Neighbors Mongolia /Гүүд Нэйборс ОУТББ-ын Монгол дахь Төлөөлөгчийн Газар/ |
| 設立年 | 2006 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第1ホロー、東京ストリート、ニソラタワー501 |
| 電話番号 | 976-70144122 |
| E-mail | gnmongolia@goodneighbors.org.mn |
| URL/Facebook | https://goodneighbors.org.mn/ https://www.facebook.com/GoodNeighborsMongolia |
| 代表者名 | ジョ・スン・ヒョン |
| 活動内容 | <p>Good Neighbors 国際 NGO は 1991 年に韓国で設立された、国連の協議資格を持つ国際人道開発団体で、世界 48 か国の支部を通じて社会にポジティブな変化をもたらすことに貢献しています。</p> <p>モンゴル支部は 2006 年に設立され、ウランバートル市内の 6 区及びダルハンオール県にて、子ども支援に基づいた地域開発を支援する子どもの権利保護、教育、保健医療、飲料水と衛生、生計向上、環境保護、ネットワークと協力のプログラムを継続的に実施しています。</p> <p>主なプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援プログラム；ケースマネジメント、年間成長発達レポート、心理カウンセリング、子ども保護リスクアセスメント、緊急支援、専門家能力強化研修、心理カウンセリングサービス提供環境整備、子ども保護に関する調査研究 ・教育プログラム；子ども発達センターのコース・活動・復習・図書館サービスの向上、学用品支援、授業料支援、就学準備、ライフスキル教育、保護者教育プログラム、学習環境改善支援、教師研修、世界青少年ネットワークプログラム、教育に関する調査研究 ・保健医療プログラム；登録されている子どもたちに毎年健康診断・アドバイス・治療、思春期世代向けリプロダクティブヘルス教育、幼児の口腔衛生プログラム、栄養改善プログラム、防災教育、健康調査研究、医療アクセス改善支援 ・飲料水・衛生プログラム；飲料水・衛生に関する教育と啓発、家庭用トイレの回収支援、給水施設の改修・整備、家庭用手洗い設備支援、家庭用飲料水タンク支援、ヘルスボランティア育成、水・衛生に関する調査研究 ・生計向上プログラム；地域住民による協同組合の設立・運営支援、職業訓練プログラム、就労斡旋、家計・小規模ビジネスに関する調査研究 ・ネットワーク協働プログラム；地域開発協議会活動、保護者・学生ボランティアグループの育成、専門ボランティアの派遣、行政・NGO・住民・企業との連携 ・アドボカシープログラム；子どもの権利に関する教育と啓発、子ども保護に関するアドボカシー活動、関連分野の政策提言と調査研究 ・環境保護プログラム；エコクラブ活動、植樹活動、廃棄物管理に関する活動、市民への意識啓発活動 |
| 日本・各国との協力状況 | Good Neighbors 国際 NGO は世界 48 か国に支部を有し、これらの国々と協力し活動を展開しています。モンゴル支部もこの国際ネットワークを通じて韓国、カナダ、タイ、台湾、ベトナムなどと連携を拡大しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |

50. People in Need Mongolia

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | People in Need Mongolia /ПИПН ИН НИЙД(ПИН) ОУ-ЫН ТББ/ |
| 設立年 | 2009 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第1ホロー、チンギス通り 8-1 |
| 電話番号 | 976-70111501 |
| E-mail | info.mongolia@peopleinneed.net |
| URL/Facebook | People in Need - PIN Mongolia |
| 代表者名 | B. ムンゲンヒシグ |
| 活動内容 | <p>People in Need は 2009 年以降、モンゴルで活動を行っている世界 30 か国近くに支部がある NGO です。モンゴルで実施しているプロジェクトは地方住民のエンパワーメント、人権を尊重する社会の構築、変革と機会均等の促進です。災害や緊急事態に緊急支援を行うほか、組合や市民社会団体、地方行政の能力強化、住民の持続的な生活支援、高等教育の改善、自然環境保護、環境汚染の悪影響低減の目的でプロジェクトを実施しています。</p> <p>現在、People in Need は開発及び人道活動を行っているモンゴルの市民社会団体の能力強化を目的として、「Civil Society Now」プロジェクトを実施しています。</p> <p>また、大気汚染、気候変動対策の新しいソリューションとなるモンゴルの伝統的な住居ゲルの「断熱、暖房、換気のチップパッケージ普及」プロジェクトをユニセフ及びその他の開発機関の融資で共同実施しています。ウランバートル市だけでなく、全国的に都市部のゲル地区で大気汚染が増加していることに関連し、チップパッケージは6つの県とウランバートル市の2つの区の約 2000 世帯の暖房エネルギーを節約し、空気の質、健康、安全を改善するほか、燃料費の節約にもなります。</p> <p>「グリーン経済移行」プロジェクトは EU の Switch Asia プログラムの 1 部で、温室効果ガスが少なく資源効率の高い循環型経済を促進する目的で、ウランバートル市、エルデネット市、セレンゲ県で食品、飲料水分野の 1 万の中小企業、750 の小売業者及び 30 のビジネス協会に合った支援と技術援助を行い、市場に基づいたエコラベルシステムを開発し、消費者の傾向を変え、グリーンファイナンスと連携することで、循環型経済への移行を支援することを目指しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | People in Need 人道支援開発局は、ヨーロッパ、アジア、アフリカの約 20 か国で活動を行っている、私たちの団体の最大の支部です。これらの国々で行っている 200 近くのプロジェクトにより毎年 250 万人を支援しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



51. エフ・ノタグ開発センター

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | エフ・ノタグ開発センター /Эх Нутаг Хөгжил төв ТББ/ |
| 設立年 | 2005 年 |
| 住所 | ウブルハンガイ県アルワイヘル郡第 5 バグ |
| 電話番号 | 976-94994996, 976-91919734, 976-99329347 |
| E-mail | Togool257@gmail.com, ekhnutag@yahoo.com |
| URL/Facebook | Эх Нутаг Хөгжил төв ТББ |
| 代表者名 | L. トウムルトゴー |
| 活動内容 | <p>NGO の目的は NGO の活動にモニタリング、啓発を行い、ビジネス開発を支援し、地方における失業と貧困を減らす、女性と子どもの権利を保護することです。これまでに 30 近くのプロジェクト、調査、モニタリング活動を行ってきました。実施した主なプロジェクトは下記のとおりです。</p> <p>2006～2007 年「中小企業経営者能力強化プロジェクト (MercyKorps Mongolia)」</p> <p>2008 年「ウブルハンガイ県サント郡第 11 番学校に英語とコンピューターの教室設置、青少年の英語学習・習慣改善プロジェクト (MercyKorps Mongolia)」</p> <p>2009 年「健康な食事と活発な運動の促進保健プロジェクト (ウブルハンガイ県保健局)」</p> <p>2008～2012 年「地方におけるビジネスサービス支援、実業家能力強化プロジェクト (MercyKorps Mongolia)」</p> <p>2010 年「幼稚園における園児送迎サービス調査、モニタリング、啓発 (MercyKorps Mongolia)」</p> <p>2010 年「社会福祉サービス受給者の平等な権利保護調査、啓発 (MercyKorps Mongolia)」</p> <p>2010 年「若い実業家能力強化プロジェクト (MercyKorps Mongolia)」</p> <p>2016～2019 年「良いガバナンス、ビジネス開発支援プロジェクト (EU、People in Need)」</p> <p>2019 年「ウブルハンガイ県ジェンダーサブプログラム作成プロジェクト (労働社会保障省)」</p> <p>2021～2023 年「モンゴルにおける社会的責任の強化プロジェクト (World Bank、World Vision)」</p> <p>2022～2023 年「女性の参加と変化をリードする、気候変動への適応のために農業従事者女性のエンパワーメントプロジェクト (モンゴル女性基金)」</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 上記プロジェクトで協力しました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



52. カリタス・モンゴル

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | カリタス・モンゴル /Каритас Монгол ТББ/ |
| 設立年 | 2010年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第7ホロー |
| 電話番号 | 976-98236765 |
| E-mail | caritasmn24@gmail.com |
| URL/Facebook | caritasmongolia |
| 代表者名 | サンドラ・ガラヤ |
| 活動内容 | カリタス・モンゴルは世界 160 か国で人道活動を行っているカリタス・インターナショナル国際機関のメンバーです。 私たちは持続可能な開発政策を支援し、貧困層の人々に宗教や民族に関係なくサービスを提供している団体です。 |
| 日本・各国との協力状況 | カリタス・モンゴルが実施した子ども・女性支援プロジェクトを、カリタス・ジャパンがスポンサー団体として支援してきました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



53. イトゲル・トゥグス・ヌムル基金 /マジックランド・ヘンティー/

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | イトゲル・トゥグス・ヌムル基金/マジックランド・ヘンティー/ /Итгэл төгс нөмөр сан ТББ/ |
| 設立年 | 2022年 |
| 住所 | ヘンティー県ヘルレン郡第3バグ、バヤンムンフ公園、Magicland Hentii 子ども保護・発達センター |
| 電話番号 | 976-77566996, 976-94741404, 976-88882610 |
| E-mail | Info.magicland05@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/profile.php?id=100039524708156 |
| 代表者名 | P. ヘルレン |
| 活動内容 | <p>イトゲル・トゥグス・ヌムル基金 NGO は、2022 年から子どもの権利保護、虐待防止、学習環境の改善といった分野で多岐に渡る活動を行ってきました。宗教や政治にとらわれずに、地域社会に奉仕する非政府組織です。健康で安全な社会のための政策に影響を与え、人権や虐待についての市民や社会の理解・知識を深めて、リスク回避の知識と理解を持たせるという長期ビジョンのもとにひとつになった、若者たちの集まりです。私たちは子どもの権利の保護、発達の機会を平等に・包括的に与えるために、2023 年に「マジックランド・ヘンティー」プロジェクトを開始し、18,000 人近くのモンゴル人と外国人、企業、団体、社会の支援によりヘンティー県ヘルレン郡にあるバヤンムンフ公園内に子ども保護・発達センターを建設しました。センターの建設作業は 8 ヶ月間にわたり実施され、2024 年 1 月から「ラントーン・ドヒオ NGO」の子ども発達プロジェクトに基づいた予防、自分と他者を守る知識と理解を広める初期段階の心理カウンセリング・アドバイス、サービスの提供、地域の子どもと若者に平等なチャンスとアクセスを創出する目的で、虐待防止と保護に基づいた発達プログラムを開始しました。</p> <p>プロジェクトの実施において；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な発達プロジェクトを実施することで、地域の子どもと若者の積極的な参加を促進し、社会性の発達を支援し、自分自身と他者を守るための知識と理解の向上に貢献する。 ・家庭内暴力のリスクが高いケースを早期に発見し、子どもたちの安全を確保し、心理的・社会的プログラムに参加させ、必要に応じて専門機関との連携を図り、地域にフィードバックシステムを構築する。 ・子どもの権利に関する意識を高め両親にポジティブな子育て方法を紹介する。 <p>児童発達保護センターを通じて、子どもたちが社会関係への参加と教育の基盤を築き、チャンスとアクセスにより近づけるための多面的なプログラムが、2024 年 1 月から継続的に実施されています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | World Vision の地域開発プログラムに協力しました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



54. 輝く世界 /マジックランド・ドンドゴビ/

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 輝く世界 /マジックランド・ドンドゴビ/ /Гэрэлтдэг ертөнц/ |
| 設立年 | 2022 年 |
| 住所 | ドンドゴビ県マンダルゴビ市 |
| 電話番号 | 976-80003934 |
| E-mail | urnaau463@gmail.com |
| URL/Facebook | Гэрэлтдэг ертөнц |
| 代表者名 | N. オランサイハン |
| 活動内容 | <p>私たちは約 1,200 名の活動家、約 150 名のボランティア、約 15,000 名の支援者とひとつになって、社会参加支援に基づく活動を行っています。30,000 名近くの市民、保護者、若者、子どもたちに啓発活動を行い、情報を届けています。「マジックランド・ドンドゴビ」子ども発達保護センター、就労支援、自己啓発研修の 3 つの分野で活動しています。</p> <p>第 1 四半期に 5 名の常勤講師と 4 名の非常勤講師により、10 回の研修と 4 つのプログラムを実施しました。基礎研修・プログラムに参加するすべての子どもとその保護者がポジティブな子育ての方法や「マジックランド」プログラムの内規・原則を理解し、研修に参加する資格を確認します。また、子ども一人ひとりについて保護者と三者契約を締結します。基礎研修には合計 521 名の子どもが参加し、4 種類の短期プログラムには合計 303 名の子どもが参加しました。また、その他の活動やイベントには毎日合計 3,851 名の子どもが参加し、合計 4,675 名の子どもに発達に基づく保護サービスを提供しました。</p> <p>マジックランドの支援者が寄付した牛乳は、「マジック・ミルク」という名前で子どもたちに届けられ、図書館を利用する生徒たちが読んだ本について語り、バリスタのスタッフにチェスで勝てばご褒美として牛乳がもらえる仕組みです。</p> <p>子どもの発達のためのプログラムも実施しています。心の教育プログラム、就学前教育プログラム、学業向上プログラム、専門選択プログラム、科学教育プログラム、男の子向けプログラム、ライフスキル・プログラムなど、様々な子どもの発達プログラムが実施されています。</p> <p>ボランティアの募集を年に 2 回行い、成功裏に活動した 12 年生の生徒たちはボランティア時間を記録して、奨学金を受ける資格を得ます。1 回の募集で 60~70 名を受け入れ、5 つのチームに分かれて教師の指導の下、協力して活動を行います。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2023 年、World Vision との協力による「MASAM2」プロジェクト ・ World Vision がドンドゴビ県で実施した MASAM2 プロジェクトにおいて、市民、市民社会団体、家庭保健センター、行政機関の共同参加により、「プライマリヘルスケアのためのオンラインプラットフォーム」を 6 ヶ月間実施しました。 ・ 「HAPPY MOM 2023」プログラムで、12 名の若い母親が選抜され、彼女たちのエンパワーメント、成長、より幸せな生活のための自己啓発およびエンパワーメント研修を実施しました。 ・ 「CHIP」プロジェクトでチェスの研修が実施されており、プロジェクトに関する情報が保護者と市民に提供されています。 |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「生活困窮者のための就労を中心とした自立支援システム強化プロジェクト」 |



55. Erdenet Mothers Empowerment Association

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Erdenet Mothers Empowerment Association /“Эрдэнэтийн ээжүүдийг чадавхижуулах холбоо” ГҮТББ/ |
| 設立年 | 2019年 |
| 住所 | オルホン県バヤンウンドゥル郡、ソゴート・バグ 6-6 |
| 電話番号 | 976-99789494 |
| E-mail | byambasurenbayarjargal7@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/byambasuren.bayrjargal |
| 代表者名 | B. バヤルジャルガル |
| 活動内容 | <p>私たちはハンドメイド作品作成者たちを集めて、家で育児をしている母親、就労していない女性たち、思春期世代の若者、障害がある人々、高齢者を対象に多岐に渡る活動を行っているボランティア団体です。2019年以降、継続的に活動しています。</p> <p>私たちはハンドメイド作品作成者たちを、ハンドメイド作品販売の販路と結びつけ、展示販売会への参加を仲介し、国内外の展示販売会に参加する、知的財産権に登録するのを支援しています。これらの成果として、女性たちが自分に自信を持ち、社会参加し、誰かに幸せをもたらしたいという心から作った作品を通して、人々に喜びと幸せを贈っていることが本人たちのやる気とモチベーションになっていることが、一番大きい成果と言えます。</p> <p>モンゴルの女性たちは物事を継続的に、何事も心から取り組みます。そのため私たちは女性たちの能力強化をし、高いモチベーションを持って力強く生活するのを支援する多くのプログラムを、地域で提案し実施しています。今年は障害がある若者たちとその両親、車椅子利用者にハンドメイド研修を行いました。これにより自宅で仕事をし、趣味を趣味以上のレベルにして、作った作品を販売することで、世帯収入につなげることを支援しました。</p> <p>私たちが目指しているもうひとつの目標は、地方ブランド製品です。地方ブランド製品をつくり、宣伝し、女性たちのリーダーシップ、モデルケースを社会に示す目的で、エルデネット市のシンボルである獅子を編みぐるみで作成し、県、地方で宣伝しているのは喜ばしいことです。</p> <p>私たちは2019年に日本で開催された国際ハンドメイド作品作成者の大会に参加しました。文化遺産を世界に紹介して宣伝する希望がある私たちのメンバーは、母国のジェンダー平等、女性の社会参加推進のために、多くの活動を提案・実施することを目指しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICAとの協力状況 | なし |



56. Desert Rose NGO

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Desert Rose NGO /“Цөлийн Сарнай” Сан ТББ / |
| 設立年 | 2007年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第28ホロー |
| 電話番号 | 976-99151498 |
| E-mail | rose.mongolia@yahoo.com |
| URL/Facebook | Rosemongolia |
| 代表者名 | Ts.アマルジャルガル |
| 活動内容 | <p>当団体は社会向けに活動する非営利・非政府組織で、企業や一般家庭、NGO、クラブによる寄付や支援によって支えられ、専門チームによって運営されている団体です。思春期世代の女子及び若い女性たちの権利を保護し、社会的・心理的アドバイスをし、ソーシャルワークサービスを提供することで、彼女たちをエンパワーメントし、思春期世代の潜在的な問題を予防する目的で、短期・長期で保護し、ケアサービスを提供しています。</p> <p>ビジョン：健康な体、健康な心、健康な国民 目標：子どもたちに安全な家庭環境を提供し、健全に育てることで、自立した社会の一員になれるように育成する モットー：すべての子どもに幸せを届けよう 支援の対象者：暴力の被害を受けた女子、保護下のない置き去りにされた女子、ホームレスや孤児の女子</p> <p>2007年11月から始まった私たちの活動は、女子の生活と家族の発達保護にソーシャルワーク及びカウンセリング、ケア、福祉サービスを現在まで継続的に提供してきました。当時、家庭内暴力やネグレクトによって置き去りにされていた女子たちは、今では成人し、結婚して子どもたちと幸せに暮らしているだけでなく、社会で活躍する人材となっています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Foundation Dufresne & Gauthier 「思春期世代の女子の保護」プロジェクト ・ World Share Korea より寄付 |
| JICA との協力状況 | なし |



57. ダルハンオール県女性協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | ダルハンオール県女性協会 /Дархан-уул аймаг эмэгтэйчүүдийн холбоо/ |
| 設立年 | 1962年 |
| 住所 | ダルハンオール県、ダルハン郡、第15番バグ |
| 電話番号 | 976-7735-8486, 976-99003897 |
| E-mail | darkhanwomenfederation@gmail.com |
| URL/Facebook | Дархан-Уул аймгийн Эмэгтэйчүүдийн холбоо |
| 代表者名 | Ts. ガンチメグ、P. オユンサイハン |
| 活動内容 | <p>ダルハンオール県女性協会は1962年に設立された、地元で最も古いNGOです。子どもと女性の権利の保護と発展を主な活動分野として、女性たちの社会、文化、経済への参加を促進し、男女平等を確保し、権利に関する理解と態度を向上させ、教育活動を通じて市民の参加、エンパワーメント、発展を促進するためのプロジェクト、プログラム、活動を提案し実施しています。</p> <p>1987年、ダルハン市女性評議会のM・エンフマンダフ議長の提案により、一般市民の寄付、支援、労働力により、モンゴル初で唯一の「女性宮殿」が設立されたのは、私たちの歴史に残るものとなりました。</p> <p>現在、宮殿においてプロジェクト、プログラム、活動を実施するとともに、「ダルハンの女性たち」研修センターを通じて、職業および自己啓発のための研修コースを定期的に開催し、子ども、若者、成人のスキルを向上させ、経済力を高める機会を提供しています。またダルハンの画家、職人、アーティストと協力して県内初の「アートギャラリー」を設立し、芸術教育の普及に取り組んでいます。</p> <p>私たちは地方行政や他の組織と協力して、子どもと女性の権利に関する取り残されている問題に取り組み、意思決定レベルに彼女たちの声を届け、地方の政策に影響を与えて変化を起こし、県の社会発展に貢献しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>私たちは対外協力を拡大させ、国際機関と連携強化して活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニセフ「ゲル地区に住んでいる母親たちのサイバーセキュリティ意識向上」プロジェクト ・在モンゴルカナダ大使館、カナダコミュニティ・イニシアティブ財団「若い母親のエンパワーメント」プロジェクト ・在モンゴルアメリカ大使館「女性起業家支援」プロジェクト、AWE「女性起業家アカデミー」プロジェクト ・USAID「BEST」プログラム ・トルコ国際協力機構（TIKA）「村のポーズとパンシエ房設立」プロジェクト ・World Vision Mongolia「心の教育」プロジェクト ・Good Neighbors Mongolia「Good Soup」プロジェクト、「裁縫教室用機材」プロジェクト |
| JICAとの協力状況 | 2026年～JICA協力隊員（コミュニティ開発）が配属され、活動予定。 |



ЭМЭГТЭЙЧҮҮДИЙН ОРДОН



“ЖАРГАЛТАЙ ЭЭЖ” үйл ажиллагаа
2023.11.05



“Бизнес эрхлэгч эмэгтэйчүүдийн академи AWE” төсөл
АНУ-ын Төрийн департаментийн Соёлын зохицуулагч
Лиса Венбрукс төслийн явцтай танилцах үеэр
2024.11.20



Жил бүр уламжлал болгон зохион байгуулдаг
“Малчин эмэгтэйчүүдийн зөвлөгөөн”
2024 он



Дарханы бүсгүйчүүд сургалтын төв
Оёдлын сургалт



Дархан-Уул аймгийн Эмэгтэйчүүдийн холбооны
Уран зургийн галлери



D-ART уран зургийн дугуйлангийн сурагчид
2025 он



НҮБ-ын Хүүхдийн сантай хамтран хэрэгжүүлж буй
“Гэр хороололд амьдарч буй ээжүүдийн цахим аюулгүй
байдлын мэдлэгийг дээшлүүлэх” төслийн хүрээнд бэлтгэгдсэн
ОНЦМА нар (Олон Нийтийн Цахим Мэдээллийн Ажилтан)
2025 он

58. Mongolian Association of Lesson Study

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Mongolian Association of Lesson Study /Монголын хичээлийн судалгааны нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 2013 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、教師開発宮殿 |
| 電話番号 | 976-94490108, 976-99231521 |
| E-mail | mals.mongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | Web:mals.mn, FB: Монголын хичээлийн судалгааны нийгэмлэг |
| 代表者名 | B. ヒシグバヤル、N. オユンツェツェグ |
| 活動内容 | <p>目的；モンゴルの教育における授業研究方法を研究・開発するために、子どもを発達させる新しい方法を提供し、全国規模で広め、教師の専門性の持続的な発達支援、学校マネジメント向上により、教育の質を改善することを目的にしています。</p> <p>活動；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業研究分野で研修を開催し、調査を行う。 ・ 子ども中心・参加に基づいた包括的でデジタル技術を活用した学習の新しい方法を試し、効果を話し合い、広める。 ・ 子どもの発達を支援する教師、保護者を対象にオンラインプラットフォーム、デジタルコンテンツを開発し、オープンサイトをつくる。 ・ 教員養成大学、義務教育学校との協力関係を広げることで授業研究、子どもの発達支援の新しい方法、技術を提供し、全国規模で広める。 ・ 授業研究方法の対面及びオンライン研修を開催し、モニタリングを行い、助言、広報活動、国内外の経験を研究する。 ・ 授業研究方法分野で高度に専門習得した専門家（エキスパート、顧問、トレーナーなど）を育成する。 ・ 授業研究方法を発展させるために、海外の授業研究協会と協力関係を拡大し、国際的な学術研究会議に参加し、会議を開催し、経験共有する。 ・ 授業研究方法のために、日本及びその他の国で研修に参加する。 ・ 学校が教師の専門向上事業を発展させ、学校マネジメントを改善する。 ・ 教育省管轄教師専門向上研究所と共同で、学術研究フォーラムを毎年開催する。 |
| 日本・各国との協力状況 | <p>日本の大学（東京学芸大学、埼玉大学、岡山大学）の教授らから助言をいただき、義務教育学校訪問・経験共有のために 2014 年以降、毎年（7 年間で約 100 名の教師、校長）日本で研修を行いました。WALS (World Association of Lesson Study) 主催の国際学術会議に 2015～2019 年に出席し、発表しました。</p> |
| JICA との協力状況 | <p>JICA、教育省と共同で実施した案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達を支援する教授法の支援（2006～2010 年） ・ 教授法啓発制度の強化（2010～2013 年） <p>2013 年 8 月 21 日にこれらの案件で活動した大学、義務教育学校、専門機関の代表が提案し、同協会を設立しました。JICA が実施した案件の持続性を確保し、モンゴルにおける授業研究を全国規模で広めるために、教育の質を改善する目的で設立しました。</p> <p>2020～2021 年に JICA からの依頼で「授業改善マネジメント」ビデオ作成作業を遂行しました。この作業の一環で、授業改善 PDCA モデルを作成し、オープンな情報源として利用し、授業で広めています。JICA 主催の専門性向上プログラムに 2015～2019 年に参加しました。</p> |



Зорилго: Япон багш нарын арга зүйгээс суралцах

Нийт оролцогч 16. Үүнээс:

- ❖ БМДИ-ийн арга зүйч- 10
- ❖ БСГ-ын дарга- 2
- ❖ БСГ-ын мэргэжилтэн- 1
- ❖ ЕБС-ийн захирал-1
- ❖ ЕБС-ийн багш- 2



New Tab x Хичээлийн судалгааны нийгэмлэг

← → ↻ mals.mn

Хайх утгаа оруулна уу...


МОНГОЛЫН ХИЧЭЭЛИЙН СУДАЛГААНЫ НИЙГЭМЛЭГ
 MONGOLIAN ASSOCIATION OF LESSON STUDY

НҮҮР | БИДНИЙ ТУХАЙ | СУРГАЛТ | ЭРДЭМ ШИНЖИЛГЭЭ | ЗӨВЛӨГӨӨ | СУДАЛГААТ ХИЧЭЭЛ | ГАДМАД ХАРИЛЦАА

“ХҮҮХДИЙН ХӨГЖЛИЙГ ДЭМЖСЭН БАГШЛАХ АРГА ЗҮЙ- 2015” СЭДЭВТ ЭРДЭМ ШИНЖИЛГЭЭНИЙ ГУРАВДУГААР БАГА ХУРАЛ АМЖИЛТТАЙ БОЛЖ ӨНГӨРЛӨӨ



59. Mongolian Education Alliance

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Mongolian Education Alliance /Боловсролын хамтын ажиллагааны нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 2004 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 1 ホロー、チングス通り 15/1 |
| 電話番号 | 976-11310663, 976-11318149, 976-11324285 |
| E-mail | info@mea.org.mn |
| URL/Facebook | www.mea.org.mn |
| 代表者名 | B. バトジャルガル |
| 活動内容 | <p>Mongolian Education Alliance は、2004 年 8 月に設立され、モンゴルの教育分野で継続的に活動を行っている NGO です。私たちの目的は、モンゴルの若者たちに包括的で平等な質の高い教育を行うために、効果的なパートナーシップを進展させ、政策提言し、教育機関、参加者側の能力を強化することです。この目的で学校と教師の発展を支援する「オープンな学校」プログラム、児童の発達を支援する「Step by Step」プログラム、思春期世代の若者たちの発達を支援する「青少年」プログラムを実施し、平等な価値に基づく学校と幼稚園の発展に貢献し、子ども中心でアクティブな方法を普及させ、青少年参加及び意見表明の権利を支持し、児童の発達に両親と社会のかかわりを増やし、質の調査とアセスメントを行い、全国的に活動しています。</p> <p>私たちは児童の成長、青少年の発達、学校教師の発達を支援する 3 つの基本的プログラム、平等な教育という分野で設立以来、モンゴルのすべての義務教育学校で活動してきました。次の分野で学校と幼稚園教育分野に支援を行い、協力しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学事前教育、初等中等教育の質、普及を高める。 ・平等性、社会における創造的参加を高める。学校マネジメントで学校の発展を支援する。 ・子ども中心でアクティブな新しい方法を普及させる。子どもと接する教師、保護者にアクティブで創造的な思考の学習方法を広める。 ・両親の教育、児童の発達における両親の参加、両親を通じた就学準備をする。 ・教師の専門的継続的な発達を支援する新しい方法を試し、広める。 ・子どもの参加と見解を表明する権利を支援し、課外活動を豊かにする。 ・教育の普及、質、権利の平等、一般的責任を強化させるのに直面している問題を調査で明らかにし、教育分野と社会に広める。 ・平等な教育、教育の質、教師の専門性向上、効果的ガバナンス、エビデンスに基づいた政策プロセスを奨励し、啓発活動を広める。 |
| 日本・各国との協力状況 | <p>加盟団体：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ International Step by Step Association (児童の発達、教育分野で活動しているユーラシア・アジアネットワーク) ・ Network of Education Policy Center (調査、政策提言活動をしている東・中央ヨーロッパ、中央アジア、モンゴルを含んだネットワーク) ・ International Consortium for RWCT (創造的な読み書き能力を発達させる) ・ Asia South Pacific Association for Basic and Adult Education (地域で学び教育する権利、質の高い教育、生涯教育、成人の教育のための活動を各国、地域、世界規模で行っている) ・ International Debate Education Association ・ Central Asia and Mongolia Initiative on Early Childhood Education and Development <p>・ 2010 年、2013 年に教育省、労働社会保障省及び学校、幼稚園の代表ら向けに日本の教育制度、幼稚園、学校視察スタディツアーを開催しました。</p> |
| JICA との協力状況 | <p>2006～2009 年に JICA が実施した「生徒の学習支援方法の開発」案件でニーズ調査、ベースライン調査、最終調査。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010～2012 年に実施した「モンゴルにおける教授法開発の啓発制度強化」案件の最終調査を行いました。 |

60. ハイル・エルデム・ビリグ

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | ハイル・エルデム・ビリグ /Хайр эрдэм билиг/ |
| 設立年 | 2020年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第17ホロー、76-28 |
| 電話番号 | 976-98225566, 976-99022211 |
| E-mail | hayir.erdem.bilge@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/Hayir-Erdem-Bilig-100765672068381/ |
| 代表者名 | Kh. エルジャン |
| 活動内容 | <p>私たちは下記の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 慈善・人道プロジェクトを通じて集まった資金で物質的及び財政的資源を創出し、援助・支援が必要な人々と団体に提供する。 ・ 国内外からの寄附・支援で農産物や家畜を準備、販売、供給するためのチャリティーフェアを開催する。 ・ 緊急事態その他の場合に貧困層及び障害者に物質的・財政的支援を行う。 ・ 大学及び義務教育学校で学んでいる社会的脆弱層の青少年に人道支援を行う。 ・ 国内外で活動を行っている同じ目的を持った法人と協力する。 |
| 日本・各国との協力状況 | トルコ、イギリス、オランダ、ドイツ |
| JICAとの協力状況 | なし |



61. 良い教育のために

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | 良い教育のために /Сайн боловсролын төлөө/ |
| 設立年 | 2015 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第 4 ホロー、第 2 地区 6-4 |
| 電話番号 | 976-99192023 |
| E-mail | For_better_education@yahoo.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/forbetteredu |
| 代表者名 | D. ノミンチメグ |
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生に専門・進路選択についてのアドバイス ・ 障害者の社会サービス改善 ・ 思春期世代の子どもたち向けアドバイス ・ 地方における青少年の平等な教育への支援 |
| 日本・各国との協力状況 | カナダ基金、アメリカ大使館など |
| JICA との協力状況 | なし |



62. 国民教育センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 国民教育センター /Иргэний боловсролын төв/ |
| 設立年 | 1992年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区 MN Tower15-1505 |
| 電話番号 | 976-99117383 |
| E-mail | narangerelrinchin37@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/cce.mongolia |
| 代表者名 | R. ナランゲレル |
| 活動内容 | <p>義務教育学校の教師、生徒、都市と地方の若者、住民、公務員に民主主義教育を広め、様々な研修、プロジェクトを実施しています。</p> <p>これまでに実施した活動；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年にエコロジー教育を通じて、自然環境保護の習慣を身に付ける活動 ・アメリカ・ロシア・モンゴルの自然保護職員の交流プログラム ・教師の専門性向上、教授法改善研修、セミナー開催、書籍、ハンドブック出版 ・地方自治体、市民代表会議の代表に、住民参加型地方開発ノウハウ紹介セミナー開催 ・国連人口基金と共同で「若者開発プログラム」をウランバートル市、11の県、3つの郡で実施 ・国連開発計画を通じて「道徳教育を通じて若者を発達させる」プロジェクト ・アメリカの国際開発庁の支援でLEADプログラム、国民プロジェクトを全国で実施 ・「皆は若者のために、若者は皆のために」プロジェクトをEUの支援でカリタス・チェコ・レパブリック、モンゴル若者連合と共同で実施 |
| 日本・各国との協力状況 | 日本のUI-ZENSEN労働者団体とセレンゲ県ユルー郡の住民民主主義エルチNGOとパートナー関係があり、毎年UI-ZENSENのボランティアを招いて活動してきました。アメリカの教師会、Center for Civic Education、Russell Sage College、ポーランドの民主主義のための教育基金、国際CIVITAS Internationalなどの団体と長年協力しています。 |
| JICAとの協力状況 | なし |



63. すべての人の教育のために

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | すべての人の教育のために /“Бүх нийт боловсролын төлөө!” Иргэний нийгмийн үндэсний эвсэл/ |
| 設立年 | 2010年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第1ホロー、Shurenビル3階 |
| 電話番号 | 976-70008292 |
| E-mail | info@all4education.mn |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/AFEMNG |
| 代表者名 | D. トンガラグ |
| 活動内容 | <p>教育の質と資金を監視し教育分野の責任制度を市民参加で改善する目的で、教育政策に提言して協力し、全国規模で活動を行うために、市民社会の多分野の代表連合を2010年9月3日に設立し、活動を行っています。</p> <p>人権団体、女性及び子どもの権利のNGO、障害者のNGO、青少年自身がリードする団体、労働者連合、性的マイノリティNGO、消費者権利保護NGO、教育問題で活動しているNGOなど市民社会の34の団体と活動しています。ウランバートル市の2つの区、6つの県に支部があり、全国規模の市民社会団体です。</p> <p>長期ビジョンは子どもも大人もすべての人に包括的で、人権、ジェンダー平等に基づいた価値、知識、能力を併せ持った総合的な能力を、如何なる差別も受けずに生活のすべてにおいて生涯有することができる、健康で安全な環境を整え、人道的・民主的ですべての人のオープンで責任ある市民参加の教育制度です。</p> <p>民族的・言語的・性的マイノリティ、女性、子ども、若者、高齢者、障害児・者、地方やゲル地区の住民など、社会や行政に声を上げ、政策決定に参加できない人々をエンパワーメントし、コミュニケーションや協力の機会を与えることで、彼らに直面している困難を取り除き、状況を変えることができるように能力強化し、教育政策、制度を改善することを目的にしています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ASPBAE（基礎及び成人の生涯教育協会） ・ GCE（Global Campaign for Education） |
| JICAとの協力状況 | なし |

64. Reader NGO

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Reader NGO /Уншигч хөтөлбөр НҮТББ / |
| 設立年 | 2021 年 |
| 住所 | ウランバートル市スパートル区アマル通り 2、ADMON Print 社内 |
| 電話番号 | 976-95014450, 976-99223375 |
| E-mail | info@readerngo.com |
| URL/Facebook | Reader NGO |
| 代表者名 | E. ツェンゲルサイハン |
| 活動内容 | <p>私たちの主な活動は「学校の図書館」プロジェクトで、現在このプロジェクトをウランバートル市の第 28 番学校で実施しています。プロジェクトの目的は、生徒の読書への興味を刺激し、読書の習慣を付けさせ、教職員が児童書を扱うことができるようにすることです。私たちはこのような試みをモデルとして、将来的に多くの学校でプロジェクトを実施することを目指しています。プロジェクトの基本的な活動は、次の 4 つです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙ベース及び電子で本を普及させる ・図書館の環境を改善する ・図書館のプログラムを改善する ・教職員にセミナーを行う <p>プロジェクトは 3 年間で、1 年目は小学校、2 年目は中学校、3 年目は高校の教師と生徒が対象です。現在のところ、小学校のすべてのクラスに持ち運びができる本棚、子どもの年齢の特徴にあった多くの種類の本を供与しています。また、生徒たちを活発化させる活動、作品作成キャンペーン（日記を書く、学校の地図を描く等）を学校と共催しています。プロジェクト顧問、外国のエキスパートが教員たちに定期的にセミナーを行っています。その他、本の選択、セミナー、研修に Monsudar 出版社と協力しています。今後、教員たちに児童書を創造的に活用することについて手引書を翻訳・出版し、研修をする準備をしています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | UNICEF が私たちの活動を支援し、小学校の活動における資金供与をしました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



65. Education Reform NGO

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Education Reform NGO /Боловсролын реформ хөдөлгөөн/ |
| 設立年 | 2019 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 2 ホロー、Meru Tower1402 |
| 電話番号 | 976-88884224 |
| E-mail | edureformngo@gmail.com |
| URL/Facebook | Боловсролын реформ хөдөлгөөн /https://www.facebook.com/psychologybasededucation/ |
| 代表者名 | U. Ганзориг |
| 活動内容 | <p>当 NGO は、モンゴルの教育の質の向上に取り組んでいる団体です。政治や政策への働きかけ、国民への正確な情報提供、そして保護者の教育改革への参加促進に積極的に取り組んでいます。5 万人以上の保護者が当 NGO のソーシャルメディアページをフォローしています。これまでに 5,000 人以上の保護者を対象に様々な会議、セミナー、オンライン会議を開催してきました。また国会議員、政策立案者、学者を交えた数多くの協議会も開催してきました。当 NGO の提言に基づき、教育に関する新法案に具体的な改革が盛り込まれつつあります。モンゴル人を国際競争力のある人材に育成するため、以下の 6 つの戦略に基づき、活動を展開します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 不健全な政治は教育分野全体を弱体化させ、不安定で非効率的、一貫性がなく機能不全なシステムを生み出しているため、教育分野を政治から守る戦略を優先して活動します。 2. 現在の教育は IQ を通じた科学的知識や技能の競い合いだけでなく、感情をコントロールし、適応力、リーダーシップ、チームワーク、問題解決能力、反省力、革新力、生涯にわたる学習能力、他者への敬意、誠実さ、粘り強さ、責任感を持ち、環境的に持続可能な開発に貢献する能力を備えた総合的な人間を育成することを目指しています。したがって価値観に基づき、学習者中心で心理学に基づいた教育を展開することが、改革の重要な中核です。 3. 教育改革の 3 つ目の戦略はデジタル教育です。誰もが質の高い教育を受けられる環境を整備し、テクノロジーを活用した学習方法を導入します。自動化、デジタル化、人工知能、IoT といった技術の進歩によって将来の雇用が劇的に変化することを踏まえ、デジタル時代に即した未来の労働力の育成を目指します。 4. 数字だけでなく、あらゆる数字を質に変える戦略が必要です。モンゴルのような人口の少ない国では、すべての子どもを育成し、国際的に競争力のある子どもにすることが目標です。 5. 教育改革の主力は教師です。教師の評判、技能、信頼性を高め、知識へと導いてくれる教師を母親のように尊敬するというモンゴルの伝統的な価値観を回復させ、教師教育と教師の職務を向上させます。 6. 教育改革は子どもと教師だけでなく、保護者や地域社会も支えることとなります。子どもの心理的成熟は、その後の幸福度や経済生産性に影響を与えることが証明されており、心理的成熟の最大 70%が 2 歳までに達成されるという研究結果もあるため、保護者の心構えはこの教育改革の重要な要素となります。 |
| 日本・各国との協力状況 | アジア開発銀行の資金で教育省の「公立義務教育学校の生徒の学習の遅れを取り戻す総合計画」作成ワーキングチームに参加しました。 |
| JICA との協力状況 | なし |

66. Teach for Mongolia

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Teach for Mongolia /Илгээлтийн Багш Холбоо НҮТББ/ |
| 設立年 | 2022 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、City Tower1501 |
| 電話番号 | 976-88027616, 976-99927235 |
| E-mail | contact@teachformongolia.mn, gantushig@teachformongolia.mn |
| URL/Facebook | www.teachformongolia.mn https://www.facebook.com/TeachforMongoliaTFM/ |
| 代表者名 | G. ガントウシグ |
| 活動内容 | <p>Teach for Mongolia はモンゴルにおける教育の不平等を是正し、すべての子どもに望む未来を創造する機会を与える仕組みを構築するリーダー支援を目的に、2022 年に設立されました。世界 62 か国に拠点を持つ国際ネットワーク「Teach for All」の正式加盟団体です。</p> <p>私たちは社会にポジティブな変化を起こしたいという強い意志を持ち、変化に適應でき、自ら挑戦し能力を伸ばしたいと考える国内外の優秀な大学生および大学院卒業生、若手リーダーを選抜し、2 年間、教員不足の地方の義務教育学校へ正規教員として派遣しています。</p> <p>第一期生（202～2024 年）に 120 名以上の応募者の中から 16 名を選抜し、8 県 9 つの郡の学校に 2 年間派遣しました。Teach for Mongolia は主に地方、とりわけ遠隔地域の子どもたちに学びの機会を提供するために活動しています。</p> <p>私たちは全ての子どもたちが望む未来を切り開く大きなポテンシャルを秘めていると信じており、子どもたちが批判的思考、問題解決能力、共感力、心身の健康、成長力を育むことを目標としています。</p> <p>現在までに 8 県 9 郡で活動し、約 3,200 名以上の子どもたちに直接的な影響を与えています。また、毎年の募集を通じて、モンゴルの教育分野に長期的かつ広範な貢献を果たすことを目指しています。活動にあたり、教育省、教育総合庁、モンゴル国立教育大学、その他関連する官民組織と緊密に協力しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | Teach for Mongolia は世界 60 か国以上に広がる「Teach For All」ネットワークの正式メンバーであり、加盟国組織との経験交流や協働を継続的に行っています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



67. モンゴル文化遺産・文化・児童発達センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル文化遺産・文化・児童発達センター /Монгол өв соёл, хүүхэд хөгжлийн төв/ |
| 設立年 | 2023 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 23 ホロー、B3 通り 731A、オリヤスタイ終点バス停より 1 km |
| 電話番号 | 976-91019983, 976-94009921, 976-91009921 |
| E-mail | losollaagan@gmail.com, rodbileg@gmail.com |
| URL/Facebook | Mongol Soyol |
| 代表者名 | R. オドビレグ |
| 活動内容 | <p>「ロソリン・ラーガン児童発達」NGO は、モンゴル人民共和国下院常任委員会元議長 L・ラーガンの名を冠した NGO で、ウランバートル市バヤンズルフ地区第 23 ホローに「モンゴル文化遺産・文化・児童発達センター」を設立しました。</p> <p>同センターは、モンゴルの遺産、慣習、伝統的な遊牧生活を子どもや若者、外国人に普及・啓発し、直接体験してもらうことで、自らの遺産を知り、慣習と年長者を敬い、祖国を愛し、国家に誇りを持ち、慈悲深く、親切で、謙虚なモンゴル人を育成し、研修を実施し、モンゴルの遊牧生活を実践的に伝える活動を行っています。</p> <p>当センターの 4 つのゲル（尊敬の間ゲル、遊牧民の暮らしを伝えるゲル、モンゴルの祭り紹介ゲル、休憩用ゲル）を訪れ、火起こし、糸紡ぎ、大麦の製粉、ロープ作り、薪割り、皮革織り、牛糞集め、羊毛を紡ぐ、ブレスレット織り、馬を捕まえる竿、先祖が使っていた品々、モンゴルの民族衣装、楽器、シャガイ（羊のくるぶしの骨）遊び、弓矢体験、ゲルの組み立てと解体、井戸から水を汲んで庭に植えた木に水をやる、牛乳と乳製品の伝統的な加工方法について、学ぶことができます。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |





68. Amid naidvar センター

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Amid naidvar センター /“Амьд найдвар” НҮТББ/ |
| 設立年 | 2018 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 10 ホロー、ハンガムジ 7-293 |
| 電話番号 | 976-85010111, 976-88244657 |
| E-mail | amidnaidvar@gmail.com |
| URL/Facebook | Амьд найдвар тбб |
| 代表者名 | D. エンフジャルガル |
| 活動内容 | <p>生活環境、家庭環境、環境の影響、教育ニーズなどにより様々な支援を必要とするゲル地区の生徒たちに対し、学習しやすい環境を整え、学びながら人間として成長する機会を提供するとともに、子ども発達・保護サービスを提供し、すべての援助・支援、コース、サービスを提供するために、学童クラス及び図書館の活動を行っています。</p> <p>当団体が位置するバヤンズルフ地区第 10 ホローと第 23 ホローには、地方から移住してきた一時滞在者や、生活に困窮する家庭が多く暮らしています。親の教育水準、生活状況、時間的余裕のなさなどから、子どもの学習・発達を支援できず監督も不十分なケースが多く見られます。また地域の特性上、モンゴルの伝統的な住居・ゲルに暮らす子どもの数が多いため、勉強する環境が整っていません。教科書、文房具、衣服、食料が不足している子どもも多くいます。さらに子どもたちだけが鍵をかけられた家に残されるなど、基本的権利が侵されています。危険な環境、様々な暴力に遭う危険が増えているため、私たちは下記の活動を行っています。</p> <p>学童クラスの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題プログラム：子どもたちが自主的に宿題に取り組み、できないことやわからないことがあれば、教員に助けをもらいながら学習を進めます。これは子どもたちが学習内容をよりよく理解し、遅れを取り戻し、わからないことを教えてくれる人がいるため心理的にプラスの影響があります。常に誰かがそばにないと集中力が続かない子どもが、全体の 80% を占めます。そのような子どもたちを指導・支援し、常に見守って学習させることで、少しずつ自主的にできるようになっています。 ・学習の遅れを取り戻すプログラム：クラスメイトや同年代の子どもたちと比べて著しく遅れている子どもたちが多くいます。これらの子どもたちを 2 つのレベル（遅れている、極度に遅れている）に分けて復習させています。遅れている子どもというのは、読み書きはできるものの授業内容が遅れているため、復習すれば追いつくことができる子どもたちです。極度に遅れている子どもは、読み書きができず、自主的に学習ができないため、教員の指導が必要な子どもたちです。学年末までに 2 段階レベルアップできるように、担任教師、保護者と協力しています。 ・送迎、食事提供サービス：朝 7 時半から受け入れ、日中、子どもたちを学校に送迎し、18 時半の終了時間までの間、1 日に 3 回栄養のある健康的な食事を提供しています。 ・宿題の他、子どもたちの発達のためのコースを開講しています。英語、スピーチ、演劇、チェスのコース、読書クラブがあります。 ・英語コースは、子どもたちが小さいころから将来の準備をする目的で、通常の授業に負担にならないように週に 1 回、授業を行っています。アメリカ人教師が私たちと協力し、初級レベルの子どもたちに文字、挨拶、色、数、体の部位、文房具、家族の紹介、好きなもの嫌いなもの、新しい言葉を覚え、覚えた言葉を使ったコミュニケーションを学んでいます。 ・チェスのコースは、子どもたちの IQ、思考力、数学的思考力を育むために、チェスを知らなかった子どもたち全員に初級の知識を与えて、チェスの遊び方を教えています。 ・スピーチ、演劇コースは、プロの演劇教師が週に 1 回教えています。発声トレーニングを行い、子どもたちの発話を発達させる早口言葉、朗読など、物語を興 |

| | |
|-------------|---|
| | <p>味深く表現させることで、子どもたちの発達に前進が見られています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書の時間では、宿題を終えた子どもたちは読みたい本を手に取り、読んで理解し、他の人と話して内容を共有します。また、教員が子どもたちに本を読み聞かせ、子どもたちと話し合います。この時間は、子どもたちが理解したことを完全な文章と豊富な語彙で表現することを学ぶための一つの方法です。本をただ読むだけではなく読んだ内容を理解し、気づき、生活で実践する必要があります。理解し気づいたことを書き残して、書く能力を発達させることも必要です。書き残したことを自由に正しく表現し話すスキルも発達させる必要があることを、子どもたちに小さいころから習慣化させる目的で、実施しているプログラムです。 ・性教育を提供する「安全な選択」コースを、ウランバートル市及び地方の中学校8年生から12年生までの約1,000名を対象に実施しているだけでなく、少年院や専門学校でも実施しています。資格を有する教師約100名を育成しました。保護者向けの性教育コース「大事な話」も2回開催され、40名の保護者が参加しました。このコースに参加することで、子どもたちの将来を守る正しい性教育、自分自身を知る、情報ツールの正しい使い方、家族計画、未成年の妊娠・中絶・性感染症の予防と正しい理解を与え、安定した家庭づくり、正しい交際など様々な情報を子どもたちの年齢に合った方法で提供し、コースの手引き書、デモンストレーション、講師など、必要な費用を全額負担しています。 ・思春期世代の自殺防止「明るい方向転換」プログラムは、少年院や義務教育学校にも導入され始めています。このプログラムでは、思春期世代の子どもたちが自らの心理的特性を認識し、感情を認識してコントロールすることを学び、健全な人間関係についての知識を身につけ、必要な時に誰にどこで助けを求めるべきかを学び、安全計画を立て、問題に対処する方法を学びます。保護者向けの手引きには思春期世代の子どもの心理的特性を認識し、危険な行動について理解し、メンタルヘルスや自殺の兆候を認識し、心理的安全を確保するための対策を講じるヒントが含まれています。 |
| 日本・各国との協力状況 | カナダ・デュフレーヌ・ゴートイエ財団 |
| JICAとの協力状況 | なし |



69. トルゴイト地域開発センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | トルゴイト地域開発センター /Толгойт хорооллын нутгийн хөгжилийн төв/ |
| 設立年 | 2004 年 |
| 住所 | ウランバートル市ソングノハイルハン区第 3 ホロー、バガナラン 43-4 |
| 電話番号 | 976-99182317, 976-99832121 |
| E-mail | tolgoit@tcdc.mn |
| URL/Facebook | Вэб хуудас: www.tcdc.mn |
| 代表者名 | T. アムガラン |
| 活動内容 | <p>トルゴイト地域開発センターは、2004 年 9 月に設立された NGO です。私たちの目的は、トルゴイト地区に居住している住民のイニシアチブ、ニーズに基づいて地域開発における住民参加を支援し、地域団体のパートナーシップを発展させ、地域ガバナンスをエンパワーメントすることです。下記の目標を挙げて活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域開発における住民参加を支援するため、地域の自治を発展させる。 ・住民ボランティアグループの支援で環境に優しい地域計画を強化する。 ・住民の公衆衛生教育を向上させる。 ・困難な状況で生活している子どもとその家族に人道支援を行う。 <p>上記目的を公衆衛生教育、地域の自治、グリーン地域、子ども保護の 4 つのプログラムで実施しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>滋賀県大津市の「特定非営利活動法人京滋・モンゴル友好関係ネットワーク」と共同で、2018 年 3 月から家庭から出る生ごみで堆肥を作る活動を継続しています。私たちのこのような活動は、同じ地域に生活している住民自らの参加で、地域をよりきれいに発展させるのに役立っているという意義がある活動です。この一環で「トルゴイトにおける生ごみリサイクルネットワーク」を設立し、活動しています。</p> <p>ネットワークの活動を各家庭のビジネス、地域住民の協同組合を作るための活動に向けて、世帯レベルで家庭菜園を行っている 5 つの家庭を元に野菜作り、生ごみから堆肥を作る、近所に宣伝する「サポート世帯」を設立し、彼らの協力を活性化し、能力強化する活動を行っています。「京滋・モンゴル友好関係ネットワーク」の支援で、同センターの 2 名が日本で生ごみから堆肥を作る研修に 2019 年に参加しました。</p> <p>2010 年から現在まで FDG と共同で「トルゴイト地区の貧困家庭の子どもたち、その家族支援」プロジェクトを実施しています。このプロジェクトはセンターの子どもたちの成長、保護プログラムの活動を支援し、毎年特別支援学校で学ぶことができていない子どもたち向けに「家庭学習」、夏休みに家で弟妹の面倒を見るために家に残っていてサポートが必要な子どもたち向けに「子どもサマーキャンプ」を開催しています。</p> |
| JICA との協力状況 | <p>2013～2015 年に JICA 協力隊員が配属され、共に活動しました。</p> <p>JICA の支援で「対象地域の食糧消費、栄養状態改善」プロジェクトを 2020 年に実施しました。ソングノハイルハン区のトルゴイト地区から選ばれた 96 世帯の食糧消費、栄養状態を調査するとともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響で貧困家庭、特に子どもの栄養不足を予防する目的で 612 名に食料品を届ける短期プロジェクトを 2020 年 7 月 7 日～9 月 18 日まで 11 週間行いました。</p> <p>この短期プロジェクトの目的は、農業分野のバリューチェーンパイロットプロジェクトに貢献し、新型コロナウイルス感染拡大の影響で貧困家庭、特に子どもの栄養不足予防、食料品を受け取った家庭の食料消費、栄養状態を明確にすることでした。プロジェクトは貧困の悪循環から抜け出せない、新型コロナウイルス感染拡大の際に職と収入を失い、さらに困難になった家庭の家計支援になり、すべての人々の健康、精神及び家族関係に良い影響をもたらすことができました。プロジェクトで世帯の食料消費、栄養状態についての調査を 3 回行い、96 世帯 612 名が調査に参加しました。</p> |



70. Shineleg Child Development Center

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Shineleg Child Development Center /Шинэлэг түлхүүр хөгжил соёлын төв/ |
| 設立年 | 2002 年 |
| 住所 | ウランバートル市ソングノハイルハン区第 2 ホロー |
| 電話番号 | 976-88662444 |
| E-mail | Shinelegchild@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/Shineleg-Child-Development-Center-248383675324389/ |
| 代表者名 | S. プレンメンド |
| 活動内容 | <p>私たちはトルゴイト地区に住む生活が苦しい家庭の子どもたちが、社会性を身に着け、自身の能力が開花できるように、芸術を通じた発達サービスを提供しています。ソングノハイルハン区トルゴイト地区はウランバートル市郊外に位置し、この地域に予防と保護のサービスが必要になっています。</p> <p>私たちは貧困層の子どもたち、学校で差別・偏見に遭っている子どもたちやひとり親世帯、孤児、養育者を対象に活動しています。サービスを日中と授業時間外に行い、日本の大正琴を使って、すべての子どもたちの才能に合った手工芸や、ライフスキルの学習を通じて発達させるサービスを行うほか、子どもセンターにいる間に自分の家にいるような環境を提供するほか、温かい食事とその他必要なサービスを行っています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 新潟県の琴源社が 2 年ごとに開催する大正琴国際フェスティバルに、2016 年以降、同 NGO から 3~4 人の子どもたちが出場しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



71. ウールクラフト支援センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | ウールクラフト支援センター /Ноосон эдлэлийн гар урлалыг дэмжих төв/ |
| 設立年 | 2007年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第12ホロー、116 |
| 電話番号 | 976-11454676, 976-99315599, 976-88315599, 976-96885599 |
| E-mail | Woolcraft_center@yahoo.com |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | Ts. ツェンドアヨーシ |
| 活動内容 | <p>ノルウェーの研修センターだった時から現在までの間に、21の県でウールクラフト研修を開催した結果、約5,000名が研修を受けただけでなく、ビジネスをスタートさせ、多くの世帯の収入を増やしました。「ノーソン・ザンギラー」協同組合の「ツァガン・アルト」ショップのスタッフたちに研修を行い、大きな成功につながったと見なしています。私たちは以下の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家畜の毛を利用し、フェルト工芸の初級及び上級研修を開催。 ・原毛を用意し、染色し、原料供給作業を行う。 ・羊毛から糸を紡ぎ、編み物研修を開催。 ・事業を行っている組合にアドバイスを行う。 |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ノルウェーの支援期間プロジェクト（1995～2005年） ・JICA 草の根技術協力事業（2009～2011年） ・チェコのプロジェクト（2013～2014年） ・モンゴル・韓国知的財産プロジェクト（2015～2017年） |
| JICA との協力状況 | 草の根技術協力「モンゴルの羊毛を活用した手編み物生産に関する技術支援プロジェクト」 |



72. Mongolian Quilting Center/Shine Zamnal NGO/

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Mongolian Quilting Center/Shine Zamnal NGO/ /Шинэ замнал/ |
| 設立年 | 2003 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 5 ホロー、39 |
| 電話番号 | 976-99099930 |
| E-mail | mongolzuimelbrand@gmail.com |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | Ts. セレンゲ |
| 活動内容 | <p>Mongolian Quilting Center は 2004 年に設立されました。パッチワークを通して、シングルマザー、最低生活水準以下の収入の女性、障害者、定職のない女性、定年退職した女性、育児中の母親などにパッチワークの研修を行い、彼女たちと連携して生計向上支援をしている NGO です。</p> <p>パッチワークは、手元にあるあまり使われていない布や絹糸を使って、布団、赤ちゃんのおくるみ、ベッドカバーなど、様々な家庭用品、お土産品、芸術作品を作ることができます。パッチワークはモンゴルの伝統的なアップリケ刺繍に似ていますが、布と絹糸を使って縫製される点が異なります。世界的に芸術の域にまで発展しているこの手工芸をモンゴルでも紹介し、発展させることが重要です。そして、人々が余暇時間を創造的に過ごし、手仕事で物作りを学ぶ機会となるようにすることも重要です。</p> <p>唯一無二の素晴らしい斬新な色とデザインの、ユニークな手工芸品が好きな人々が増えていることに関連し、パッチワーク作品の愛好家、作成者が増えているという調査結果があります。</p> <p>パッチワークは布や絹といった入手しやすい素材を使用するため、経済的に効率的であるだけでなく、環境にも優しいです。かつては布を燃やしたり、枕やマットレスに使用したりしていましたが、私たちは家庭用品やお土産品を作成し、リサイクルしています。</p> <p>私たちはパッチワークの研修を行うほか、研修に参加した人々の中から選抜した 50 名近くの無職の女性、中でもシングルマザー、障害者に家でできる仕事を提供しています。彼女たちが作った手作りの品々は、外国人観光客や国内のバイヤーに販売し、彼女たちの生活の糧となるよう、できる限り支援しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | UNIFEM TAMA 女性グループと協力しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



73. Sersen talin salkhi

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Sersen talin salkhi /Сэрсэн талын салхи/ |
| 設立年 | 2021 年 |
| 住所 | アルハンガイ県エルデネボルガン郡、ツォグト・オール 1-8 |
| 電話番号 | 976-99102425, 976-88001782 |
| E-mail | Amarsaikhan82@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/Nomadichomestays/ |
| 代表者名 | L. アマルサイハン |
| 活動内容 | <p>アルハンガイ県の観光、農業、教育、産業支援のために次の活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の旅行者にアルハンガイ県の歴史的場所、遊牧民の文化紹介。 ・農業の発展を推進し、家畜製品、中でもヤクのミルクを重要視し、外国市場に輸出するために国内外の専門的なボランティアと活動。 ・農業分野に新たな風を吹き込む。玉ねぎ、にんにくの栽培を支援し、ハンガイ地方の野生の赤玉ねぎを栽培。 ・アルハンガイ県の子どもたち、若者たちの外国語教育支援。 |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |

74. ノゴーンノール公園

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | ノゴーンノール公園 /“Ногоон нуур цэцэрлэгт хүрээлэн” ТББ/ |
| 設立年 | 2017 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 12 ホロー、12-571B |
| 電話番号 | 976-91166366 |
| E-mail | Ulziinuur@gmail.com |
| URL/Facebook | Ulzii N-nuur |
| 代表者名 | S. ウルジートグトホ |
| 活動内容 | <p>「ノゴーンノール公園」がある場所は、1946 年代、1947 年代に日本人抑留者たちがウランバートル市のスフバートル広場、市内の主要な道路建設に使用する石材を切り出していた歴史的な場所です。1960 年代初頭、石切り場はかなりの水が溜まり長年放置されていました。2012 年頃には水が干上がり、ごみ捨て場になっていました。2012 年から住民の S. ウルジートグトホが自己資金でごみを片付け、池には雨水がたまり、1 千本近くの木や低木が育つ水源となりました。</p> <p>2012 年以來、毎年冬になると延べ約 1 万人の子どもや若者がスケートを楽しみ、夏にはボートを楽しみ、休日をここで過ごす家族連れなど多くの市民が訪れるようになりました。この 10 年間、通常より 50~70%安価な価格で市民にサービスを提供しています。</p> <p>ノゴーンノール公園を 2017 年に NGO として登録し、幼児向けの絵本や知育玩具を寄付で集め、子どもたちの発達を目的とした活動を行っています。</p> <p>1945~1947 年にモンゴルの首都の景観を根本的に変え、近代都市の礎を築いた日本人抑留者を追悼する「さくら・ゲル博物館」を、2022 年 8 月 4 日に開設しました。今後はこの博物館をより拡充させ、歴史的真相を人々に伝えることを目指しています。また日本の NGO や市民と連携し、協力関係を築く予定です。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ文化基金の助成により「グリーン・ヒーロー」プロジェクトを実施し、ヨーロッパおよびモンゴルのアーティストたちが廃棄物を活用したアート作品をノゴーンノール公園で作成しました（2021 年 4 月）。 ・アメリカ大使館と協力し、アメリカ・モンゴル外交関係樹立 35 周年記念事業の一環で、米軍のジャズ・ミュージシャンたちがノゴーンノール公園でコンサートを行い、地域のミニプロジェクトを実施しました。 ・「Ger Hub」NGO とともに、2021 年と 2022 年の 7~8 月にレゴ・プログラムを実施しました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



1946年のスフバートル広場



2010年



2012年



2019年



2022年

75. ボディ・ゾル

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | ボディ・ゾル /БОДЬЗУЛ ТББ/ |
| 設立年 | 2004 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 12 ホロー、ジャンジン 475-B |
| 電話番号 | 976-88002425, 976-70003215 |
| E-mail | lop@fpmtmongolia.org |
| URL/Facebook | Bodhizul NGO |
| 代表者名 | D.エンフマー |
| 活動内容 | <p>ボディ・ゾル NGO は、社会的弱者への支援や福祉サービスの提供を目的として、2004 年に設立された NGO です。この目的のもと、「温かいスープ」「保健」「野菜」「温かい衣服」「禁酒」などのプロジェクトを成功裏に実施しており、2022 年には「食料配給プロジェクト」、2023 年には「子どもの発達プロジェクト」を再開し、順調に運営しています。ボディ・ゾル NGO は、ドゥルマリン福祉センターを通じて、社会に向けた次の活動を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かいスーププロジェクト；バヤンズルフ区のアムガラン地域内の極度に貧しい人々、ホームレス、地区に住民登録がない人々に対して栄養価の高い昼食を平日に無料で提供する慈善活動を行っています。 私たちはこの活動を 20 年間行っており、2023 年時点で 1 日に 40~50 名、年間 10,052 名の極度に貧しい人々やホームレスに昼食を提供しました。スープを受け取る人の多くは路上で生活するホームレスであるため、旧正月、ナーダム、年末年始などの祝祭日には特別プログラムとして、特別な料理の提供や子どもへのプレゼント、歌や演奏を行っています。この「温かいスープ」提供所はスイス政府の支援により 2004 年に設立され、それ以降、継続的に社会的弱者やホームレスに食事を提供しています。 ・食料配給プロジェクト；バヤンズルフ区第 12 ホローの極度に貧しい住民の生活状況を調査すると非常に心が痛む状況が見られ、他の地区も同様であると予想できる状況です。そのため私たちは社会的弱者への支援の一環として、対象住民に温かい食事を届けるプロジェクトを実施することにしました。このプロジェクトの開始により、第 12 ホローに住む障害者、高齢者で介護者がいない人々など、極度に貧しい住民が栄養不足に陥ることを防ぐため、支援対象に含まれました。2023 年には 35 名、延べ 12,344 名の極度に貧しい住民に温かい食事を届けることができました。またこのプロジェクトでは、国内の伝統的な食文化を取り入れた質の高い料理を通じて、健康の回復を目指しています。 ・初期の健康診断、アドバイス；健康プロジェクトの一環として、管轄区の極度に貧しい住民、ホームレス、地域に住民登録がない人々に対し、初期の健康診察・相談を行い、必要に応じて適切な医療機関に紹介する活動を行っています。ボディ・ゾル NGO は、2015 年より「海外プログラム・モンゴル」国際ボランティア医療団体と協力しています。医師のターニャ氏や海外の医学生・医師ボランティアが夏季にスープ提供施設を訪れ、ホームレスや貧困層に対して診察や必要な医薬品の提供を行っています。また、エネレル病院と契約を結び、一部の住民を入院させる措置も取っています。 ・野菜プロジェクト；2023 年、当 NGO は野菜の種類を増やし、前年より量も増加したため、保存が必要となりました。これに合わせて、新たに野菜保存用の施設を建設しました。この施設の建設には、ウランバートル・インターナショナルスクールの校長より資金援助がありました。 ・温かい衣服の提供；スープ提供施設に来る住民の多くはホームレスや極度に貧しい人々であり、特に冬季には暖かい衣服が不可欠です。そのため当 NGO は衣服を収集して配布し、厳しい冬を乗り越える支援を行っています。 |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |



76. オイスカ・モンゴル

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | オイスカ・モンゴル /ОИСКА Монгол НҮТББ/ |
| 設立年 | 2006年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区、フラワーホテル100A |
| 電話番号 | 976-11315755 |
| E-mail | oiscamongolia@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/MongoliaOISCA |
| 代表者名 | G. ニンジン |
| 活動内容 | <p>私たちは次のプログラムを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植林、自然再生プログラム 2009年から毎年、ドンドゴビ県、オルホン県、ボルガン県、ウムヌゴビ県、ゴビアルタイ県、及びウランバートル市内の学校や幼稚園の敷地で、子どもたちと一緒に「子どもの森」計画を実施し、様々な植樹講習や植樹活動を行っています。また、モンゴルで展開されている「10億本の木」国家運動を応援して、地域住民の参加による植樹プロジェクトをオルホン県、ウムヌゴビ県、ゴビアルタイ県で実施しています。 ・有機農業振興プログラム 私たちは葉物野菜やジャガイモなどの有機野菜や果物の栽培について、地域の人々を対象に土づくりから収穫までの研修を実施しています。研修参加者が育てた作物の技術指導を、秋の収穫期まで継続的に行っています。また試験的にミカン、ブドウ、ライム、様々な種類のイチゴの栽培に、オルホン県とウムヌゴビ県で取り組んでいます。 ・人材育成プログラム 2009年以降、これまでに34名を日本のオイスカ研修センターに派遣し、有機農業に関する研修を実施してきました。現在、新たに2名がこのプログラムに参加するための準備を進めています。 ・生活改善プログラム 地域住民を対象に養蜂の研修を実施しました。研修参加者が生産した蜂蜜製品は日本で販売されています。 また、羊毛の加工及びフェルト製品づくりの研修を実施し、研修参加者が製作した製品は、「熊本×モンゴルプロジェクト」を通じて日本で販売されています。手工芸の研修として、廃材を活用した新しい作品づくりなど、短期講習も実施しています。 ・寄付支援プログラム 冬季スポーツに取り組む青少年を支援する目的で、ボルガン県のボガト、テシグ、セレンゲ、ハンガルといった郡の中学校にスキー用品を寄贈しました。これらの学校は県や国内の大会で常に上位の成績を収めていますが、スキーやスケートの用品が不足していたため、オイスカ・モンゴルが日本国内でスキー用品を集め、寄付を行いました。 ウランバートル市ソングノハイルハン区、ボルガン県、セレンゲ県、スフバートル県の非常事態庁と保健局に、救急車、消防車を寄贈しました。 毎年、日本の小学生から寄せられる文房具を、「子どもの森」計画を実施している学校の生徒たちに寄贈しています。 地方の生活が困難な人々を対象に、衣料品の寄付活動を実施しました。このプロジェクトはウムヌゴビ県、ボルガン県、ヘンティー県、スフバートル県、セレンゲ県、オルホン県、ドンドゴビ県が対象になりました。 |
| 日本・各国との協力状況 | <p>オイスカ・モンゴルの植林活動を支援してくださっている寄付者の皆様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本政府 ・オイスカ本部、オイスカ西日本研修センター、オイスカ四国研修センター ・東京都議会オイスカを支援する議員連盟 ・国会オイスカを支援する議員連盟 ・静岡県議会オイスカを支援する議員連盟 ・静岡県「グリーンバンク」国際緑化活動支援事業 |

| | |
|-------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車株式会社 ・日立物流株式会社 ・緑の募金 ・オイスカ静岡、福岡、熊本、山梨各支部および会員・支援者の皆様 |
| JICA との協力状況 | <p>2025年9月4日～6日に、中国内モンゴル自治区でJICA中国事務所が主催した「砂漠化防止と緑化推進に関する国際シンポジウム (International Symposium on Combating Desertification and Promoting Greening)」に参加し、「ポット育苗によるサクサウル植林に関する研究 (A study on reforestation using potted saxaul seedlings)」というテーマで発表を行いました。</p> |



Social Business and Regional Development & Support



Toyota Motors Environment Support



Kumamoto Mongolia Project



Charity Program

77. ウブルハンガイ県 NGO 協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | ウブルハンガイ県 NGO 協会 /Өвөрхангай аймгийн төрийн бус байгууллагуудын нэгдсэн холбоо ТББ/ |
| 設立年 | 2017 年 |
| 住所 | ウブルハンガイ県アルワイヘル市、文化芸術局 1-4 |
| 電話番号 | 976-70322323, 976-99727022, 976-88727022 |
| E-mail | Negdsenkholboo.TBB@gmail.com, Leos.Arvaiheer@gmail.com |
| URL/Facebook | Бэрх шагай |
| 代表者名 | Ch. Гантцэцэг |
| 活動内容 | <p>活動分野；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政機関および公共サービス機関の予算、人事、活動の監視とモニタリング。 ・ 予算投資および公共調達の監視とモニタリング。 ・ 環境と責任ある鉱業の監視とアセスメント。 ・ 気候変動による悪影響を軽減し、適応計画に関係者の参加を促進するためのアドボカシー活動。 ・ 公衆衛生およびプライマリヘルスケアの基準。 ・ 非感染性疾患の原因を特定し、非感染性疾患の予防に関するパブリックアドボカシー活動を実施する。 ・ 社会的責任とグッドガバナンスの強化に貢献し、影響を与える。 ・ 政府、NGO、民間セクター間のパートナーシップと協力。 ・ 市民参加、人権、個人の発展に関する研修、コンサルティング、情報提供。 ・ 起業家の能力強化。 <p>実施した活動；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気候変動の悪影響に対する貧困層の脆弱性を軽減し、適応・対処能力を高めるための研修および情報提供活動を実施しました。 ・ 気候変動の悪影響軽減分野における予算投資の質と有効性を分析し、協議会議を開催しました。 ・ プライマリヘルスケアサービスの質的基準に関する、市民満足度評価を実施しました。 ・ 起業家向けの能力開発活動を組織しました。 ・ 地方開発基金の予算投資に関する分析とアドボカシー活動を実施しました。 |
| 日本・各国との協力状況 | 世界銀行、World Vision、Open Society Forum、モンゴル女性基金、People in Need など |
| JICA との協力状況 | なし |



78. モンゴル自然環境国民委員会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル自然環境国民委員会 /Монголын байгаль орчны иргэний зөвлөл (МБОИЗ)/ |
| 設立年 | 2008年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンウール区ザイサン、淡水資源自然保護センター310号室 |
| 電話番号 | 976-70131400 |
| E-mail | Irgenii.zuwlul@gmail.com |
| URL/Facebook | Монголын Байгаль Орчны Иргэний Зөвлөл |
| 代表者名 | S. アムガランバートル |
| 活動内容 | <p>モンゴル自然環境国民委員会は、21の県に支部があります。全国規模のNGOであり、自然環境人権分野で活動を行っているNGO、国民、個人、行政のすべての機関と協力しています。</p> <p>目標；モンゴルの自然環境分野で活動を行っている NGO の能力強化、自然環境保護活動を全国規模で強化するのに、モンゴルの政府、国際機関との協力を発展させることが目標です。</p> <p>目的；自然環境汚染・破壊を予防するために、植物、生物の種類、生息環境の保護、次世代に健康で手つかずの自然を残すことが目的です。</p> <p>歴史；モンゴル自然環境国民委員会は、2008年11月25日に行われたモンゴル自然環境NGO第1回会議で設立され、自然環境分野で活動を行っているすべてのNGOを統合した総合機関です。</p> <p>活動；モンゴル自然環境国民委員会はモンゴル自然環境の初の議会を設立し、2011年1月27日にモンゴル国大統領府管轄国民会議で成功裏に開会しました。この議会は51名のメンバーから成り、彼らは自然環境保護の350のNGOの代表です。モンゴルの自然環境議会の目的は、自然環境について固守している政策、法律、規則において直面している問題を協議し、この問題で国家及びその他の法律実施機関に提言するひとつの手段になることです。</p> <p>戦略；</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モンゴル自然環境国民委員会を国家及び国際的に認められた機関に強化する 2. 自然環境 NGO の専門、マネージメント活動を改善させるのに支援を行うことで、自然環境保護への貢献を高める 3. 自然環境保護法的に好ましい環境をつくる啓発活動を主催する 4. 自然環境保護監査 5. 社会の自然環境教育、知識を向上させる 6. モンゴル国の行政、国際機関と協力する |
| 日本・各国との協力状況 | <p>2015～2021年アジア開発銀行の国民社会顧問委員会のメンバーとして活動しています。</p> <p>2012年から現在まで JICA の支援で建設された淡水資源センターの310号室に本部を置き、モンゴル全国ですべての国民、青少年に持続的な開発教育とエコロジー教育、ごみ廃棄マネージメント改善活動を行っています。2014～2017年に日本人ボランティアによるグリーン施設セミナー、日本人講師による放射線物質についての全5回のセミナーを行いました。</p> <p>2019年にモンゴル自然環境国民委員会メンバー、モンゴル観察・調査協会NGO、パラシュート会NGO、開発のためのパートナーシップNGOの代表が、千葉県のNGOと農業企業を視察し、経験共有しました。</p> <p>2018～2019年にEUの融資で「呼吸する大気」プロジェクトをチェコの People in Need と環境省と共同でウランバートル市、アルハンガイ県、ウブルハンガイ県で実施しました。</p> |
| JICA との協力状況 | なし |

79. Mongolian association for conservation of nature and environment

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Mongolian association for conservation of nature environment /Монголын байгаль орчныг хамгаалах холбоо/ |
| 設立年 | 1975 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第 2 ホロー、平和大通り 40/2 |
| 電話番号 | 976-99142102 |
| E-mail | macne_mon@yahoo.com |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | N. バダムハンド |
| 活動内容 | <p>私たちは環境を保護し、天然資源を適切に利用・再生し、生態系のバランスの取れた発展を確保し、住民が健康で安全な環境で生活する権利を保障することを目的に、研修と広報活動を行い、自然保護活動への市民参加を促進させ、国家機関の機能の一部を契約ベースで遂行し、環境に悪影響を与えないエコツーリズムを実施し、ビデオ動画を制作し、新聞や雑誌を発行するなどの活動を行っています。</p> <p>環境保護を目的とする国家および非政府組織、国際的な環境保護センターや後援団体と関係構築・協力し、プロジェクトやプログラムを実施しています。</p> <p>全国規模で活動し、21 の県に自然保護支部協議会、加盟団体、会員を有し、地域社会で活動しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1991 年、日本・モンゴル文化経済協力協会とエコツーリストの受け入れに関する協定を大阪で締結し、1992 年から観光客の受け入れを行っています。 ・ 米国、カナダ、英国、日本、オランダ、オーストラリア、スウェーデン、ノルウェー、チェコ共和国からの「モンゴル・ホスタイのタヒ導入」に関するドキュメンタリーやテレビ番組の撮影を企画しました。 ・ 1993 年、在モンゴル日本国大使館より当 NGO 事務局及び 18 の県にビデオ機器の供与があり、これにより広報活動や研修に成果がありました。 ・ 1995 年 8 月に「東アジア大気行動ネットワーク」(AANE) 国際非政府組織 (NGO) に加盟し、1997 年には国際自然保護連合 (IUCN) に加盟しました。2012 年からは日本の国際環境技術移転センター (ICETT) と関係を構築し、2014 年 12 月には、日本・アジア青少年科学交流プログラムの一環として、ウランバートル市内 9 区の公立学校エコグループの生徒 10 名を日本に招き、東京の発展、産業技術の進歩、そして環境汚染と社会災害を乗り越えてきた四日市市の経験を学ぶスタディツアーを実施しました。ICETT は環境保護団体や各国大使館と協力し、地域の環境保護 NGO の能力強化と市民のエコ教育の向上に取り組んでいます。 |
| JICA との協力状況 | なし |

80. WASH Action of Mongolia

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | WASH Action of Mongolia /Ус, ариун цэвэр, эрүүл ахуйн дэвшлийн төв/ |
| 設立年 | 2014 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 1 ホロー、ゲレルセンター302 |
| 電話番号 | 976-11330368 |
| E-mail | ariunaa@washaction.mn, bodigerel@washaction.mn |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/WaSHAction |
| 代表者名 | P. アリウナー |
| 活動内容 | <p>私たちは2014年から水の普及、水の適切な使用の宣伝、屋外トイレモデルの提供、環境衛生の改善（家庭ごみ、有機ごみの再利用）、学校、幼稚園、寮のトイレ、衛生環境の改善、社会に衛生的で正しい習慣を広め、宣伝する目的でプロジェクトを実施してきました。</p> <p>特に教育省、国連児童基金と共同で幼稚園、学校寮の水供給とトイレ状況を改善し、衛生的で正しい習慣を広める広報活動を継続的に行っています。この一環で、ウランバートル市郊外や地方の学校のトイレを新規改善する様々な作業を行ったほか、社会に情報提供し、宣伝するキャンペーン活動を開催し、社会の傾向を変えるのに貢献してきました。保健教師らの能力向上を支援し、思春期世代の女の子たちに生理の教育を行い、www.namuu.mn と OKY アプリケーションを運営しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>私たちは国連、アジア開発基金、フォルド基金、カナダ基金、アジア基金、ACF International、Rustic Pathway などの団体と共同でプロジェクトを実施してきました。専門分野で SUSANA、Water keeper Alliance、Water Institute、Global water partnership 団体に加盟し、研修、経験共有、専門能力向上などで協力しています。</p> |
| JICA との協力状況 | なし |



81. Institute for Future

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Institute for Future /Ирээдүйн хөгжлийн хүрээлэн/ |
| 設立年 | 2005 年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区淡水資源センター303 号室 |
| 電話番号 | 976-99129913, 976-99251884 |
| E-mail | ochbol35@gmail.com, misheelmaral0505@gmail.com, tunza_mgl@yahoo.com |
| URL/Facebook | www.facebook.com/Ирээдүйн-Хөгжлийн-Хүрээлэн |
| 代表者名 | M. オюнチメグ、B. ミシェール |
| 活動内容 | <p>私たちの団体は、次の 4 つの方針で活動を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 持続可能な開発、自然環境、社会と環境の健康分野で調査を行う 2. 持続可能な開発教育、自然環境保護の知識を与え、能力強化する学習モジュールプログラムを作成し、研修を開催する 3. 持続可能な開発教育、行動を変える情報コミュニケーション活動を実施（宣伝、啓発、広報、キャンペーン活動） 4. 国連自然環境プログラムの TUNZA ネットワークの一環で、国際若者ボランティアと自然環境団体と協力 |
| 日本・各国との協力状況 | <p>国連自然環境計画の TUNZA 国際・地域会議、フォーラム、会合に青少年の代表を積極的に参加させてきました。国連自然環境計画の TUNZA 東北アジア若者自然環境ネットワーク（NEAYEN）国際会議をモンゴルで 2008 年と 2013 年に開催しました。2008～2010 年に中国、韓国、日本で国連自然環境計画 TUNZA 国際青少年会議にモンゴル代表ボランティアメンバーを選抜し、参加させました。</p> <p>2021 年に Mosksop26 国際若者会議で M. ミシェール副代表が、モンゴル代表ハイレベル宣言を発表しました。</p> |
| JICA との協力状況 | なし |



82. 自然環境情報研修センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 自然環境情報研修センター /Байгаль орчны мэдээлэл сургалтын төв/ |
| 設立年 | 2003年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第1ホロー、平和大通り、シュレン・オフィス |
| 電話番号 | 976-88111893 |
| E-mail | Ceo@feemongolia.mn |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/FEE.Mongolia https://www.facebook.com/EcoSchoolMongolia |
| 代表者名 | L. テムージン |
| 活動内容 | 世界環境教育財団（FEE）の会員である環境情報研修センター（EITC）は、2003年に設立されました。世界環境教育財団（FEE）の会員として、モンゴルにおける国際エコスクール、森林学習、若手環境レポーター、ブルーフラッグ、グリーンキープログラムの公式国内運営機関です。モンゴルではスイス開発庁の支援を受けて、2007年から「エコスクール」プログラムを試験的に実施し、2011年からはEITCとして正式に実施しています。2015年からはスイス開発庁の支援を受け、モンゴル環境省および教育省と共同で実施している「持続可能な開発のための教育」プロジェクトに協力し、活動範囲を拡大しています。2020年時点で、国際エコスクール、森林学習、若手環境レポーターのプログラムは、21の県と首都の市役所、自然環境観光局、教育局と連携して実施されています。エコスクールプログラムだけでも、首都および地方の義務教育学校341校、幼稚園204園、専門学校6校が対象となっています。 |
| 日本・各国との協力状況 | 国際エコスクールプログラムは、世界70カ国以上で実施されているプログラムです。 |
| JICAとの協力状況 | なし |



83. 自然環境健康センター

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | 自然環境健康センター /Байгаль орчин эрүүл мэнд төв/ |
| 設立年 | 2008 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 4 ホロー、バガトイロー47-03 |
| 電話番号 | 976-99132958, 976-95257562 |
| E-mail | dula_lod@yahoo.com |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | L. ドガルマー |
| 活動内容 | <p>自然環境健康センターは自然環境保護、自然環境汚染・悪化の復元、自然環境、環境衛生、健康についてアドバイスし、研修を開催し、調査を行う目的で 2008 年に設立されました。同団体の理事会はエコロジスト、環境衛生士、医師、化学者、毒物学医、法律家などの専門家たちから構成されるほか、行政機関で 26 年、NGO で 5 年以上勤務した教授、博士、修士号取得者、専門教育を受けた経験ある人材が勤務しています。</p> <p>活動紹介；</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当 NGO 代表及びその他のメンバーが、オランダ政府及び国連開発計画の支援で、環境省のモデル統合計画作成案件のワーキングチームリーダーとして、案件を成功裏に実施しました。 2. 国際的に固守している「廃棄物のコード化リスト、危険レベル」を作成し、環境省に提出しました。 3. オープンフォーラム奨学金プログラムの「危険廃棄物マネージメント改善、社会の知識向上キャンペーン活動」案件で、危険廃棄物について 3 冊の本を執筆・出版し、すべての県の自然環境局及び専門家に書籍形式とオンライン形式で配布しました。 4. アメリカの世界資源研究所とオープンフォーラム共同で「自然環境汚染の総括情報」案件を実施しました。この案件の一環で、郡の廃棄物マネージメントハンドブック、パンフレット作成、河川の水質汚染状況と社会の監視を行うハンドブック、パンフレット作成、「水ガバナンス」をテーマに、協議会を水専門家、国立大学教員、専門学校研究者の間で開催し、このテーマで L. ドガルマーが書籍「開発の鍵は水」を 2018 年に、「水のガバナンス」論文を発表しました。トール川の河川領域でモニタリングなどの活動を行いました。 5. オープンフォーラム、自然環境改革 II 案件で「地方の自然環境問題管轄専門家能力強化」研修をダルハン市で開催しました。この研修にダルハンオール県、オルホン県、セレンゲ県のすべての郡の自然環境専門家、監視員らが参加しました。 6. 「責任ある鉱山提唱」NGO と共同で、モンゴル全土で活動を行っている鉱山事業に責任感を持たせ、特に環境汚染・破壊から保護する目的の「責任ある鉱山の選抜指標」作成ワーキングチームリーダーとして選抜指標を作成し、この指標でモンゴルにおいて責任ある鉱山を開発する方針を固守するために、2012 年から政府計画に入れました。 7. 当 NGO は農業で使用している化学的有毒物質の監査、調査で活動することを目的にしています。現在、私たちは農業で使用している化学有毒物質農薬について「農薬について 44 の質問」小冊子を翻訳し、食品連合 NGO と共同で研修セミナーを行いました。 8. オープンフォーラムの支援で「病院、歯科クリニック、薬局で水銀が含まれた器具の使用・販売の有無のモニタリング調査」をウランバートル市、ダルハンオール県、セレンゲ県で行い、報告書を出しました。 9. 「農薬の適切な使用モニタリング」において中央県、セレンゲ県のいくつかの郡で植えている野菜、スーパー、市場で売られている野菜、果物から 73 のサンプルを取り、結果報告を出しました。この一環で、私たちは国際的に使用禁止になった農薬のリストと比較し、調査しました。 <p>EU の国際農薬情報基金 (EU Pesticides Database-European Commission) に国際的に使われている、使用禁止された 1,418 の農薬リストで禁止された農薬をモン</p> |

| | |
|-------------|--------------------------------|
| | ゴルで使われている農薬リストと比較し、調査しました。 |
| 日本・各国との協力状況 | アメリカの世界資源委員会と共同でプロジェクトを実施しました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



84. Tuvshin saikhan munkh

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Tuvshin saikhan munkh /Төвшиг сайхан мөнх НҮТББ/ |
| 設立年 | 2009 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 2 ホロー、セルベ 10-91 |
| 電話番号 | 976-96685858, 976-77750058 |
| E-mail | tuvshinsaikhantuv@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/tuvshinsaikhancenter |
| 代表者名 | 0. ラハグワスレン |
| 活動内容 | <p>ごみの廃棄を減らし、責任を持ってリサイクルをし、ごみ処理マネージメント改善セミナー、アドバイス、イベント開催、ごみの運搬を 2009 年以降継続し、22 か所のリサイクル場及び輸出業者に提供し再利用資源を供給する目的で活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1,000 回近くのセミナー、アドバイス、啓発活動を地方で開催 ・ 10 名をスタッフとして雇用 ・ 22 か所のリサイクル場に再利用資源を提供 ・ 月に 71,000 キロ、21,300 の瓶をごみから再利用 |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |

85. ホミン草原のタヒ NGO

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | ホミン草原のタヒ NGO /Хомын Талын Тахь ТББ/ |
| 設立年 | 2014 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 1 ホロー、ソウルビジネスセンター703 |
| 電話番号 | 976-70004480 |
| E-mail | takhi@ktt.mn |
| URL/Facebook | www.takhi.mn, FB: Khomyn talyn takhi |
| 代表者名 | Ts. ムンフバト |
| 活動内容 | <p>ザブハン県ドゥルブルジン郡に位置するホミン草原を、タヒ（プルジェワルスキー・モウコノウマ）を再野生化するモンゴルで 3 番目の場所として基礎調査に基づき選定し、2000 年からタヒの再野生化準備を開始しました。2004 年にフランスから 12 頭、2005 年に 10 頭、2011 年にチェコから 4 頭、合計 26 頭のタヒを輸送しました。その結果、2021 年時点でタヒの数は 8 つの繁殖群に属する約 120 頭になり、成功裏に再野生化しました。</p> <p>ホミン草原は、2020 年 5 月 7 日の国会決議第 46 号により特別保護地域ネットワークに含まれ、ドゥルブルジン郡のオンツ、タワントルゴイ、ポーラルといった地域にまたがる 411, 403. 80 ヘクタールの地域が自然複合地域として国家の特別保護下に置かれました。</p> <p>2004 年からはタヒの再野生化と自然保護の取り組みが「タヒ・プロジェクト」という名称で始まり、2014 年には「ホミン草原のタヒ」NGO が設立されました。そして 2016 年にはフランスのタヒ保護協会からその活動を引き継ぎました。</p> <p>当団体には 14 名の職員が在籍しており、そのうち 10 名はホミン草原でタヒの調査、モニタリング、及び生息環境の保護に携わっています。残りの 4 名はウランバートル市において組織の発展、協力関係、管理、資金調達、人事、研究活動指導を担当しています。職員の 50%以上は自然保護学、エコロジー、生物学などの分野で学士以上の学位を有しています。</p> <p>ホミン草原では、再野生化されたタヒの行動や健康状態を毎日観察・研究し、生息環境を保護しているほか、将来的には野生に放して自然の中で自立的に生存できる個体群を形成することを目標としています。同時にサイガ、モンゴルガゼル、アイベックスなどの希少・絶滅危惧動物、さらにホミン平原の牧草や植物に関するモニタリング調査も継続的に行い、野生動物の個体数を持続的に増やし、その生息環境を守ることを目的とした持続可能な活動を行っています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ タヒの保護分野でフランスのタヒ保護団体、TNC、WWF、IUCN など ・ 観光発展分野でドイツの「Natucate」社、「Nomadic Journey」社など ・ 特別保護地域マネージメント分野でスイスの「MAVA」基金、「Rolex」基金、ドイツの国際協力団体 (GIZ) の「SPACES」、開発銀行 (KfW) と共同で「生物多様性と気候変動への適応」プロジェクトなどでそれぞれ活動しています。 |
| JICA との協力状況 | なし |



86. 天然魚繁殖者協会 /Chuluut Tul NGO/

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 天然魚繁殖者協会 /Chuluut Tul NGO/ /Байгалийн загас үржүүлэгчдийн холбоо НҮТББ/ |
| 設立年 | 2023 年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区第 18 ホロー、ニューサウザンド 502 |
| 電話番号 | 976-89891809, 976-88881656, 976-88649409 |
| E-mail | info@chuluuttul.org |
| URL/Facebook | Facebook page: Chuluut tul Website: www.chuluuttul.org |
| 代表者名 | E. モロルエルデネ |
| 活動内容 | <p>私たちは天然資源を適切な水準に保ち、淡水の生態系を守るという目標のために、誠心誠意取り組んでいます。「Chuluut Tul」NGO は、希少魚である Tul（イトウ、Hucho taimen）やその他の魚類を保護し、再野生化と繁殖を行い、自然環境を保護する目的で、2019 年に有志のボランティアによって設立されました。活動を拡大するため、2023 年からは「天然魚繁殖者協会」NGO として活動を継続しています。</p> <p>モンゴル国内すべての水域において、絶滅危惧種や希少な魚類を保護・再野生化し、水域とその生態系を守り、魚が自然のままに成長・繁殖できる環境を整えることを目指しています。管理・保護下になく放置されたセルンゲ川源流のチョロート川流域において、保護と調査研究を含む総合的な取り組みを段階的に策定し、「Chuluut Tul」プロジェクトを実施しています。2019 年以降、私たちはアルハンガイ県タリアト郡にある、完全に設備の整った研究所で人工的に繁殖させた約 225 万尾以上の稚魚をチョロート川流域に放流してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |



87. 麻薬・薬物から国民を守る会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 麻薬・薬物から国民を守る会 /Хар тамхи, мансууруулах бодисоос иргэдийг хамгаалах нийгэмлэг ТББ/ |
| 設立年 | 1999年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第2ホロー、イフトイロー15-1、レンタロン・ビル219 |
| 電話番号 | 976-99199228 |
| E-mail | appdomongolia@gmail.com, shikhagvasuren2014@yahoo.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/appdomongolia |
| 代表者名 | Shi. ラハグワスレン |
| 活動内容 | <p>麻薬・薬物から国民を守る会の目的は、酒、タバコ、薬物なしの健康的な環境をつくり、HIV、性病を予防し、薬物のない国、国民になる、健康的な生活習慣を身に付け、人道的民主主義社会の発展に貢献することが目的です。</p> <p>このために、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 酒、タバコ、麻薬・薬物の使用状況を明らかにするアセスメント調査を行い、酒、タバコ、薬物の悪影響、隠れた使用を予防し、健康な環境を作るのに意義がある研修やセミナーを開催します。 2. 青少年の麻薬・薬物使用を予防し、使用してしまった青少年や女性の習慣的行動を変える研修を行い、悪習慣を払しょくさせます。 3. 薬物使用者を対象に悪影響を減らすためのプログラム、健康教育の向上、鍼灸を通じた使用防止、性病予防研修、HIVに対して自発的に検査や助言を受けさせ、常習行動を変える研修を行い、心理的アドバイスや麻薬の被害についての知識教育を与え、さらなる使用を防止します。 |
| 日本・各国との協力状況 | <p>1999年の設立以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル・オーストラリア開発協力プログラム SAS ・WHOの支援で PAF プログラム ・国連 UNODC の支援で「薬物のないモンゴル国」DAPC プロジェクト ・保健省、グローバル基金の支援で HIV、結核プロジェクト ・法務内務省、犯罪防止調整委員会、ウランバートル市健康局、モンゴル女性基金、オーストラリア開発協力 CAB、SAF プロジェクト ・保健省、保健支援基金、ウランバートル市議会、犯罪防止調整委員会、ウランバートル市長事務局によるマスタートレーナー育成プロジェクト ・国連人口基金、生殖保健 NGO ネットワーク、アドラ国際機関、モンゴル家族の幸せ協会、警察庁などの支援で 51 件のプロジェクトを実施 ・2000年に在モンゴル日本大使館と協力し、草の根・人間の安全保障無償資金協力で 16,739 ドルの技術、設備支援を受け、事業強化できました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



88. サンライズ・ハーフウェイ・ハウス福祉サービスセンター

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | サンライズ・ハーフウェイ・ハウス福祉サービスセンター /Санрайз халфвэй хаус халамж үйлчилгээний төв нийгэмд үйлчилдэг төрийн бус байгууллага/ |
| 設立年 | 2014年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第2ホロー、平和大通り第4地区3-44 |
| 電話番号 | 976-91918132 |
| E-mail | tumee_b2000@yahoo.com |
| URL/Facebook | Донтох эмгэгийн мэдээлэл |
| 代表者名 | B. トウメンデムベレル |
| 活動内容 | <p>WHO、国連薬物乱用管理局の政策、モンゴル国アルコール依存症対策法、麻薬・薬物流通規制法、精神衛生に関する法をそれぞれ方針として、行政機関や国際的に同様の活動を行う団体と協力しています。私たちは次の目標を掲げ、活動を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 依存症に対する支援サービスを普及させ、質を改善する <ul style="list-style-type: none"> ・酒、タバコ、薬物使用者に社会的・精神的支援や助言を行うアドバイザー育成研修を開催、これまでに400名のアドバイザーを育成しました。 ・ホームレスのアルコール依存症患者に、メンタル支援サービスを行っています。 2. 精神病・依存症についての健康教育を行い、知識を高め、予防する <ul style="list-style-type: none"> ・青少年に酒、タバコ、薬物の予防研修を行い、番組を作成し、社会的啓発を行っています。 3. 依存症患者向け社会福祉サービスシステムを改善する <ul style="list-style-type: none"> ・政策決定・政策作成レベルの人々に問題について情報提供し、法的環境を整えるために活動を行っています。 ・依存症分野で活動を行っているアメリカと日本のNGOと協力し、諸国の経験を母国で普及させる目的で活動しています。 |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・2007年に大阪市のMAC (Mary knoll Alcoholic Center) NGOの活動を視察する機会に恵まれました。依存症患者を回復させる社会福祉制度を知り、モンゴルで普及させたいと思いました。その時から同様の活動を行っている日本のNGOと関係ができました。 ・2018年に横浜市のRDP (Recovery Dynamic Program Yokoyama) プログラム実施NGO団体の活動を視察・調査しました。2021年から横浜市のY-ARAN NGOと協力しています。 |
| JICAとの協力状況 | なし |



89. Монгол 養蜂家協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル養蜂家協会 /Монголын зөгийчдийн нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 1991 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 25 地区、マルガド・タウン 1 |
| 電話番号 | 976-90111141 |
| E-mail | Ttuya24@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/MongolianBeekeepersAssocaiton |
| 代表者名 | トヤ |
| 活動内容 | 養蜂家、養蜂業を行っている住民、企業、団体が職員の権益を守り、生活レベルを保障するのを援助・支援し、科学の倫理と実践を組み合わせ、養蜂業の発展を支援しています。 |
| 日本・各国との協力状況 | 日本の国際農林業協働協会 (JAICAF)、 BeeDeep-Mongol I. II |
| JICA との協力状況 | 草の根技術協力プロジェクト「地方での生計維持を目指した養蜂振興プロジェクト」「市場志向型の養蜂振興プロジェクト」 |

БИДНИЙ ХИЙСЭН АЖИЛ

1. Бодлого, өмгөөлөл, бизнес хөгжлийн чиглэлээр:

- 2014 онд ХХААХУЯм, Дэлхийн Зөн ОУБ -тай хамтын ажиллагааны санамж бичигт гарын үсэг зурсан.
- 2015 оноос Монгол зөгийн балны гарал үүсэл чанар стандартын хангуулах тал дээр Улсын мал эмнэлэг арин цэврийн төв лаборатори хамтран ажиллаж байна.
- 2015 оноос "JAICAF" ОУБ-тай хамтран зөгийн аж ахуйн технологи дамжуулах төслийг хэрэгжүүлсэн
- 2015 оноос Монгол улсад зөгийн аж ахуйн кластерийг хөгжүүлэх, зөгийн аж ахуйн нэгжүүдийн чадавхийг нэмэгдүүлэх, зөгийн балны үйлдвэрлэл, борлуулалтыг дэмжих зорилгоор "Аравт бизнес нэгдэл" ТББ, "Гайгурт" ХХК-тай хамтран ажиллаж байна.
- 2016 онд Органик хүнсний тухай хуулийн ажлын хэсэгт ажиллаж, Органик зөгийн аж ахуйн эсүүрийг батлуулсан.
- 2016 оноос Дэлхийн Зөгийчдийн Холбоо болох Apimondia ОУБ-д гишүүнээр элсэн.
- 2017 оноос Зөгийн аж ахуйн нэмүү орлогийн сүүжээг бий болгох АХБ-ын төсөөс санхүүжилт босгосон.
- 2017 оноос Европын сэргээн босголт хөгжлийн банкны санхүүжилтаар Жижиг Бизнесийн Санаачлага хөтөлбөрийн "Монголд үр дүнтэй, бизнес гишүүчлэлтэй байгууллагуудыг хөгжүүлэх" төсөл хэрэгжэж байна.

Сургалт, хөгжил, зөвлөгөө чиглэлээр:

- 2013 онд ОХУ-ын Башкир улсын "Зөгийн эрдэм шинжлэлийн судалгааны төв"-тэй нягт хамтын ажиллагаатай ажиллаж турсласа салчихо аялал зохион байгуулсан.
- 2014 оноос Сэлэнгэ аймгийн Шаамар суман дахь МСУТов болон Хөдөлмөрийн яамтай хамтран Зөгийн аж ахуйн сургалтын хөтөлбөр боловсруулсан.
- 2014 онд Турк улсад Азийн зөгийн аж ахуйн холбооны баяр хуралд оролцов.
- 2014-2016 онд НҮБ-ийн Хүнс ХАА Байгууллагын Өмнө-Өмнөдийн хамтын ажиллагааны төслийн хүрээнд зөгийчдэд бэл хэзүүр, тусгаарлах тор, сэмжээр ханган ажилласан.
- 2015 онд Солонгос улсын Даеjeон хотноо болсон "Apimondia-44" их хуралд төлөөлөгчид оролцогдсон.
- 2017 онд Турк улсын Истанбул хотод "Apimondia-45" их хуралд оролцов
- 2018 оноос Боловсролын үнэлгээний төвтэй хамтран зөгийчин мэргэжлийн сургалтын үнэлгээг тогтоох судалгааны ажил явагдаж байна.

2. Чуулган, семинар, аяны чиглэлээр:

- 2013 онд Монголын Зөгийчдийн III чуулган
- 2014 онд Зөгийчдийн Удирдах ажилтны семинар
- 2015 онд "Гайхамшигийн хамтдаа бүтээ" симпозиум
- 2015 онд "Зөгийн аж ахуйн зөвлөхүүдийн бэлтгэх" сургалт
- 2016 онд "Халбага зөгийн бэл аян"
- 2017 онд "Зөгийн балны баяр"
- 2018 онд "Монголын Зөгийн аж ахуйн Кластерийн хөгжлийн"

ХАМТРАН АЖИЛЛАЖ БҮЙ БАЙГУУЛЛАГУУД

ОРОЛЦСОН ОЛОН УЛСЫН ИХ ХУРЛУУД

КОЛБОО БАРИХ

УБ, СБД, 11-р хороолол
Чингис Хаан Их сургууль
402 тоот

www.monapi.mn

Монголын
Зөгийчдийн Нийгэмлэг

7000-1244

Дэлхийг тэтгэх зөгий

ДЭЛХИЙН ЗӨГИЙЧДИЙН
КОЛБООНЫ ГИШҮҮН БАЙГУУЛЛАГА

90. モンゴル農業進歩協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル農業進歩協会 /Монголын хөдөө аж ахуйн дэвшил холбоо/ |
| 設立年 | 2015年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区第3ホロー、シャラブ 32-2-194 |
| 電話番号 | 976-99187266, 976-89993006 |
| E-mail | Jangaa.d89@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/groups/1684093911805719 |
| 代表者名 | D. ジャンツァンホロル |
| 活動内容 | <p>モンゴル農業進歩協会は2015年8月12日に設立された、地域社会に奉仕するNGOです。モンゴル農業進歩協会の会員の54.2%は博士、教授、准教授であり、41.7%は修士の学位を取得しています。会員全体の91.7%は、関係省庁、機関、研修・研究機関、国際機関、非政府組織の管理職に就いた経験があるか現在就いている人々であり、8.3%は民間セクターで働く優れた知識、経験、専門スキルを持つ人々です。</p> <p>私たちの目的は、農業と食品生産に科学的な成果と国内外の先進技術を導入し、集約的な農業と食品生産を組み合わせた伝統的な牧畜と環境に優しい農業を発展させ、有機食品の生産を増やすために専門的かつ方法論的な支援を提供し、農業と食品分野の発展の道筋を決定するための政策アドバイスを提供することです。次の方針を基本に活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修・研究機関と協力し、畜産、農業、食品分野における先進技術およびバイオテクノロジーの成果の導入を実施する。 ・ 環境に配慮した農業生産および製品供給の開発において、専門的な支援を提供する。 ・ モンゴルの牧畜・遊牧文明に関連して生み出された伝統的な食品および食品を研究し、その価値と利点を国内外で普及させる。 |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICAとの協力状況 | JICA 帰国研修生同窓会が「ビニールハウス野菜、果実栽培技術を家庭菜園に普及させ、消費を増やす」というテーマで研修セミナーをモンゴル農業進歩協会と共同で、2019年11月29日に食糧農業軽工業省で開催しました。 |



91. モンゴル果実協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル果実協会 /Монголын жимс жимсгэний үндэсний холбоо/ |
| 設立年 | 2016年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第1ホロー、AZMON センター503 |
| 電話番号 | 976-70156339, 976-99116339 |
| E-mail | mongolfruits@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/mongolfruits/ |
| 代表者名 | T. ナサンジャルガル |
| 活動内容 | <p>私たちは、モンゴル国内におけるチャツアルガン(シーバックソーン、サジー)やその他の果樹・果実の栽培拡大、野生のチャツアルガンや果実資源の保護、果実およびその他の原材料の加工産業・技術の発展、科学的根拠に基づく研究の深化を通じて、国民の食生活における果実および果実由来製品の供給を増やし、さらにこれらの製品を海外市場へ輸出する活動を大規模かつ効果的に推進することを目的とし、政府機関や民間企業、会員、支援者と協力し、サービスを提供しています。</p> <p>2010年以降、研修、調査、面談、展示会、会議、協議会など多岐にわたる活動を通じて、延べ15,000名近くの市民と活動してきました。</p> <p>私たちは政府の「チャツアルガン」国家プログラム案を作成し、所管省庁に提案して承認を得たうえで、2010年から2016年まで共同で実施しました。その成果として、果樹・果実の栽培面積は6,000ヘクタール以上に拡大し、年間収穫量も2,500~3,500トンに増加しています。</p> <p>今後もこの分野の持続的な発展を図るため、所管省庁と協力し政府の「果物」国家プログラムを策定および承認させ、2018年から2022年まで実施しました。</p> <p>また、果実分野の標準や技術・工法に関する文書の改訂、新規作成・承認・普及にも力を入れており、様々な果樹苗や市場に供給する果実およびその製品に関する計22の国家規格を研究者や専門家チームによって策定し、専門機関を通じて承認・施行しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 2011年より国際チャツアルガン協会、2017年より国際栽培植物学会の会員となり、その活動に継続的に参加しています。さらにロシア、中国、ドイツ、日本、韓国、台湾などの海外の研究機関やビジネス団体と幅広い交流関係を築きながら活動しています。 |
| JICAとの協力状況 | なし |



92. モンゴル温室農家協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル温室農家協会 /Монголын хүлэмжийн аж ахуй эрхлэгчдийн холбоо ТББ/ |
| 設立年 | 2012年 |
| 住所 | ウランバートル市ソングノハイルハン区第19ホロー、第21地区2-14 |
| 電話番号 | 976-99131692 |
| E-mail | khulemjkhoolboo@yahoo.com |
| URL/Facebook | Монголын хүлэмжийн аж ахуй эрхлэгчдийн холбоо ТББ |
| 代表者名 | Ya. オユンチメグ |
| 活動内容 | <p>当 NGO は 2012 年に設立され、温室農家の利益を保護し、研修やコンサルティングサービスを提供するなどの活動を継続的にを行っています。私たちは、モンゴル国の 21 県およびウランバートル市の 6 区の 1,500 以上の温室農家、企業、協同組合、グループに対して「温室の種類と葉物野菜や果物・ベリー類を栽培するアグロテクノロジー」をテーマに、理論と実践の研修やコンサルティングサービスを毎年提供してきました。</p> <p>さらに食品・農業・軽工業省、モンゴル国立農業大学、植物・作物研究所と共同で、「温室農業生産の発展、課題、解決策」に関する協議会を開催してきました。この協議会で得られた提言を食料・農業・軽工業省および政府に提出することで、事業者の声を政府の政策に反映させ、彼らの活動を支援する政策決定を後押ししています。この活動の一環として、2016 年には食料・農業・軽工業省からの依頼で「冬用暖房ビニールハウス MNS 6637:2016」と「夏用ビニールハウス MNS 6636:2016」の各規格を策定・承認させ、生産現場に導入しました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 韓国の KOICA、オランダの ENZA ZAIDAN CO.LTD、スイス開発協力庁、ドイツ協力協会 |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「農牧業バリューチェーンマスタープランプロジェクト」 |



93. Mongolia V.E.T Net NGO

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Mongolia V.E.T Net NGO /Монгол Ви.И.Ти.НЕТ ТББ/ |
| 設立年 | 2003 年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区第 2 ホロー145/5 |
| 電話番号 | 976-99073412 |
| E-mail | tsek@vetnetmn.org |
| URL/Facebook | vetnetmn.org |
| 代表者名 | L. ツェレンドルジ |
| 活動内容 | <p>Mongolia V. E. T Net NGO は、1998 年に JCS 国際機関の「Vet Net (獣医ネットワーク)」プロジェクトとして設立されました。当時はアルハンガイ県とウブスハンガイ県で民営化された獣医局を支援する活動を始め、遠隔地の学校や寄宿舎の子どもたちに研修やプロジェクトを実施していました。</p> <p>その後、2003 年に NGO として正式に登録されました。現在、80 名のモンゴル人職員と 4 名の外国人コンサルタントが所属していて、モンゴル全土で 5 つの部署に分かれて活動しています。</p> <p>21 県の獣医師を対象とした獣医継続教育プログラム、獣医薬品・医療品の輸入、小型・大型動物病院および研修センターの運営、獣医学生クラブ、獣医インターンシッププログラム、競走馬に関する研修セミナー、牧民向け研修を行っています。</p> <p>また教育・人文分野の活動として、地方の子ども向けサマースクール、倫理研修、英語研修センター、貧困世帯向け「愛の贈り物」プロジェクト、地方団体と共同プロジェクトを実施しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「公務員及び民間獣医師実践能力強化プロジェクト」 |

94. Green Asia Network

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | Green Asia Network /Ногоон Ази сүлжээ” ОУТББ/ |
| 設立年 | 2007 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 16 ホロー、ダンバダルジャー112/1 |
| 電話番号 | 976-78101432 |
| E-mail | greenasiamn@gmail.com |
| URL/Facebook | Ногоон Ази сүлжээ ТББ |
| 代表者名 | Shin Gi Hu |
| 活動内容 | <p>Green Asia Network は地球規模の気候変動の影響緩和、砂漠化や黄砂の軽減、それらへの適応を目指し、植林、市民協働・協力活動を行う団体です。2007 年に韓国人のウ・ギチョル氏によりモンゴル事務所が設立され、モンゴル環境省と協力協定を締結し、2007 年から継続的に活動している NGO です。</p> <p>現在、植林プロジェクトはアルハンガイ県ウギーノール、ボルガン県バヤンノールとダシンチレン、ドンドゴビ県サンツァガーン、トゥブ県アルガラント、バヤンツォグト、バヤンハンガイ、エルデネといった郡、ウランバートル市のバガノール区とスフバートル区の 10 地域で実施されています。合計 802 ヘクタールの土地に合計 836,726 本の樹木と低木が植えられ、継続的な管理が行われています。さらに温室栽培、樹木育種、シーバックゾーン栽培を通じて、地域住民の生活を支える持続可能な開発モデルが構築されています。</p> <p>私たちはモンゴルと韓国の子どもたち・若者の文化交流を促進するプロジェクトを実施しています。エコツーリズム・プログラムの一環として、何百人もの韓国の子どもたちと若者に、モンゴルの自然環境を実際に体験する機会を提供しています。</p> <p>林業研修センターは 2017 年に設立され、あらゆる年齢層を対象とした環境研修を提供しています。この研修センターの目標は、気候変動、それに伴う砂漠化、そして黄砂嵐についての市民や若者の意識を高め、気候危機に適応し、協力し、豊かな暮らしを送るための機会を提供することです。</p> <p>韓国の KOICA の支援を受け、「果樹農家研修・生産センター」が開設されました。センター設立の目的は、地方の植林従事者が収穫したシーバックゾーンの実をこの工場に供給することで収入を増やし、自営業の機会を増やすとともに、シーバックゾーンを使ったブランド商品を生産してモンゴル国内外の市場に参入させることです。この活動は子ども、若者、そして市民が自発的に植林や植樹に参加できるようにすることを目指しており、その数は年々増加しています。特に、Green Asia Network 所属の学生グループ「My club」と「Green friends」がこの取り組みに積極的に参加しています。近年、地方の植林現場では、中学校と連携して学生労働キャンプを開催することに成功しています。この自発的な植林イベントは子どもや若者にエコ教育を提供し、自然環境への愛を育む上で非常に重要です。</p> <p>Green Asia Network は首都のゲル地区の緑地を増やし、大気汚染を軽減するための多くのプロジェクトを実施しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>1999 年に横浜大学と共催で「東アジアの未来」をテーマとした国際会議が開催され、韓国、日本、中国、モンゴル、台湾の NGO、環境専門家、関係政府関係者が参加しました。会議では砂漠化、永久凍土研究、メタンガス排出による温暖化、海洋汚染、沿岸都市といった問題が取り上げられました。この会議で決定された最初のプロジェクトは、モンゴルにおける砂漠化を軽減し、地域社会の共同作業を通じて気候変動に適応するプロジェクトでした。</p> <p>KOICA と協力し、環境・社会分野を対象としたプロジェクトやプログラムを実施しています。</p> |
| JICA との協力状況 | なし |



95. 人権開発センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 人権開発センター /Хүний эрх хөгжил төв/ |
| 設立年 | 1998年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第3ホロー、平和大通り54、ピースタワー1103 |
| 電話番号 | 976-11325721, 9716-11319037 |
| E-mail | chrd@mongolnet.mn |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/chrd.mongolnet |
| 代表者名 | G. オランツォージ、U. マンドハイツェツェン |
| 活動内容 | <p>私たちは地域社会が意思決定に参加し、実施状況を監視、評価し、説明責任を果たすための集団的能力の開発を支援しています。</p> <p>以下の3つの分野で活動しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人権アドボカシープログラム 2. 人権保護プログラム 3. コミュニティベースの開発プログラム |
| 日本・各国との協力状況 | 日本の JANIC、韓国の ADA、タイの FA、PANAP、ROA、CPDE、ANNI、IBON |
| JICA との協力状況 | なし |



96. トゥゲメール権利開発

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | トゥゲメール権利開発 /Түгээмэл эрх хөгжил НҮТББ/ |
| 設立年 | 2014年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第8ホロー、若者通り9-B01 |
| 電話番号 | 976-99088306 |
| E-mail | saruul@urdinstitute.com |
| URL/Facebook | www.urdinstitute.com |
| 代表者名 | T. サロール |
| 活動内容 | <p>当 NGO は人権研究を専門とする弁護士と研究者のグループによって、2014年に設立されました。</p> <p>組織の使命は人権、自由、そして民主的で自由な社会の原則を尊重しつつ、人権の保護と促進、そして法的価値の強化に貢献することです（ユニバーサル・ライツ NGO 憲章第2条第1項）。この使命の枠組みの中で、私たちは独立した研究、研修、国際会議の開催、コンサルティングサービスの提供、そして公共の利益を守るための戦略的アドボカシー活動に特化した機関となることを目指しています。私たちの活動のもう一つの特徴は、芸術と文化を通して人権を促進するアドボカシー活動を展開していることです。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 設立以来、国際的な法、人権分野で年間1回以上、国際及び全国規模の会議、アドボカシー活動を開催してきました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



97. Volunteer Development Center

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | Volunteer Development Center /Сайн дурынхны хөгжлийн төв НҮТББ/ |
| 設立年 | 2009 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、北京通り HUB イノベーションセンター2 階 |
| 電話番号 | 976-99019645 |
| E-mail | Vdcenter.ngo@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/VolunteerDevelopmentCenter |
| 代表者名 | M. ビャンバト |
| 活動内容 | Volunteer development Center は 2009 年に設立されました。子どもと若者を対象として活動しており、15 歳から 30 歳までの若者が中心となって運営しています。私たちは、社会のあらゆる分野で活躍できるボランティアを育成し、彼らの参加を通して社会の発展に貢献することを目指しています。 |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |



98. モンゴル神経学会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル神経学会 /Монголын неврологийн нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 2014 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区、国立教育大学交差点南、UBH Center315 |
| 電話番号 | 976-99233332 |
| E-mail | info@mongolianneurology.org |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/mongolianneurology/ |
| 代表者名 | P. ソヨルマー |
| 活動内容 | <p>モンゴル神経学会はモンゴルの神経内科医、教師、研究者から構成され、会員の知識、スキル、連携を強化するための研修・研究活動を行い、会員向けサービスを提供し、会員の権利を尊重し活動している NGO です。現在、300 名以上の神経内科医が会員となっています。</p> <p>私たちの使命は、モンゴルの神経内科医の知識とスキルを集結し、国内外の医師との連携と協力を発展させることを通じて、神経疾患の医療サービスを改善し、モンゴル国の保健分野に貢献することです。</p> <p>私たちは主に、神経内科医向けの各種研修コースの開催、神経医療サービス向上のためのプロジェクトの実施、資格認定試験の実施、専門誌やマニュアルの発行、ドイツ、日本、韓国の専門協会との連携、研究・科学調査の実施、一般市民向けイベントの開催などを行っています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |



99. 心理学ナショナルセンター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | 心理学ナショナルセンター /Сэгтэл судлалын үндэсний төв ТББ/ |
| 設立年 | 2010年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第1ホロー、ビジネスプラザ 505 |
| 電話番号 | 976-77324233 |
| E-mail | psychology.npc@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/NationalPsychologyCenter |
| 代表者名 | B. オーガンツェツェグ |
| 活動内容 | 心理学ナショナルセンターは心理学の科学を発展・普及させ、日常生活に取り入れるという目標のもと、継続的に活動を続けてきた最も歴史のある専門組織のひとつです。当センターは理論と実践を合わせ、個人、子ども、家族、団体にカウンセリングサービスを提供しています。個別およびグループカウンセリング、カウンセリングセミナー、研究、アドボカシー活動を行っています。 社会の心理教育のために、専門家向けの心理学書籍やガイドを作成・提供しています。 |
| 日本・各国との協力状況 | World Vision、Good Neighbors、カリタス・モンゴル NGO、ドイツの協力協会 GIZ と協力しています。カウンセリング、カウンセリングセミナー、プログラムを共同実施しています。 |
| JICA との協力状況 | 草の根技術協力事業「モンゴルにおける子どもの権利・保護法成立後の要保護児童支援制度定着化支援事業」案件にて「ポジティブ・ディシプリン」セミナー共同実施 |



100. オビダス心理センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | オビダス心理センター /Увидас сэтгэл зүйн төв/ |
| 設立年 | 2003年 |
| 住所 | ウランバートル市ハンオール区第1ホロー、15-4 |
| 電話番号 | 976-95863958 |
| E-mail | uvdiscenter@gmail.com |
| URL/Facebook | Ariunaa Uvdis |
| 代表者名 | I. アリウナー |
| 活動内容 | <p>私たちは市民および障害者に総合的なカウンセリングサービスを提供することで、彼らの生活の質を向上させることを目標に、次の活動を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. カウンセリング、心理療法、心理診断の提供 2. 就労支援 3. 様々な社会問題に関する研修セミナーの開催（心理教育、保健教育、音楽教育、起業家教育など） 4. 支援グループの運営 <p>私たちは設立以来、モンゴル保健省、環境省、WHO、労働社会保障省、オユトルゴイ社、WWF と契約に基づき活動してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICA との協力状況 | なし |



101. イウェール・ツォグツ開発センター

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | イウェール・ツォグツ開発センター /Ивээл цогц хөгжил төв ТББ/ |
| 設立年 | 2014年 |
| 住所 | ウランバートル市ソングノハイルハン区第31ホロー、ハイルハン5 |
| 電話番号 | 976-89985394, 976-99777261 |
| E-mail | dmdora_7@yahoo.com |
| URL/Facebook | Holistic Blessing Development NGO |
| 代表者名 | |
| 活動内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己啓発セミナー実施 2. カウンセリング、セミナー開催 3. 研究・研修プログラムの開発 4. プロジェクトプログラム実施 5. 子ども、若者、保護者向けの研修プログラム実施 6. 障害のある会員の介護者向けセミナー実施、アドバイス |
| 日本・各国との協力状況 | なし |
| JICAとの協力状況 | なし |



102. モンゴル家族の幸せ協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル家族の幸せ協会 /Монголын гэр бүлийн сайн сайхны нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 1994 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 3 ホロー、ピースタワー909 |
| 電話番号 | 976-70183514 |
| E-mail | info@mfwamn |
| URL/Facebook | www.mfwamn. https://www.facebook.com/mfwamn |
| 代表者名 | B. ムンフツェツェグ |
| 活動内容 | <p>当協会は 1994 年に設立され、県および郡の 15 の支部、10 の青少年センター、婦人科クリニック、ボランティア会員、若者たちを通じて、性と生殖に関わる健康と権利に関する教育、啓発、支援、サービスを市民に提供している NGO です。</p> <p>主な活動分野：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 性と生殖に関わる健康と権利の教育を行い、ケアサービス提供政策、法的支援環境の整備 2. 青少年と若者に対し、性と生殖に関わる健康と権利に関する情報を提供し、知識とスキルを習得させる 3. 性と生殖に関わる保健の質の高い包括的なケアサービスを提供する 4. ボランティア、会員、支援者を基盤とした、有能な人材を擁する責任ある組織 |
| 日本・各国との協力状況 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際家族計画連合（IPPF）加盟団体 2. 日本の JOICFP から自転車の寄付をいただき、地方、遠隔地の人々及び低所得者層の人々に供与しました。 3. ハンガリー、カザフスタンの家族計画協会、タイの人口開発協会、国際避妊基金などの機関と協力契約を締結し、活動しました。 |
| JICA との協力状況 | 共同実施したプロジェクトはありませんが、2010 年以前に協会の 4 名の職員が JICA を通じて日本での短期研修に参加しました。 |



103. モンゴル放射線学会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル放射線学会 /Монголын радиологийн нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 1995 年 |
| 住所 | 私書箱 34、支局 48、ウランバートル市 13374 |
| 電話番号 | 976-99063486 |
| E-mail | mongolia.radiology@gmail.com |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/The-Mongolian-Society-of-Radiology-100715675687736 |
| 代表者名 | D. ゴンチグスレン |
| 活動内容 | <p>モンゴル放射線学会は、21 の支部と 500 名以上の会員を擁しています。学会の教員と研究者は、放射線科医の専門資格試験と研修医の卒後試験を独自に実施し、医師の資格取得と向上のためのあらゆる研修コースにおいて主導的な役割を果たしています。支部のひとつであるモンゴル放射線技師協会の活動が拡大し、画像診断機器の数と供給が増加するにつれて、放射線技師の需要と、その知識と教育の向上の必要性が高まっています。</p> <p>活動分野：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 画像診断の研修と研究 ・ モンゴル放射線学ジャーナル ・ 会員育成 ・ 医療従事者向けの大学院研修 ・ 国際学会との共同研修および協議 |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Asian Oceanian Society of Radiology ・ Japanese Society of Radiology ・ Korean Society of Radiology ・ Radiology Across Borders <p>上記団体とセミナー、協議会、共同研究の分野で協力しています。</p> |
| JICA との協力状況 | なし |



104. モンゴル栄養士協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴル栄養士協会 /Хоол зүй, шим судлалын Монголын нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 2007 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 8 ホロー、GB センター201 |
| 電話番号 | 976-99123635, 976-99844021 |
| E-mail | rem145e@must.edu.mn |
| URL/Facebook | https://www.facebook.com/MongolianNutritionSociety https://www.facebook.com/groups/1963398450647759 |
| 代表者名 | G. エンフタイワン |
| 活動内容 | <p>当協会は栄養問題に取り組む専門的な NGO であり、国民の健康の基盤となる栄養状態、食料供給、安全性に関する専門的な助言と支援の提供、行政の政策支援・協力、研修、研究、情報提供、コンサルティングの実施、国内外の関係構築を通じて会員の活動とイニシアチブを支援し活動しています。</p> <p>私たちは栄養分野で様々な活動を行っていますが、主な分野は幼稚園児や生徒の食事の質と栄養の向上、そして人材育成の強化です。モンゴルの義務教育学校における給食法を提唱し、批准に尽力してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <p>世界栄養科学連盟 (IUNS)、アジア委員会の加盟団体です。</p> <p>The Japanese Society of Nutrition and Dietetics、British Nutrition Society、Chinese Nutrition Society、Korean Nutrition Society と MOU を締結しました。IUNS、FANS 専門の協力機関の活動を支援し、4 年ごとに大会議及びその他会議、協議会に継続的に参加しています。</p> |
| JICA との協力状況 | 2023~2025 年に JICA 協力隊員 (栄養士) が配属され、共に活動しました。 |



105. モンゴル麻酔科医協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル麻酔科医協会 /Монголын мэдээгүйжүүлэгч эмч нарын нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 2002 年 |
| 住所 | ウランバートル市チンゲルテイ区第 4 ホロー、バガトイロー-306 |
| 電話番号 | 976-88081072 |
| E-mail | khurelochirt@gmail.com |
| URL/Facebook | Mongolian Anaesthesia Group |
| 代表者名 | |
| 活動内容 | モンゴルの麻酔科医の権利を保護するボランティアの NGO で、専門分野の研修を開催し、専門性を向上させる活動を行っています。 |
| 日本・各国との協力状況 | 世界麻酔科医協会加盟 |
| JICA との協力状況 | なし |

106. オルビス・モンゴル事務所

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | オルビス・モンゴル事務所 /Орбис ОУБ-н Монгол дахь салбар төлөөлөгчийн газар/ |
| 設立年 | 2021年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第3ホロー、第5地区トゥグルドウル・オフィス4階 |
| 電話番号 | 976-99186985 |
| E-mail | Chimgee.chuluunkhuu@orbis.org |
| URL/Facebook | |
| 代表者名 | Chi. チムゲー |
| 活動内容 | 医療機関と連携し、小児および成人の眼科医療サービスの向上を目指し、プロジェクトを実施しています。プロジェクトでは医師や医療専門家の研修、病院への設備供与、眼科医療サービス制度の改善といった活動を行っています。 |
| 日本・各国との協力状況 | 現在、日本との協力はありません。オルビスは米国ニューヨークに本部を置き、IDBプロジェクトを実施している各国と協力しています。 |
| JICAとの協力状況 | なし |



107. モンゴルアートセラピー専門協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | モンゴルアートセラピー専門協会 /Монголын урлагийн сэтгэл заслын мэргэжлийн холбоо/ |
| 設立年 | 2017年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第13地区、40A-5 |
| 電話番号 | 976-99122858 |
| E-mail | Bereearththerapy@gmail.com |
| URL/Facebook | Mongolian Professional Art Therapy Association |
| 代表者名 | V. ベルツェツェグ |
| 活動内容 | <p>私たちは2017年から継続的に活動しています。2017年から2022年3月までのセミナー参加人数と時間は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なアートセラピー手法に関する研修；724名、576時間 ・いじめや暴力の防止と防止に関する研修とアドボカシー活動；1,695名の児童、254時間、1,949名の教師、174時間、1,378名の保護者、147時間 ・広報活動、オンライン会議、ディスカッション；8万人以上が参加 ・アートセラピープログラム；511名、285時間 ・その他の研修（コミュニケーション、倫理）；150名、22時間の研修 <p>現在実施中のプロジェクトと活動は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なアートセラピー手法の研修 ・幼児の社会的・心理的コミュニケーションスキルを向上させる「Touching the Bank」プログラム ・いじめ、暴力、差別を防止し、保護と対応をするために子ども、保護者、教師の協力を改善する「BANKHAR ART THERAPY」プロジェクト ・幼児および青少年向けの「Dream Wing」アートセラピープログラム ・ストレス軽減のためのアートセラピープログラム ・組織および地域社会へのコンサルティングサービス ・ポジティブ・ディシプリン研修 |
| 日本・各国との協力状況 | UNICEF、UNFPA、World Vision |
| JICAとの協力状況 | なし |



108. モンゴル看護師協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル看護師協会 /Монголын сувилагчдын нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 1996年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区、平和大通り 49 |
| 電話番号 | 976-99263317, 976-95221001, 976-91910830 |
| E-mail | Nyamsuranmna@gmail.com , urnaa0830mna@yahoo.com |
| URL/Facebook | Монголын Сувилагчдын Нийгэмлэг |
| 代表者名 | D. ニヤムスレン |
| 活動内容 | <p>1996年から継続して活動している、モンゴルで最も古い協会です。1997年10月25日、モンゴル法務省に登録番号1008978でNGOとして登録され、証明書番号23を取得し法人としての活動を開始しました。72の支部と9,500名以上の会員を有するモンゴル看護師協会は、会員の共通の利益の保護、看護師の知識、教育、技能の向上、科学研究と創造活動の支援、そして公衆衛生の発展を目的として活動しています。2000年5月26日、第1回大会で「看護師の誓い」と「看護師の倫理」が採択されました。</p> <p>2001年、スイスに本部を置く国際看護師協会の正式会員となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年ごとに全国大会やカンファレンスを開催しています。 ・2年ごとにカンファレンスを開催し、活動内容を決定しています。 ・毎年5月12日は国際看護師の日として、看護師の声を政府に届け、看護師の創造的な活動を支援し、看護師を表彰しています。 ・国内外のパートナー団体と協力し、毎年国際看護研究会議を開催しています。 ・2年ごとに所属医療機関の看護師によるスポーツ大会を開催しています。 ・看護師を称えるために「看護師さん、ありがとう」「ベストシンガーナース」「美しい看護師」「私の目から見た看護師」などのコンサート、コンテスト、ミュージックビデオ、ノンフィクション映画製作等を行っています。 ・「看護管理カンファレンス」を毎年開催しています。 ・新卒看護師を対象とした「宣誓式・制帽式」を毎年開催しています。 ・保健省、保健開発センター、JICA、その他国内外のパートナー機関と連携し、15の分野にわたる看護師向けの長期・短期研修を、教室、職場、オンライン、遠隔教育を通じて実施しています。 ・看護師の専門能力向上と社会課題への対応を支援するため、看護師資格試験を毎年実施しています。 ・看護師の知識とスキルの向上のため、資格試験対策集、マニュアル、患者の体調アセスメントと病歴聴取の方法、手指衛生、COVID-19感染制御と予防、患者の転倒・外傷予防、新人看護師向けのハンドブックやパンフレットを看護師に発行・配布しています。 ・新聞「看護」を季刊で発行しています。 ・韓国、日本、ドイツ、中国、ロシア、台湾などの国々との協力体制の中で、経験交換を行い、看護師の知識とスキルの向上に努めています。 |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・「新人看護師」ハンドブックを出版し、35の団体と看護師らに、全10回800名を対象に研修セミナーを開催しました。 ・「高齢者介護」テーマで家庭保健センターを対象に医師、看護師研修を100名に行いました。 ・「新人看護師研修」全5回の研修に500名を対象に開催しました。 ・「母子応急処置サービス」研修を地方で開催しました。 |
| JICAとの協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・「手の衛生」ハンドブックを出版し、80の保健機関に配布し、研修を開催しました。 ・「新人看護師」ハンドブックを作成し、地区病院に配布し、研修を開催しました。 ・「新型コロナウイルス監視と予防」書籍を地方、地区、中央病院に配布し、全8回の研修を開催しました。「新型コロナウイルスの監視と予防」11のテーマのビデオ動画を作成しました。 ・2023～2025年JICA協力隊員（看護師）が配属され、共に活動しました。 |

109. エレグセグ・オルシホイ

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | エレグセグ・オルシホイ /Элэгсэг оршуй ТББ/ |
| 設立年 | 2016年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンゴル区第10地区、トド・レド・センター1階 |
| 電話番号 | 976-88055545 |
| E-mail | zaya87654@gmail.com |
| URL/Facebook | Эпилепситэй иргэдийн ТББ |
| 代表者名 | D. バトザヤ |
| 活動内容 | てんかん患者の薬物療法、リハビリサービス、就労支援、患者の家族間における経験共有目的の会合開催などを行っています。 |
| 日本・各国との協力状況 | JCI、Epilepsy Day |
| JICA との協力状況 | 案内があったイベントなどに積極的に参加しています。 |



110. プロフェッショナル協力協会

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | プロフェッショナル協力協会 /Монголын мэргэжилтэн хоорондын хамтын ажиллагааны нийгэмлэг/ |
| 設立年 | 2021 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 6 ホロー |
| 電話番号 | 976-77142855 |
| E-mail | Azjargal.b@mnumns.edu.mn |
| URL/Facebook | Mongolian Association of Interprofessional Education & Collaboration Create @Username · Educational Research Center |
| 代表者名 | B. アズジャルガル |
| 活動内容 | <p>専門職連携スキルの包括的なトレーニングを行い、新しいアイデアを導入し、エビデンスに基づく活動を組織し、研究プロジェクトを実施する研修・研究機関です。</p> <p>主な活動分野：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療従事者養成学校における能力開発研修プログラムの企画、導入、および研究の実施 2. 医療機関における多職種チーム向けの研修の企画、導入、および研究の実施 3. 国立医科大学の教員および学生の研修の企画、導入、および研究の実施 <p>実績：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生学術会議を Nursing&IPT students club と共同で 2 回開催。 2. 国立医科大学学生を対象に全 4 回の研修を実施。 3. メンター教員向け研修会を 1 回開催。 4. 国際誌で論文を 5 本発表。 |
| 日本・各国との協力状況 | アジア太平洋インタープロフェッショナル協会、世界インタープロフェッショナル協会 |
| JICA との協力状況 | なし |



111. モンゴル助産師協会

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | モンゴル助産師協会 /Монголын эх бхригчдын холбоо/ |
| 設立年 | 2006 年 |
| 住所 | 国立第 2 産院（フレー産院）内 |
| 電話番号 | 976-99165858 |
| E-mail | mongolianmidwivesassociation@gmail.com davaasurenserdamba888@gmail.com |
| URL/Facebook | Монголын эх баригчдын нийгэмлэг |
| 代表者名 | S. ダワースレン |
| 活動内容 | <p>モンゴル助産師協会は助産師の知識と専門スキルの向上、専門資格取得、学術研究活動の拡大、専門的・管理的方法の提供、権利の保護、住民への産科ケアの質とアクセスの向上、家族計画と公衆衛生の発展、助産師活動の活性化への貢献を目的として活動する NGO です。モンゴル助産師協会は 21 の県、360 の郡、ウランバートル市の 9 区の助産師らの代表、1,000 名以上の会員を有する独立した非政府組織です。モンゴルでは 1,067 名の助産師が働いており、そのうち 39.6%が郡の保健センターと郡内の病院、24.4%が総合病院、地区保健センター、産科病院、15.3%がインフォメーション・センターで助産サービスを提供しています。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年に国際助産師協会に正式加盟し、協力関係を築いています。 ・ 2014 年には日本助産師会との関係を構築し、2015 年にはモンゴルの助産分野が直面している課題の一つである妊娠肥満と巨大胎児の問題に焦点を当てた「Twinning」プロジェクトを成功裏に立ち上げ、2017 年と 2018 年には「モンゴルにおける妊娠肥満の現状」をテーマにした全国調査研究を成功裏に実施しました。モンゴル助産師協会の幹部、九州大学の医師、教授らと協力し、「妊娠期の肥満予防における助産師の介入」をテーマにした研修・協議会を 3 年連続で開催し、上記研究の成果を発表しました。このプロジェクトの枠組みの中で、「妊娠期の肥満予防」に関するガイドとパンフレットが作成・出版され、医療機関に配布されました。さらに、Android モバイルアプリケーション「Happy Baby, Healthy Mom」も開発されました。 ・2016 年から 2018 年にかけて、フランスの NGO サンテソーと協力し、「助産師の能力強化」プロジェクトに取り組みました。 ・2019 年には、国際ロータリー財団、宜野湾ロータリークラブ、横浜金沢ロータリークラブ、モンゴル・トールロータリークラブ、モンゴル助産師連盟が「Happy birth&Happy baby」プロジェクトを実施し、プロジェクトの枠組みの中で「新生児心肺蘇生法」の国内指導者を育成し、助産師の実地研修を実施しました。このプロジェクトでは、合計 110 人の指導者と合計 1,450 人の助産師が「新生児心肺蘇生法」の研修を受けました。 ・2020-2021 年度は、東京助産師会と共同で、コロナ禍における日本とモンゴルの「新しい生活を迎える文化」の支援と、助産師の専門教育の向上を目指したプロジェクトを実施しました。本プロジェクトの目標は、モンゴル助産師協会と日本助産師協会の協力を通じて、モンゴル・日本の助産支援サービスの現状を盛り込んだビデオ動画を作成し、ビデオ動画に基づいたオンライン協議を行い、両国の文化の違いを相互理解すること、助産支援サービスの質を高め、助産師と助産師専門で学んでいる学生たちの教育に貢献することでした。 |
| JICA との協力状況 | 技術協力プロジェクト「医師・看護師卒後研修改善プロジェクト」 |



112. レインボーチルドレン

| | |
|--------------|--|
| 団体名 | レインボーチルドレン /Солонгон хүүхүүд НҮТББ/ |
| 設立年 | 2021 年 |
| 住所 | ウランバートル市スフバートル区第 1 ホロー |
| 電話番号 | 976-99010190 |
| E-mail | Info@rainbow-children.mn |
| URL/Facebook | www.rainbow-children.mn https://www.facebook.com/MongolianMaternityMark |
| 代表者名 | 0. エルデネボルガン、M. バヤルジャルガル |
| 活動内容 | <p>レインボーチルドレン NGO は、母子の健康支援と、母子に優しい社会環境づくりに貢献することを目標としています。この目標達成のため、以下の 2 つの活動をしています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モンゴル版「マタニティマーク」の普及に向けた情報発信、広報活動、アドボカシー活動を行います。妊婦の安全と安心を確保するために作られた「マタニティマーク」は、急速に定住文化へと移行した私たちの社会において、ポジティブな文化の創造と定着に重要な役割を果たすと期待しています。 2. 妊婦・授乳中の母親と青少年のメンタルヘルスを守り、心理的サポートを提供し、カウンセリング活動を行います。 |
| 日本・各国との協力状況 | 母子保健の分野で同様の目標と活動を持つ団体との連携拡大に取り組んでいます。 |
| JICA との協力状況 | 2013 年に JICA モンゴル事務所ボランティア班の支援のもと、モンゴル国立医科大学ダルハン分校看護学部と共協力し、マタニティマークのモンゴル版が承認されました。当時、モンゴルで活動していた看護師、助産師の職種の JICA 隊員と共にマタニティマークの広報活動を計画していましたが、マネージメントや資金、時間の問題で実施できずにいました。今後、マタニティマークのモンゴル版を普及させることに関して、専門や手法の支援を受けて協力する予定です。 |



Жирэмсэн эхийн таних тэмдгийн бүтээгдэхүүн хөгжүүлэлт хийгдэж байна



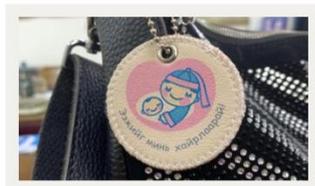
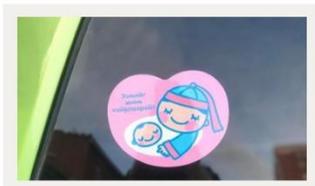
Өрхийн Эрүүл Мэндийн Төвүүдтэй хамтран ажиллаж байна



"Ээжийг минь хайрлаарай" уриан дор таних тэмдгийг олон нийтэд таниулах ажлыг зохион байгуулж байна

ЖИРЭМСЭН ЭХИЙН ТАНИХ ТЭМДЭГ

"Ээжийг минь хайрлаарай" төсөл





ЖИРЭМСЭН ЭХЧҮҮДЭД ЭЭЛТЭЙ АЖЛЫН БАЙР

Ажлын хуваарийг аль болох уян хатан байлгах

Дам тамхидалтанд өртөхөөс сэргийлэх

Ээлтэй, ая тухтай, аюулгүй орчныг бүрдүүлж өгөх

Хортой, хүнд нөхцөлд ажиллуулахгүй байх

ЭЭЛТЭЙ НИЙГМИЙН ТӨЛӨӨ ХАМТДАА

113. ジャルガラ・エドレン高齢者施設

| | |
|--------------|---|
| 団体名 | ジャルガラ・エドレン高齢者施設 “/Жаргалан Эдлэн” НҮТББ Ахмадын асрамжийн газар/ |
| 設立年 | 2019 年 |
| 住所 | ウランバートル市バヤンズルフ区第 11 ホロー、トプチョー9-26 |
| 電話番号 | 976-88636086, 976-88015355 |
| E-mail | Dorjduggerelchuluun@gmail.com |
| URL/Facebook | Жаргалан эдлэн Асрамжийн газар |
| 代表者名 | S. ツェグミド |
| 活動内容 | <p>ジャルガラ・エドレンは、2019 年から高齢者や社会福祉・介護サービスを必要とする人々に対し、介護・福祉サービスを提供している、地域社会に奉仕する非政府組織です。2020 年 3 月に正式に地域社会に奉仕する非政府組織として設立され、年間を通じて継続的に活動しており、11 のゲルを施設の建物として介護サービスを提供してきた実績があります。設立以来、全 155 名の人々に介護・福祉サービスを提供してきました。その内 51 名が一時的に介護を受け、42 名が病気で亡くなり、現在は 62 名が日常的に介護サービスを受けています。</p> <p>私たちは身分証明書のない人たちを登録し、年金問題を解決するために関係機関と協力しています。利用者の 95%が日常的な介護が必要であり、加齢に伴う衰え、脳卒中による麻痺、認知症、精神疾患の人たちがいます。そのような人たちが健康で安全に快適な環境で過ごせるように、活動を行っています。施設の建物には、利用者の日常生活に必要な休息、睡眠、食事、治療、ケアのための衛生面と安全面の基準を満たした部屋が備わっています。</p> <p>さらに、高齢者の活動をサポートし、心理的にも快適な環境づくりのために、共用スペース、リラックスできる環境、内外装の景観整備を段階的に進めています。利用者の健康のために、きれいな空気環境のもとで、栄養価の高い牛乳・乳製品を提供しています。高齢者が活発に体を動かし、運動不足を予防するために、次のような活動を定期的に行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室でジャガイモなどの野菜を栽培し、施設で使う食料を自分たちで作っています。 ・バヤンズルフ区の高齢者協会と協力し、施設周辺でポプラとニレの木を植え、緑化活動をしています。 ・自分たちで栽培したシーバックソーンを使ったパン作りを行っています。 ・利用者たちが余暇時間を快適で効果的に過ごせる環境を作り、チェスをしたり日光浴をしたりするなどの活発な活動を継続的にしています。 <p>利用者数の増加に伴い、2023 年から労働福祉サービス事務局が発表した、介護福祉サービスの委託事業を請け負っています。2023 年までは行政から支援や融資を何も受けていませんでした。自分たちの牧畜業及び寄付や援助の収入で施設を運営してきました。委託事業を請け負うことで、社会福祉資金を得ることができたのは、施設の建物と生活環境を改善し、サービスの質を向上させ、利用者の満足度を高めるのに、現実的で良い影響となりました。</p> <p>モンゴル国の 21 県 14 の市から、県や郡の長やソーシャルワーカーの認定を受けた、介護が必要で身寄りのない高齢者に介護サービスを提供してきました。</p> |
| 日本・各国との協力状況 | 在モンゴルドイツ大使館がリハビリに必要な器具を供与してくださいました。 |
| JICA との協力状況 | なし |



第5章 関連機関連絡先

在モンゴル日本国大使館

私書箱 : Embassy of Japan in Mongolia
Elchingiin gudamj 10,
Ulaanbaatar 14210
(Central P. O. BOX 1011)

電話 : 976-11-320777

E-mail : protocol-section@ul.mofa.go.jp

JICA モンゴル事務所

住所 : ウランバートル市スフバートル区シャングリラ・オフィス 19 階、21 階

電話 : 976-75058778 (代表番号)

E-mail : mg_oso_rep@jica.go.jp

Web: www.jica.go.jp/Mongolia/index.html

FB: JICA Mongolia

駐日モンゴル国大使館

住所 : 〒150-0047 東京都渋谷区神山町 21-4

電話 : 03-3469-2088

FAX : 03-3469-2216

E-mail : tokyo@mfa.gov.mn

モンゴル国家登録局

住所 : ウランバートル市スフバートル区第 11 ホロー警察ストリート

電話 : 976-18001890, 976-70113580

E-mail : contact@burtgel.gov.mn

就業時間 : 月～金 8 : 30～17 : 30 (昼休み 12 : 30～13 : 30)

外国人管理局

住所 : ウランバートル市ハンオール区第 21 ホロー、ボヤントオハー

電話 : 976-18001882, 976-70133457, 976-70133459

E-mail : visasection@immigration.gov.mn

HP : immigration.gov.mn

大蔵省

住所：ウランバートル 15160、S. Danzan ストリート政府第 2 棟

電話：976-51-267468

FAX：976-51-267468

法務・内務省

住所：ウランバートル市チンゲルテイ区 B. Shirendev ストリート 8/4 政府第 5 棟

電話：976-51-267533

FAX：976-51-267533

E-mail：info@mojha.gov.mn

外務省

住所：ウランバートル 14210、平和大通り 7A

電話：976-70082222

FAX：976-11-322127

E-mail：info@mfa.gov.mn